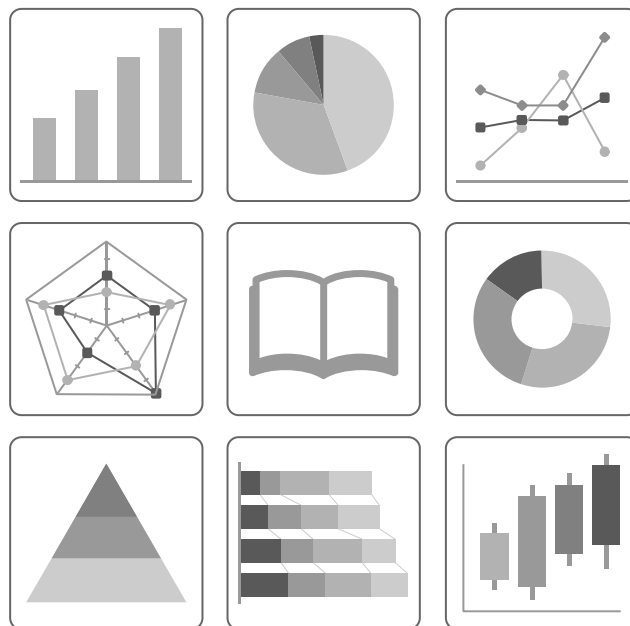


# 令和4年度 柳川市民アンケート調査 報告書



令和4年10月

柳 川 市



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
<b>II 調査結果の概要</b> .....	<b>2</b>
<b>III 調査結果</b> .....	<b>6</b>
(1) 回答者属性.....	6
問1 あなたの性別は.....	6
問2 あなたの年齢は.....	6
問3 住んでいる校区をお選びください。.....	7
(2) 文化・景観について.....	8
問4 柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○は1つだけ).....	8
問5 観光客などに対しておもてなしをしてよかったですと感じますか。(○は1つだけ).....	11
問6 この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○は1つだけ).....	14
問7 水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(○は1つだけ).....	16
(3) 柳川ブランド認定品について.....	19
問8 商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。 (○は1つだけ).....	19
(4) 市の広報活動について.....	22
問9 柳川市からの行政情報は、どのような手段で得ていますか。(○はいくつでも).....	22
問10 特にどのSNSで市からの情報を受け取りたいですか。(○は1つだけ).....	26
(5) 公共交通について.....	29
問11 外出する際、路線バス・電車など公共交通を利用しようと思うことはありますか。(○は1 つだけ).....	29
問12 柳川市が運行しているコミュニティバスを知っていますか。(○は1つだけ).....	32
(6) 暮らしについて.....	35
問13 地域活動や地域ボランティアに参加していますか。(○は1つだけ).....	35

問 14	柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(○は1つだけ)	38
問 15	柳川市は人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)	41
問 16	市内の道路を快適に通行できると思いますか。(○は1つだけ)	44
問 17	柳川市に愛着や誇りを感じますか。(○は1つだけ)	47
(7)	ごみの減量について	50
問 18	ごみの減量やリサイクルに関心はありますか。(○は1つだけ)	50
問 19	現在ごみの減量に関して取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)	52
問 20	ごみ減量の工夫として次のようなものがありますが、取り組んでもよいと思うものはありますか。(○はいくつでも)	57
(8)	デジタル化について	61
問 21	インターネットを利用していますか。(○は1つだけ)	61
問 22	行政手続きで、インターネットを利用してオンラインで完結するサービスを利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)	63
問 24	ICTを有効に活用するために市で以下の講座・講習会を実施する場合、興味のある内容がありますか。(○はいくつでも)	65
(9)	マイナンバーカードについて	70
問 26	マイナンバーカードは、以下のような用途で利用することができます。利用したことがあるものはどれですか。(○はいくつでも)	70
問 27	マイナンバーカードの活用として、どのようなものを望みますか。(○はいくつでも)	75
(10)	過疎地域への指定について	80
問 28	旧柳川市及び旧大和町の地域が過疎に指定されましたが、今後、どのような取組を推進していくべきと思われますか。(○は1つだけ)	80

#### IV 参考資料..... 83

1.	自由記述	83
(1)	インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述(問23)	83
(2)	ICTを利用したサービスの実現についての自由記述(問25)	100
(3)	柳川市の今後の取組についての自由記述(問29)	108
(4)	柳川市のまちづくりについての自由記述(問30)	126

#### V 調査票..... 160

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

このアンケートは、第2次柳川市総合計画後期基本計画に掲げる4つの政策目標（「柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり」、「若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり」、「水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり」、「柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり」）を達成し、将来像を実現させるために実施している事業の進捗度を検証し、今後のまちづくりに活用するために実施するものです。

## 2 調査対象

柳川市在住の18歳以上を無作為抽出

## 3 調査期間

令和4年6月17日から令和4年7月13日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	2,000通	989通	49.5%

## 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・文中の選択肢の表記は「」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『』とをしています。

## Ⅱ 調査結果の概要

本調査の設問は、概ね9つの分野に大別される。調査結果の概要は、分野ごとに、市民のニーズや今後の取り組むべき方針等をまとめた。

### 1. 文化・景観に関連する結果について…問4、5、6、7

県内有数の観光地である本市について、観光客へのおもてなしをして良かったと思う度合い（問5）は、「大いに感じる」（6.7%）、「多少感じる」（30.7%）を合わせて37.4%と、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた前回より6.5ポイント低下している。反対に「おもてなしの機会がない」（43.8%）は前回より5.5ポイント上昇している。

次に、文化芸術活動が盛んに行われていると思う度合い（問4）をみると、「そう思う」（6.9%）と「どちらかといえばそう思う」（32.3%）を合わせた『そう思う』の割合は39.2%で、前回より5.8ポイント上昇しており、反対意見よりも13.2ポイント上回っている。また、「分からない」が33.4%と前回より10.8ポイント減少しており、多くの市民への活動の認知が徐々に進んでいることがうかがえる。

次に、本市の水辺の景観や掘割が保全されていると感じる度合い（問7）では、「そう思う」（11.5%）、「どちらかといえばそう思う」（41.8%）を合わせた『そう思う』の割合は53.3%で、反対意見より27.8ポイント高くなっている。しかし、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の割合をみると、年代別では30～40歳代が特に高くなっている。また、「分からない」では10～20代で高くなっており、前回同様、若年層を中心にした理解促進策等が必要であると見受けられる。

柳川市観光の目玉ともいえる、この1年以内の川下り経験有無（問6）については過去1年以内に川下りをした人の割合は8.4%とかなり低く、前回から微増となっているが、市民の川下り離れの傾向が続いている。

### 2. 柳川ブランド認定品に関連する結果について…問8

本市の商品で品質が高評価である「柳川ブランド認定品」の認知度（問8）をみると、「あまり知らない」が44.3%と最も高く、「全く知らない」の13.5%を合わせた『知らない』の割合は57.8%となっており認知度は低く、前回からも下がっている。また、年代別にみると、前回同様、40歳代以下の認知度が低く、若年層を対象とした広報や周知による開拓が引き続き必要であると思われる。

### 3. 市の広報活動に関連する結果について…問9、10

柳川市からの行政情報の入手手段（問9）は「市報などの広報誌」（86.6%）が最も高く、次いで「ホームページ」（19.9%）、「テレビ（dボタンを含む）・ラジオ」（14.0%）となっている。年代別でみると、年代が下がるにつれ「市報などの広報誌」の利用が少なくなり、一方「ホームページ」や「SNS（LINE、Facebook、Twitter等）」の利用が多くなっている。

また、特に市からの情報を受け取りたいSNSの内容（問10）については「LINE」（41.4%）が最も

多い。年代別でみると、10歳代・20歳代では「Instagram」、30歳代から60歳代では「LINE」の割合が最も高く、一方70歳以上では、無回答の人が半数以上となっている。多くに市民に情報を届けるためには様々な媒体を活用した情報提供が必要と思われる。

#### 4. 公共交通に関連する結果について…問 11、12

外出する際、路線バス・電車などの公共交通を利用しようと思う度合い（問 11）をみると、「よく思う」（12.2%）と「たまに思う」（37.5%）を合わせた『思う』の割合は 49.7%で、「あまり思わない」（29.4%）と「全く思わない」（19.2%）を合わせた『思わない』の割合（48.6%）を 1.1 ポイント上回っており、前回調査に引き続き、市民の半数が公共交通を利用しようと思っていない結果になっている。なかでも『思わない』の割合は 30歳代・40歳代が 53.7%で最も高く、70歳以上の 51.9%が続いており、自家用車を所有すると考えられる働き盛りの世代やミドルシニアの公共交通の利用意向が低い傾向がみられる。

本市運行コミュニティバスの認知度（問 12）をみると、「路線・ダイヤなど含めよく知っている」（3.2%）、「ある程度知っている」（54.9%）を合わせた『知っている』の割合は約 6割を占めるが、前回調査と比較すると 4.3 ポイント低くなっている。また年代別では 10～40歳代の「聞いたことはあるがよく知らない」と「知らない」を合わせた『知らない』の割合が特に高くなっており、引き続き周知を行う必要があると思われる。

#### 5. 暮らしに関連する結果について…問 13、14、15、16、17

本市への愛着の度合い（問 17）は「大いに感じる」（19.6%）と「多少感じる」（56.2%）を合わせた『感じる』の割合が 75.8%となっており、前回の調査と比較すると 8.9 ポイント高くなっている。

人権が守られていると思う度合い（問 15）は「そう思う」（6.9%）、「どちらかと言えばそう思う」（28.9%）を合わせた『そう思う』の割合は 35.8%となっており、前回の調査より 12.8 ポイント低くなっている。一方、「分からない」（51.4%）は前回より 12.7 ポイント低くなっているものの、5割を占めていることから、引き続き人権教育及び啓発が必要なことがうかがえる。

地域活動・地域ボランティアへの参加有無（問 13）は「参加している」は 36.7%となっており、前回調査より、わずかながら低下している。年代が上がるにつれて参加率は上がっているが、若年層の中でもとりわけ 10歳代・20歳代は 10.8%と非常に低くなっている。

本市は子育てしやすい環境であると思う度合い（問 14）は、「そう思う」（4.9%）、「どちらかと言えばそう思う」（26.5%）を合わせた『そう思う』の割合が 31.4%、「どちらかといえばそう思わない」（13.4%）、「そう思わない」（8.6%）を合わせた『そう思わない』の割合が 22.0%となっており『そう思う』が 9.4 ポイント高くなっている。子育て世代である 30歳代・40歳代は他の年代に比べ、『そう思う』が低く、『そう思わない』が高くなっており、より子育てしやすい環境づくりに向けた取り組みが必要と思われる。

## 6. ごみの減量に関連する結果について…問 18、19、20

ごみの減量やリサイクルへの関心の有無（問 18）は「ある」（86.0%）が最も高く、年代別では年代が上がるにつれて割合も上がっており、関心の高さがうかがえる。

実際に、現在ごみ減量に関して取り組んでいること（問 19）としては、「買い物の際にマイバックを使用している」（87.5%）、「水切りネットを使用している」（54.7%）、「紙袋を紙ごみ用の袋として使用している」（46.9%）「飲料用マイボトルを使用している」（45.0%）、と続き、ポリ袋の使用頻度の減少や、日用品を活用した取り組みが多く挙げられている。また「古くなった服を古着屋やリサイクル専門店に持ち込んでいる」が前回調査より増加傾向にある。「その他」（1.6%）の内訳では、「ごみ分別の徹底」や「生ごみの自家処理」、「リサイクル」など、自宅でのごみ処理や物の使用・購入方法の工夫に関する回答が多くなっている。また、女性のほうがマイバックやマイボトル、紙袋の使用などエコアイテムや日用品のリサイクルについての回答率が高い傾向がうかがえる。

ごみ減量の工夫として取り組んで良いと思うもの（問 20）としては、「買い物の際にマイバックの使用」（64.7%）、「水切りネットの使用」（46.5%）、「飲料用マイボトルの使用」（47.8%）など、現在実践されていること且つ自宅内外で取り組みやすいものが上位となっている。また、全体の回答数は低い「フードバンクの利用」（21.3%）では、30 歳代・40 歳代での割合が高く、食品ロスや貧困問題への意識の高さがうかがえる。

## 7. デジタル化に関連する結果について…問 21、22、23、24、25

インターネットの利用の有無（問 21）は「利用している」が 62.7%、「利用していない」が 36.2%となっている。年代別でみると、10 歳代から 40 歳代で「利用している」の割合が高く、70 歳以上で「利用していない」の割合が高くなっている。

行政手続きで、インターネットを利用してオンラインで完結するサービスの利用意向（問 22）は「思う」が 44.4%、「思わない」が 52.6%となっており、年代が上がるにつれ「思わない」の割合が高くなっている。また、ICT を有効に活用するために市で実施する講座・講習会で興味のある内容（問 24）については「興味がない」（30.1%）が最も高く、次いで「スマートフォン・タブレット」（25.3%）、「SNS（LINE、Facebook 等）の活用」（19.6%）となっている。年代別でみると、10 歳代・20 歳代で「オフィスソフト（エクセル、ワード等）の活用」「プログラミング」「ホームページ作成」、50 歳代・60 歳代で「スマートフォン・タブレット」「パソコン・インターネット」の割合が高くなっている。一方で 70 歳以上では「興味がない」の割合が高くなっている。

デジタル化が進展するなかで、市民の情報リテラシーを高めるため、興味をひく講座・講習会を充実するとともに、高齢者などのデジタルデバインド（情報格差）に向けた支援が必要と思われる。

## 8. マイナンバーカードに関連する結果について…問 26、27

マイナンバーカードの利用用途（問 26）は「マイナンバーカードを持っていない」36.8%が最も高く、次いで「いずれも利用していない」（26.0%）、「本人確認書類としての利用」（20.9%）となっている。年代が下がるにつれ、マイナンバーカードを持っている割合が低く、若い人へのマイナンバーカー



ドの取得への働きかけが必要である。

また、マイナンバーカードの活用の要望(問 27)は「市役所窓口での手続きが簡素化される」(41.9%)が最も高く、次いで「特に望むものはない」(32.5%)、「健康保険証や運転免許証の公的な証明書が一つになる」(29.8%)となっている。マイナンバーカードの利活用を促進するため、行政手続きの簡素化や生活の中でメリットのあるコンテンツを揃えるなど市民が活用しやすい仕組みづくりが必要と思われる。

## 9. 過疎地域への指定に関連する結果について…問 28

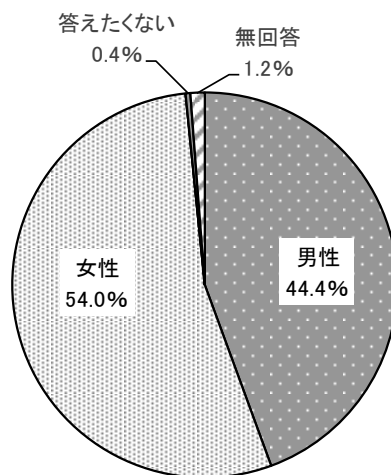
旧柳川市及び旧大和町の過疎地域への指定に伴い、今後推進していくべき取組(問 28)は「雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり」(35.6%)が最も高く、次いで「子育て世代を中心にサポートする施策」(23.6%)、「犯罪や災害のない安全安心なまちづくり」(22.1%)となっている。

年代別でみると、10歳代から40歳代で「子育て世代を中心にサポートする施策」、50歳代・60歳代で「雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり」、70歳以上で「犯罪や災害のない安全安心なまちづくり」の割合が高く、子育て世代では子育て支援の充実、高齢者では身近な地域で安心して安全に暮らせる環境が特に望まれている。

### Ⅲ 調査結果

#### (1) 回答者属性

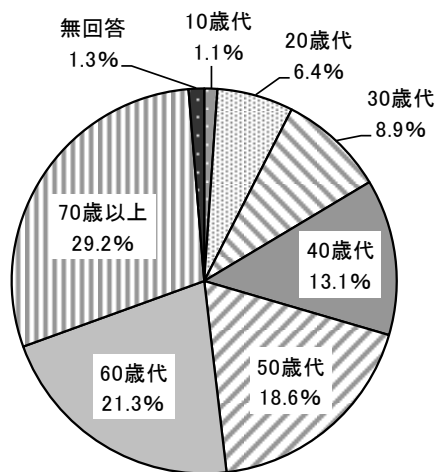
##### 問1 あなたの性別は



回答者数 = 989

「女性」の割合が 54.0%で、「男性」の割合が 44.4%となっています。

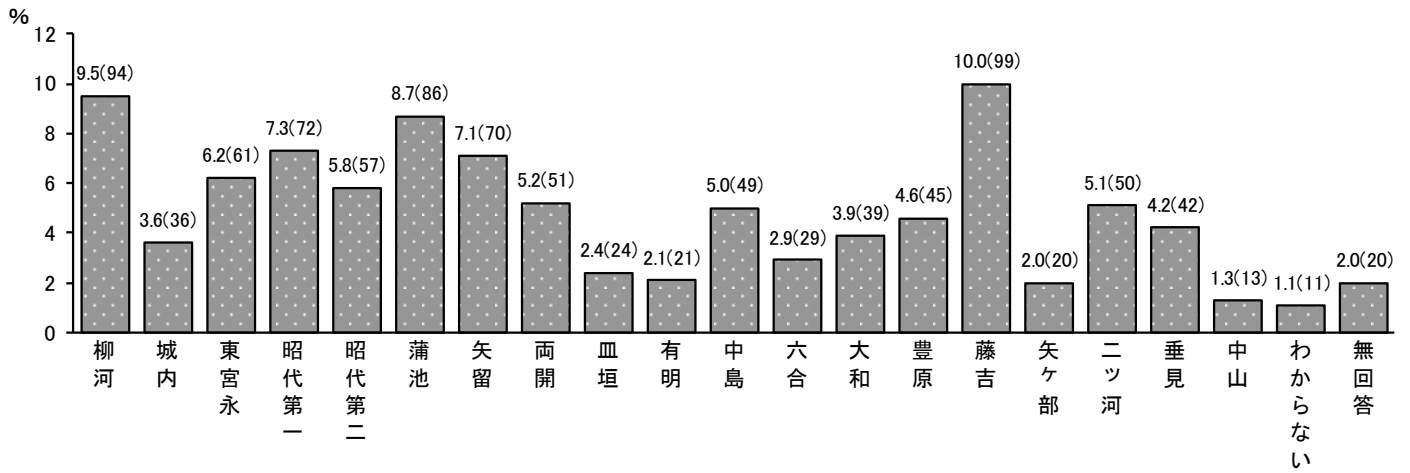
##### 問2 あなたの年齢は



回答者数 = 989

「70歳以上」の割合が 29.2%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が 21.3%、「50歳代」の割合が 18.6%となっています。

問3 住んでいる校区をお選びください。

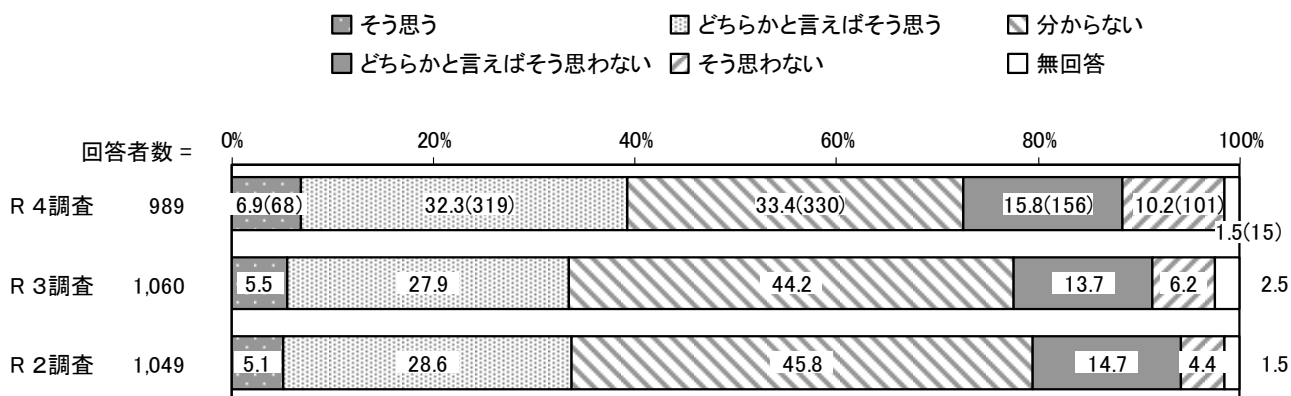


「藤吉」の割合が 10.0%と最も高く、次いで「柳河」の割合が 9.5%、「蒲池」の割合が 8.7%となっています。

## (2) 文化・景観について

問4 柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○は1つだけ)

『そう思う』の割合が39.2%で最も高い。

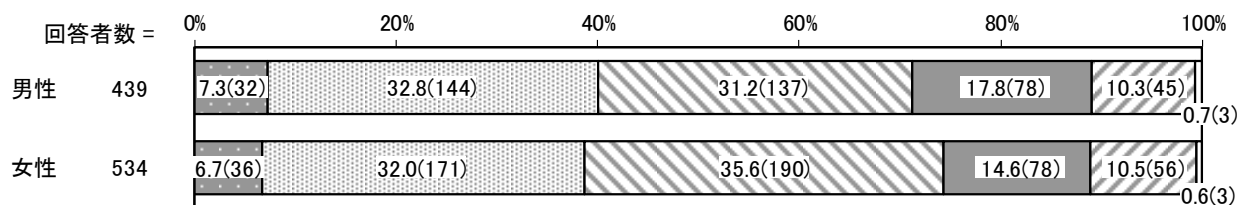


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が39.2%、「分からない」の割合が33.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合が26.0%となっています。

### 【経年比較】

過去の調査と比較すると、『そう思う』の割合、『そう思わない』の割合がともに増加しています。

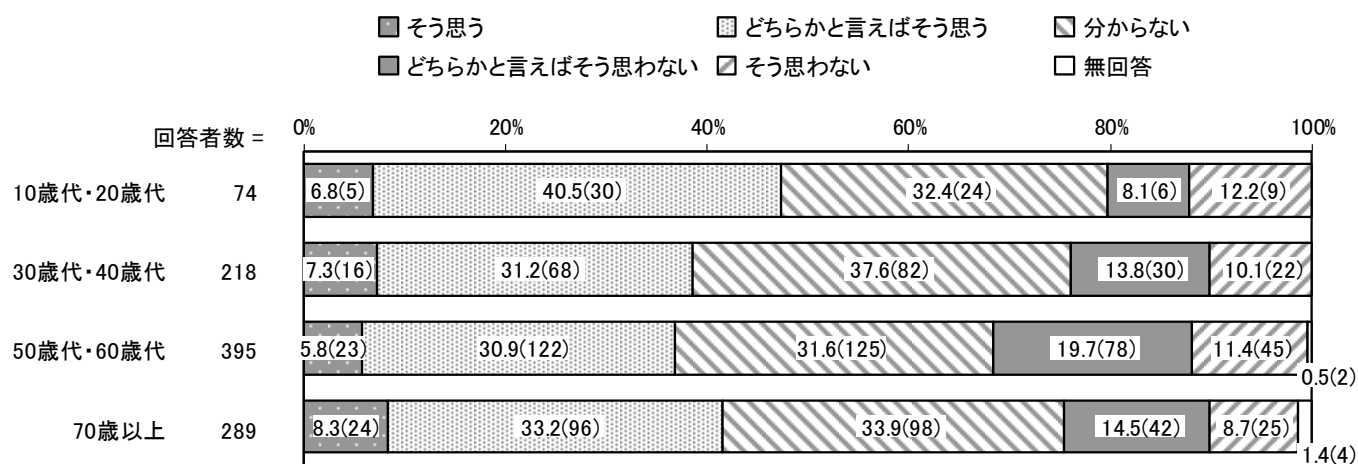
### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、大きな差異はみられません。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で『そう思う』の割合が高くなっています。

【小学校区別】

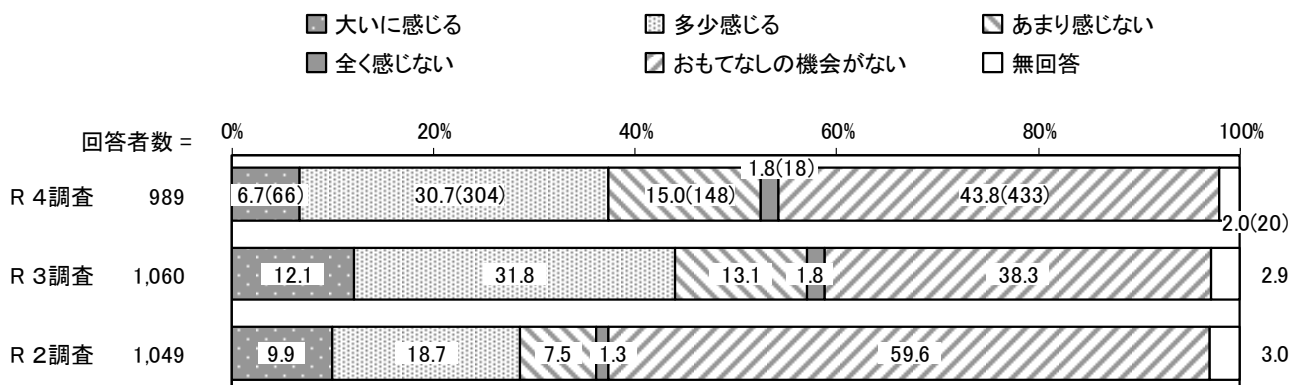
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	『そう思う』	『どちらかといえば そう思う』	分からない	『どちらかといえば そう思わない』	『そう思わない』	無回答	『『そう思う』』	『『そう思わない』』
全体	989 100.0	68 6.9	319 32.3	330 33.4	156 15.8	101 10.2	15 1.5	387 39.2	257 26.0
柳河	94 100.0	8 8.5	33 35.1	31 33.0	14 14.9	8 8.5	— —	41 43.6	22 23.4
城内	36 100.0	6 16.7	14 38.9	8 22.2	4 11.1	3 8.3	1 2.8	20 55.6	7 19.4
東宮永	61 100.0	5 8.2	18 29.5	17 27.9	13 21.3	7 11.5	1 1.6	23 37.7	20 32.8
昭代第一	72 100.0	6 8.3	26 36.1	20 27.8	15 20.8	5 6.9	— —	32 44.4	20 27.7
昭代第二	57 100.0	— —	18 31.6	23 40.4	10 17.5	6 10.5	— —	18 31.6	16 28.0
蒲池	86 100.0	9 10.5	29 33.7	27 31.4	15 17.4	6 7.0	— —	38 44.2	21 24.4
矢留	70 100.0	5 7.1	26 37.1	27 38.6	8 11.4	3 4.3	1 1.4	31 44.2	11 15.7
両開	51 100.0	2 3.9	12 23.5	22 43.1	6 11.8	9 17.6	— —	14 27.4	15 29.4
皿垣	24 100.0	3 12.5	9 37.5	8 33.3	2 8.3	2 8.3	— —	12 50.0	4 16.6
有明	21 100.0	2 9.5	4 19.0	6 28.6	4 19.0	5 23.8	— —	6 28.5	9 42.8
中島	49 100.0	2 4.1	9 18.4	22 44.9	8 16.3	8 16.3	— —	11 22.5	16 32.6
六合	29 100.0	1 3.4	11 37.9	10 34.5	4 13.8	3 10.3	— —	12 41.3	7 24.1
大和	39 100.0	2 5.1	9 23.1	20 51.3	4 10.3	3 7.7	1 2.6	11 28.2	7 18.0
豊原	45 100.0	4 8.9	16 35.6	19 42.2	2 4.4	4 8.9	— —	20 44.5	6 13.3
藤吉	99 100.0	5 5.1	41 41.4	20 20.2	22 22.2	10 10.1	1 1.0	46 46.5	32 32.3
矢ヶ部	20 100.0	3 15.0	6 30.0	5 25.0	4 20.0	2 10.0	— —	9 45.0	6 30.0
二ツ河	50 100.0	3 6.0	16 32.0	15 30.0	8 16.0	8 16.0	— —	19 38.0	16 32.0
垂見	42 100.0	1 2.4	12 28.6	13 31.0	10 23.8	6 14.3	— —	13 31.0	16 38.1
中山	13 100.0	1 7.7	3 23.1	7 53.8	1 7.7	1 7.7	— —	4 30.8	2 15.4
わからない	11 100.0	— —	3 27.3	5 45.5	1 9.1	2 18.2	— —	3 27.3	3 27.3

※無回答：20件

問5 観光客などに対しておもてなしをしてよかったですと感じますか。(〇は1つだけ)

「おもてなしの機会がない」の割合が43.8%で最も高い。

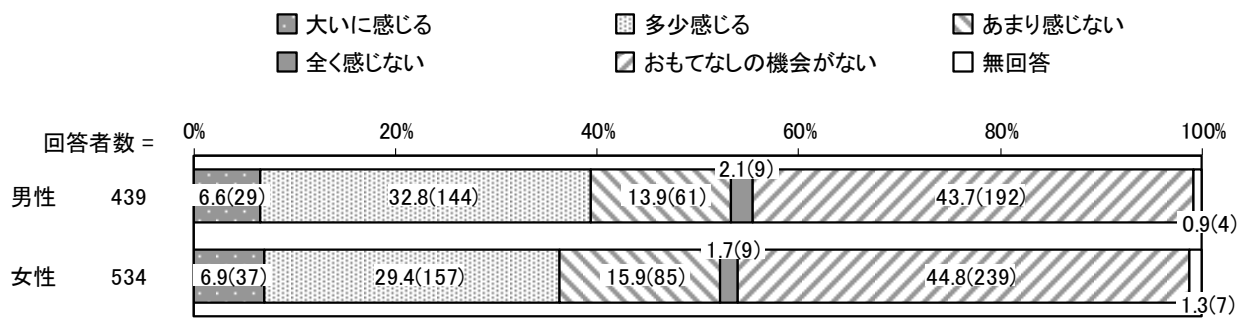


「大いに感じる」と「多少感じる」をあわせた『感じる』の割合が37.4%、「あまり感じない」と「全く感じない」をあわせた『感じない』の割合が16.8%、「おもてなしの機会がない」の割合が43.8%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、R3調査に比べ、『感じる』の割合が減少しています。

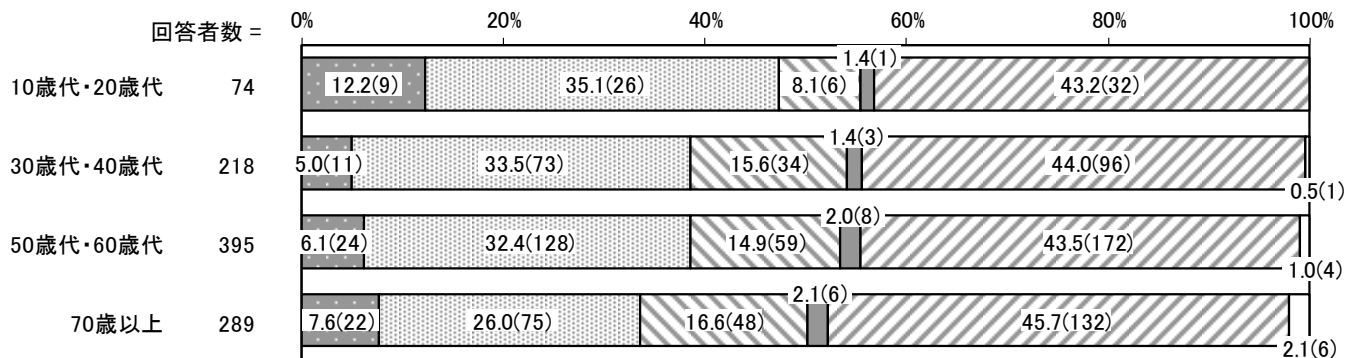
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別でみると、大きな差異はみられません。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別でみると、他に比べ、10歳代・20歳代で『感じる』の割合が高くなっています。



【小学校区別】

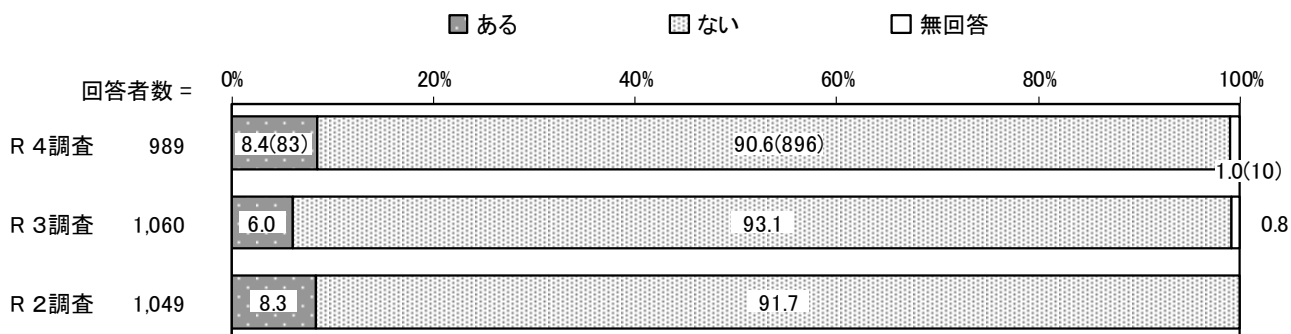
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	あまり感じない	全く感じない	おもてなしの機会が ない	無回答	『感じる』	『感じない』
全体	989 100.0	66 6.7	304 30.7	148 15.0	18 1.8	433 43.8	20 2.0	370 37.4	166 16.8
柳河	94 100.0	8 8.5	35 37.2	18 19.1	3 3.2	29 30.9	1 1.1	43 45.7	21 22.3
城内	36 100.0	4 11.1	11 30.6	2 5.6	2 5.6	17 47.2	—	15 41.7	4 11.2
東宮永	61 100.0	7 11.5	14 23.0	9 14.8	2 3.3	29 47.5	—	21 34.5	11 18.1
昭代第一	72 100.0	3 4.2	26 36.1	13 18.1	1 1.4	28 38.9	1 1.4	29 40.3	14 19.5
昭代第二	57 100.0	1 1.8	12 21.1	10 17.5	1 1.8	32 56.1	1 1.8	13 22.9	11 19.3
蒲池	86 100.0	4 4.7	35 40.7	10 11.6	—	36 41.9	1 1.2	39 45.4	10 11.6
矢留	70 100.0	6 8.6	19 27.1	15 21.4	—	30 42.9	—	25 35.7	15 21.4
両開	51 100.0	4 7.8	18 35.3	6 11.8	2 3.9	21 41.2	—	22 43.1	8 15.7
皿垣	24 100.0	4 16.7	9 37.5	3 12.5	—	8 33.3	—	13 54.2	3 12.5
有明	21 100.0	1 4.8	6 28.6	5 23.8	—	9 42.9	—	7 33.4	5 23.8
中島	49 100.0	2 4.1	12 24.5	10 20.4	1 2.0	22 44.9	2 4.1	14 28.6	11 22.4
六合	29 100.0	2 6.9	8 27.6	—	1 3.4	18 62.1	—	10 34.5	1 3.4
大和	39 100.0	4 10.3	13 33.3	5 12.8	—	16 41.0	1 2.6	17 43.6	5 12.8
豊原	45 100.0	2 4.4	10 22.2	6 13.3	—	27 60.0	—	12 26.6	6 13.3
藤吉	99 100.0	4 4.0	31 31.3	13 13.1	1 1.0	47 47.5	3 3.0	35 35.3	14 14.1
矢ヶ部	20 100.0	2 10.0	8 40.0	2 10.0	1 5.0	7 35.0	—	10 50.0	3 15.0
二ッ河	50 100.0	4 8.0	16 32.0	5 10.0	3 6.0	22 44.0	—	20 40.0	8 16.0
垂見	42 100.0	—	14 33.3	11 26.2	—	17 40.5	—	14 33.3	11 26.2
中山	13 100.0	2 15.4	2 15.4	2 15.4	—	7 53.8	—	4 30.8	2 15.4
わからない	11 100.0	1 9.1	4 36.4	1 9.1	—	5 45.5	—	5 45.5	1 9.1

※無回答：20件

問6 この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○は1つだけ)

「ない」の割合が90.6%で最も高い。

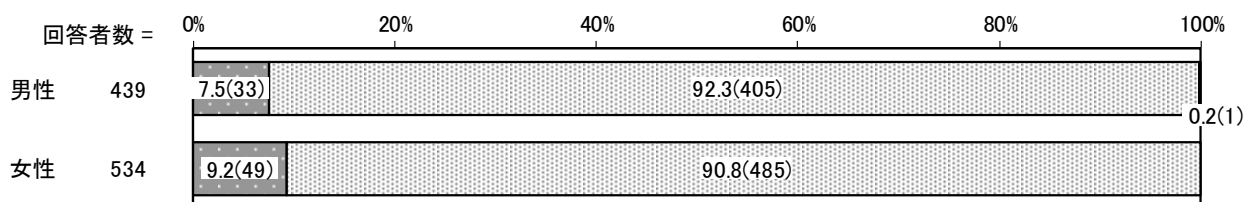


「ある」の割合が8.4%、「ない」の割合が90.6%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

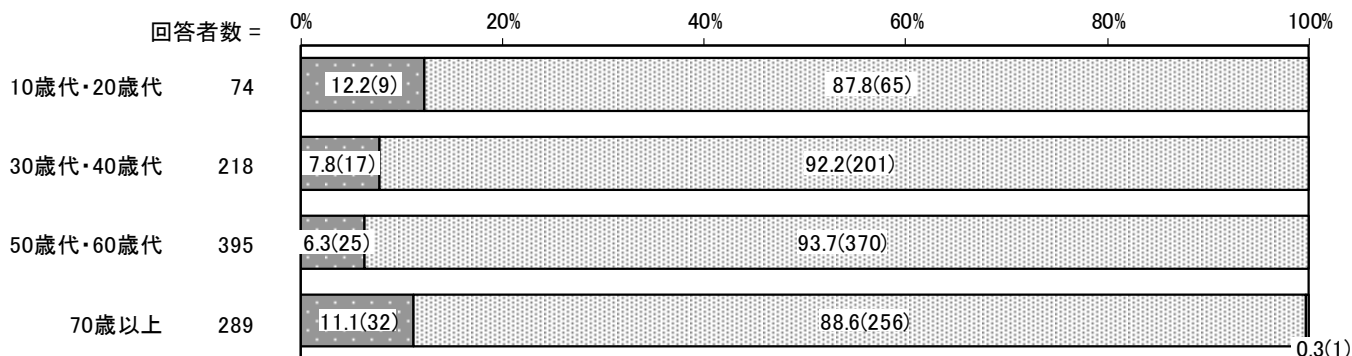
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、大きな差異はみられません。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、大きな差異はみられません。

【小学校区別】

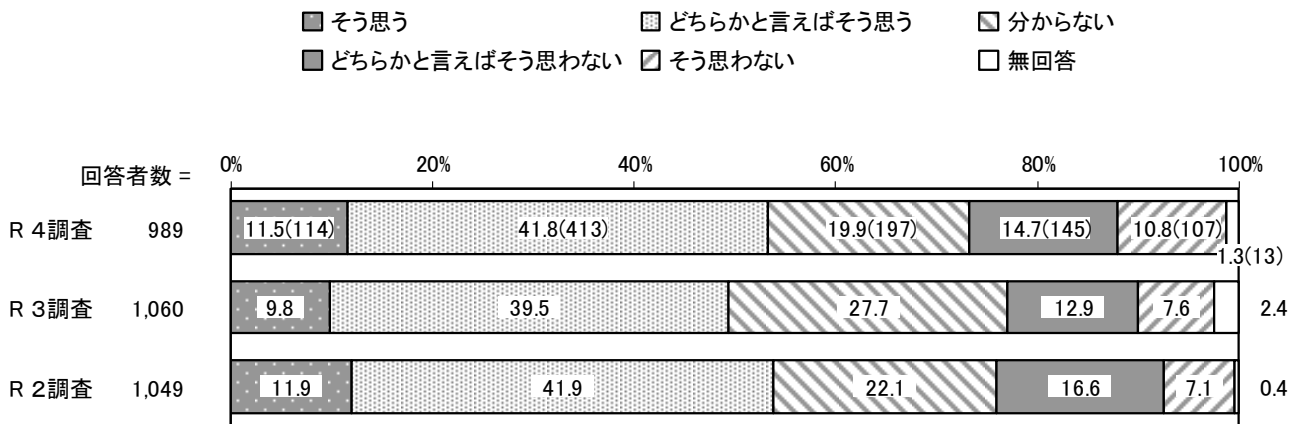
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全体	989 100.0	83 8.4	896 90.6	10 1.0
柳河	94 100.0	9 9.6	85 90.4	— —
城内	36 100.0	7 19.4	29 80.6	— —
東宮永	61 100.0	8 13.1	53 86.9	— —
昭代第一	72 100.0	7 9.7	65 90.3	— —
昭代第二	57 100.0	2 3.5	55 96.5	— —
蒲池	86 100.0	8 9.3	78 90.7	— —
矢留	70 100.0	5 7.1	65 92.9	— —
両開	51 100.0	6 11.8	45 88.2	— —
血垣	24 100.0	3 12.5	21 87.5	— —
有明	21 100.0	2 9.5	19 90.5	— —
中島	49 100.0	3 6.1	46 93.9	— —
六合	29 100.0	1 3.4	28 96.6	— —
大和	39 100.0	7 17.9	31 79.5	1 2.6
豊原	45 100.0	— —	45 100.0	— —
藤吉	99 100.0	6 6.1	93 93.9	— —
矢ヶ部	20 100.0	2 10.0	18 90.0	— —
ニッ河	50 100.0	3 6.0	47 94.0	— —
垂見	42 100.0	2 4.8	40 95.2	— —
中山	13 100.0	1 7.7	12 92.3	— —
わからない	11 100.0	— —	11 100.0	— —

※無回答：20件

問7 水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(〇は1つだけ)

『そう思う』の割合が53.3%で最も高い。

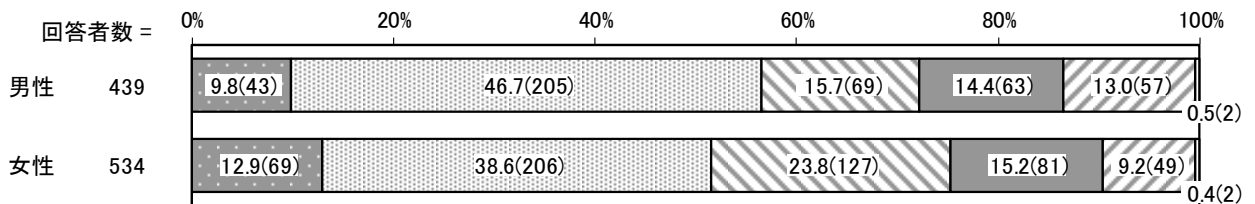


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が53.3%、「分からない」の割合が19.9%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合が25.5%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、R3調査と比べ、「分からない」の割合が減少しています。

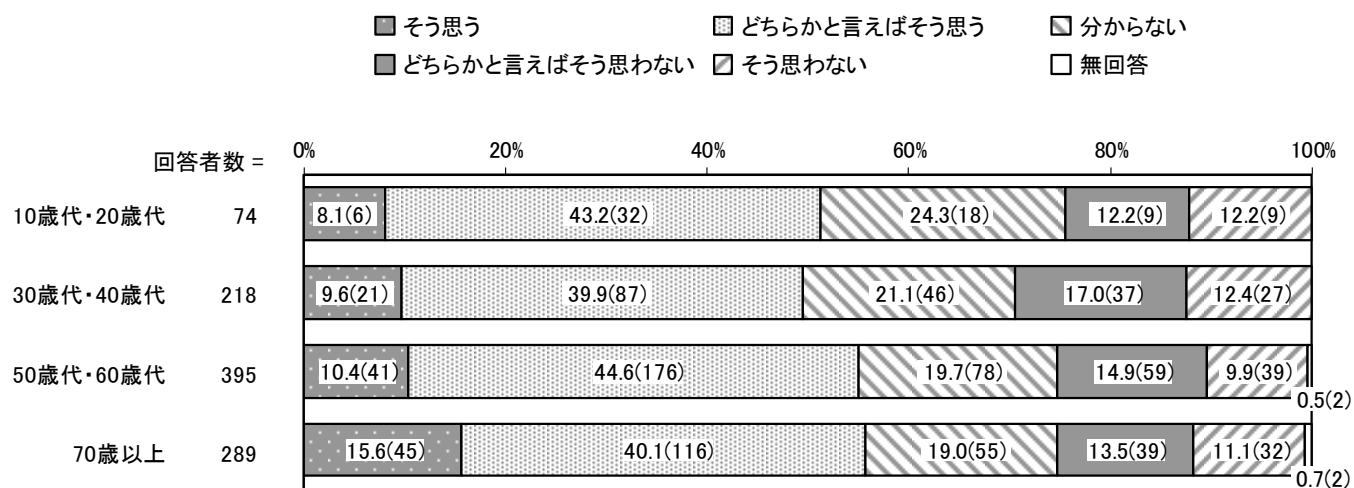
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で『そう思う』の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

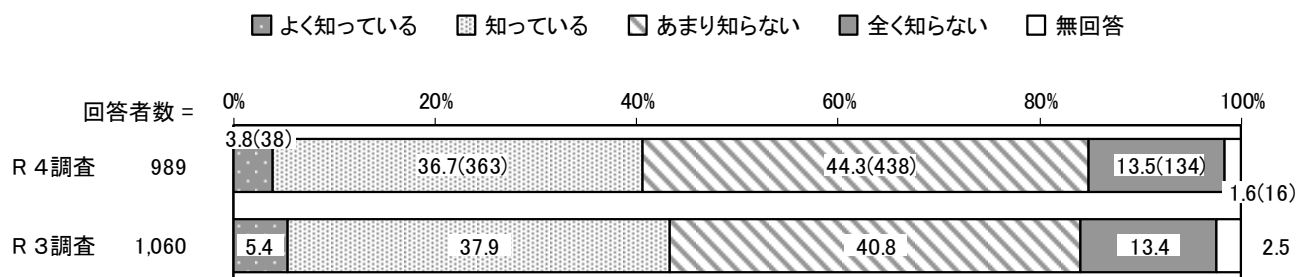
区分	回答者数 (件)	『そう思う』	『どちらかと言えば そう思う』	分からない	『どちらかと言えば そう思わない』	『そう思わない』	無回答	『そう思う』	『そう思わない』
全体	989 100.0	114 11.5	413 41.8	197 19.9	145 14.7	107 10.8	13 1.3	527 53.3	252 25.5
柳河	94 100.0	9 9.6	37 39.4	16 17.0	19 20.2	13 13.8	—	46 49.0	32 34.0
城内	36 100.0	6 16.7	18 50.0	5 13.9	4 11.1	3 8.3	—	24 66.7	7 19.4
東宮永	61 100.0	7 11.5	31 50.8	8 13.1	9 14.8	6 9.8	—	38 62.3	15 24.6
昭代第一	72 100.0	8 11.1	32 44.4	13 18.1	11 15.3	8 11.1	—	40 55.5	19 26.4
昭代第二	57 100.0	4 7.0	25 43.9	12 21.1	8 14.0	8 14.0	—	29 50.9	16 28.0
蒲池	86 100.0	13 15.1	34 39.5	17 19.8	11 12.8	11 12.8	—	47 54.6	22 25.6
矢留	70 100.0	5 7.1	28 40.0	12 17.1	16 22.9	9 12.9	—	33 47.1	25 35.8
両開	51 100.0	6 11.8	20 39.2	15 29.4	7 13.7	3 5.9	—	26 51.0	10 19.6
皿垣	24 100.0	2 8.3	11 45.8	6 25.0	2 8.3	3 12.5	—	13 54.1	5 20.8
有明	21 100.0	2 9.5	9 42.9	5 23.8	3 14.3	2 9.5	—	11 52.4	5 23.8
中島	49 100.0	8 16.3	19 38.8	12 24.5	6 12.2	2 4.1	2 4.1	27 55.1	8 16.3
六合	29 100.0	3 10.3	12 41.4	8 27.6	5 17.2	1 3.4	—	15 51.7	6 20.6
大和	39 100.0	7 17.9	17 43.6	8 20.5	4 10.3	2 5.1	1 2.6	24 61.5	6 15.4
豊原	45 100.0	5 11.1	21 46.7	12 26.7	3 6.7	4 8.9	—	26 57.8	7 15.6
藤吉	99 100.0	11 11.1	39 39.4	18 18.2	14 14.1	16 16.2	1 1.0	50 50.5	30 30.3
矢ヶ部	20 100.0	3 15.0	6 30.0	3 15.0	5 25.0	3 15.0	—	9 45.0	8 40.0
二ッ河	50 100.0	6 12.0	21 42.0	12 24.0	5 10.0	6 12.0	—	27 54.0	11 22.0
垂見	42 100.0	7 16.7	16 38.1	9 21.4	7 16.7	3 7.1	—	23 54.8	10 23.8
中山	13 100.0	2 15.4	6 46.2	2 15.4	2 15.4	1 7.7	—	8 61.6	3 23.1
わからない	11 100.0	—	6 54.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	—	6 54.5	3 27.3

※無回答：20件

### (3) 柳川ブランド認定品について

問8 商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。(〇は1つだけ)

『知らない』の割合が57.8%で最も高い。

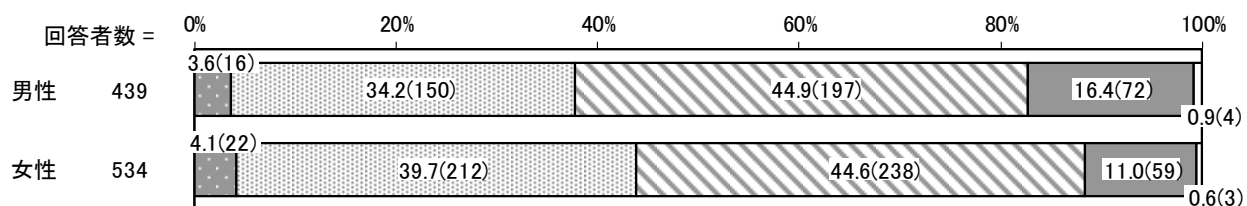


「よく知っている」と「知っている」をあわせた『知っている』の割合が40.5%、「あまり知らない」と「全く知らない」をあわせた『知らない』の割合が57.8%となっています。

#### 【経年比較】

R3調査と比較すると、大きな変化はみられません。

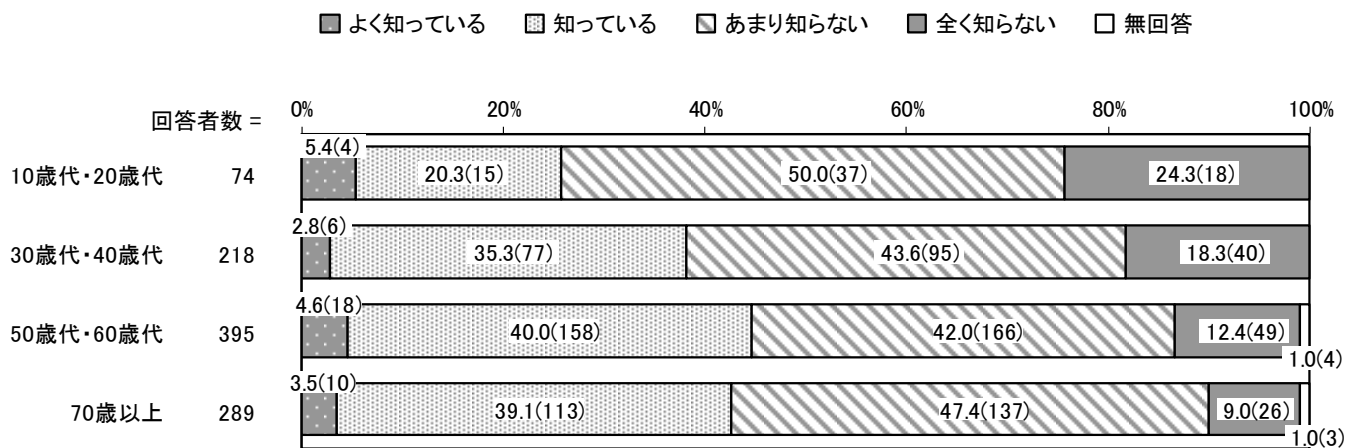
#### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で『知らない』の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で『知らない』の割合が高くなっています。



【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

単位：％

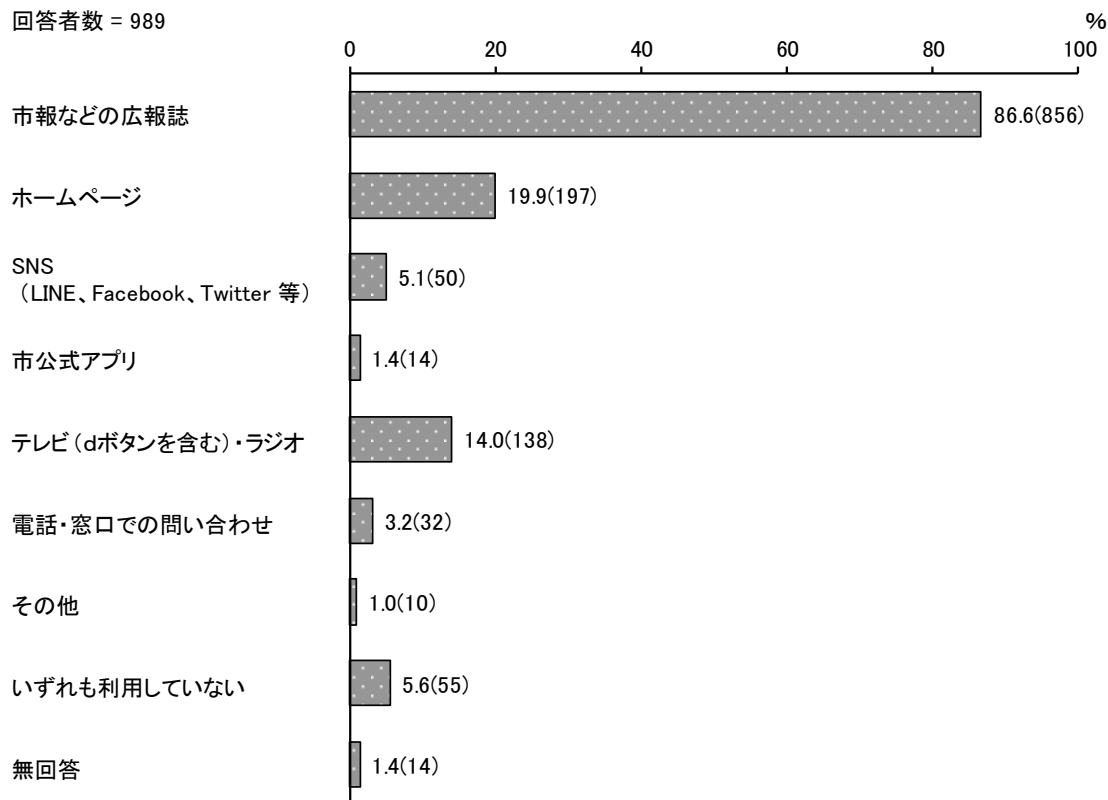
区分	回答者数 (件)	よく知っている	知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	『知っている』	『知らない』
全体	989 100.0	38 3.8	363 36.7	438 44.3	134 13.5	16 1.6	401 40.5	572 57.8
柳河	94 100.0	3 3.2	35 37.2	43 45.7	13 13.8	—	38 40.4	56 59.5
城内	36 100.0	3 8.3	16 44.4	17 47.2	—	—	19 52.7	17 47.2
東宮永	61 100.0	2 3.3	19 31.1	34 55.7	6 9.8	—	21 34.4	40 65.5
昭代第一	72 100.0	3 4.2	27 37.5	33 45.8	9 12.5	—	30 41.7	42 58.3
昭代第二	57 100.0	3 5.3	15 26.3	29 50.9	10 17.5	—	18 31.6	39 68.4
蒲池	86 100.0	3 3.5	34 39.5	35 40.7	14 16.3	—	37 43.0	49 57.0
矢留	70 100.0	4 5.7	27 38.6	29 41.4	9 12.9	1 1.4	31 44.3	38 54.3
両開	51 100.0	2 3.9	19 37.3	20 39.2	9 17.6	1 2.0	21 41.2	29 56.8
皿垣	24 100.0	2 8.3	10 41.7	11 45.8	1 4.2	—	12 50.0	12 50.0
有明	21 100.0	1 4.8	5 23.8	12 57.1	3 14.3	—	6 28.6	15 71.4
中島	49 100.0	1 2.0	12 24.5	30 61.2	5 10.2	1 2.0	13 26.5	35 71.4
六合	29 100.0	— —	12 41.4	12 41.4	4 13.8	1 3.4	12 41.4	16 55.2
大和	39 100.0	— —	14 35.9	20 51.3	4 10.3	1 2.6	14 35.9	24 61.6
豊原	45 100.0	1 2.2	13 28.9	23 51.1	8 17.8	—	14 31.1	31 68.9
藤吉	99 100.0	4 4.0	45 45.5	35 35.4	14 14.1	1 1.0	49 49.5	49 49.5
矢ヶ部	20 100.0	2 10.0	13 65.0	3 15.0	2 10.0	—	15 75.0	5 25.0
ニッ河	50 100.0	2 4.0	22 44.0	22 44.0	4 8.0	—	24 48.0	26 52.0
垂見	42 100.0	1 2.4	19 45.2	13 31.0	9 21.4	—	20 47.6	22 52.4
中山	13 100.0	— —	3 23.1	6 46.2	4 30.8	—	3 23.1	10 77.0
わからない	11 100.0	— —	1 9.1	6 54.5	4 36.4	—	1 9.1	10 90.9

※無回答：20件

#### (4) 市の広報活動について

問9 柳川市からの行政情報は、どのような手段で得ていますか。(〇はいくつでも)

「市報などの広報誌」の割合が86.6%で最も高い。



「市報などの広報誌」の割合が86.6%と最も高く、次いで「ホームページ」の割合が19.9%、「テレビ (dボタンを含む)・ラジオ」の割合が14.0%となっています。

【その他の回答】

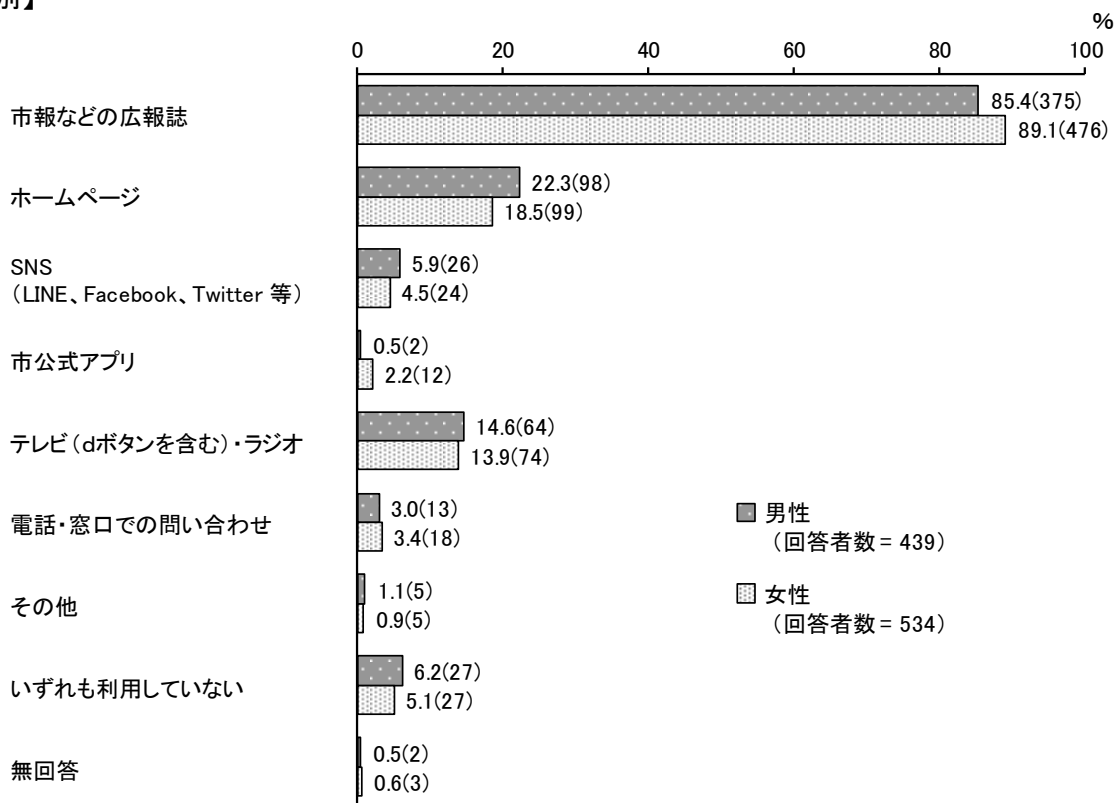
	調査数	人伝	家族	その他	記述なし
件数	10	3	2	3	2

最も多かった回答は「人伝」で3件。続いて「家族」(2件)となっています。

「その他」としては、以下の回答が得られました。

主な記述内容	性別	年齢別
問9 行政情報の入手手段について「その他」と回答した人の意見		
・自分自身	男性	20歳代
・友人から	女性	50歳代
・やながわ議会だより、市議会一般質問傍聴	男性	60歳代
・区長からの話	女性	60歳代

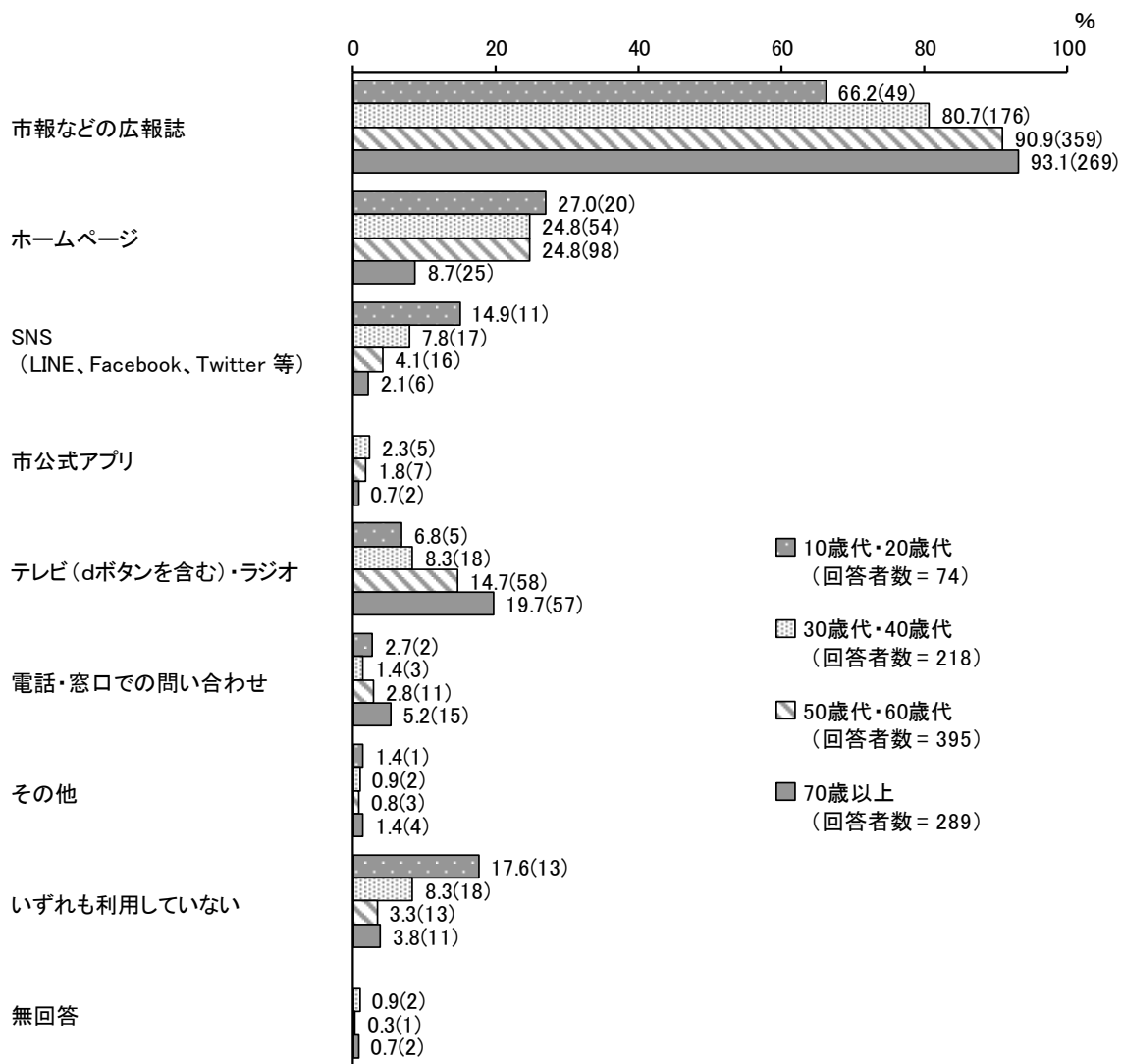
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、大きな差異はみられません。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「市報などの広報誌」の割合が低くなっています。また、10歳代・20歳代で「SNS (LINE、Facebook、Twitter 等)」「いずれも利用していない」、70歳以上で「テレビ (dボタンを含む)・ラジオ」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

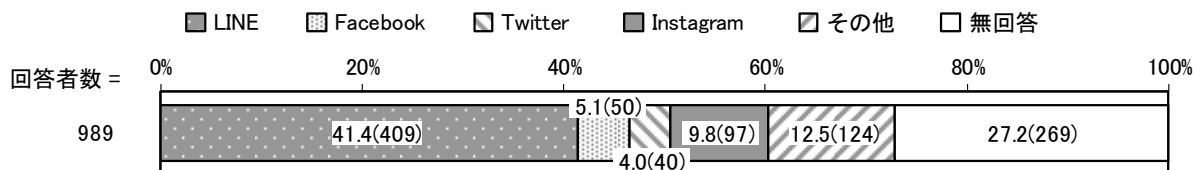
単位：％

区分	回答者数 (件)	市報などの 広報誌	ホーム ページ	S N S (LINE、 Facebook、 Twitter 等)	市公式 アプリ	テレビ (dボタンを 含む)・ ラジオ	電話・ 窓口での 問い合わせ	その他	い ず れ も 利 用 し て い な い	無 回 答
全体	989 100.0	856 86.6	197 19.9	50 5.1	14 1.4	138 14.0	32 3.2	10 1.0	55 5.6	14 1.4
柳河	94 100.0	85 90.4	21 22.3	9 9.6	3 3.2	14 14.9	4 4.3	—	2 2.1	—
城内	36 100.0	34 94.4	10 27.8	1 2.8	—	2 5.6	2 5.6	—	—	—
東宮永	61 100.0	55 90.2	15 24.6	2 3.3	2 3.3	10 16.4	2 3.3	2 3.3	3 4.9	—
昭代第一	72 100.0	58 80.6	13 18.1	2 2.8	—	12 16.7	2 2.8	1 1.4	4 5.6	—
昭代第二	57 100.0	48 84.2	12 21.1	2 3.5	—	9 15.8	1 1.8	2 3.5	4 7.0	1 1.8
蒲池	86 100.0	74 86.0	17 19.8	7 8.1	1 1.2	12 14.0	1 1.2	—	6 7.0	—
矢留	70 100.0	65 92.9	15 21.4	4 5.7	1 1.4	9 12.9	2 2.9	1 1.4	4 5.7	1 1.4
両開	51 100.0	47 92.2	9 17.6	4 7.8	2 3.9	11 21.6	3 5.9	—	3 5.9	—
皿垣	24 100.0	23 95.8	6 25.0	1 4.2	1 4.2	4 16.7	2 8.3	—	1 4.2	—
有明	21 100.0	21 100.0	3 14.3	—	—	8 38.1	1 4.8	1 4.8	—	—
中島	49 100.0	42 85.7	9 18.4	4 8.2	—	5 10.2	1 2.0	—	3 6.1	1 2.0
六合	29 100.0	25 86.2	4 13.8	—	—	4 13.8	3 10.3	1 3.4	4 13.8	—
大和	39 100.0	28 71.8	6 15.4	1 2.6	—	4 10.3	—	—	6 15.4	1 2.6
豊原	45 100.0	40 88.9	9 20.0	1 2.2	—	6 13.3	—	—	3 6.7	—
藤吉	99 100.0	88 88.9	27 27.3	4 4.0	2 2.0	11 11.1	6 6.1	—	3 3.0	—
矢ヶ部	20 100.0	17 85.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0	5 25.0	—	—	—	—
ニッ河	50 100.0	42 84.0	6 12.0	3 6.0	1 2.0	5 10.0	1 2.0	—	5 10.0	—
垂見	42 100.0	36 85.7	7 16.7	2 4.8	—	6 14.3	1 2.4	1 2.4	3 7.1	—
中山	13 100.0	12 92.3	1 7.7	—	—	1 7.7	—	—	—	—
わからない	11 100.0	7 63.6	2 18.2	1 9.1	—	—	—	—	—	1 9.1

※無回答：20件

問 10 特にどのSNSで市からの情報を受け取りたいですか。(〇は1つだけ)

「LINE」の割合が41.4%で最も高い。



「LINE」の割合が41.4%と最も高くなっています。

【その他の回答】

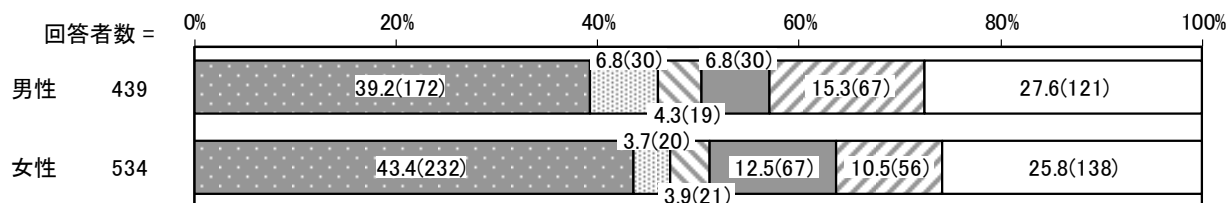
	調査数	SNSが何か わからない	市報、 広報紙	SNSを利用 しない	特になし	SNSで受け取 る必要がない・ 希望しない	インターネット	ホームページ	テレビ	SNSを利用 できない	その他	記述なし
件数	124	11	16	5	9	7	15	5	6	3	14	33

最も多かった回答は「市報、広報紙」で16件、続いて「インターネット」(15件)、「SNSが何かわからない」(11件)となっています。

「その他」としては、以下の回答が得られました。

主な記述内容	性別	年齢別
問 10 情報を受け取りたい SNS の種類について「その他」と回答した人の意見		
・行政等の情報はHPでいいかなと思っている。必要な時のみ、調べやすいから、SNSはいらない。	女性	30歳代
・ごみすて方法とかは助かるけど、市からの情報はSNSで見ないと思う。災害の時とかはLINEかな。(他のは他の通知で流れてみれなくなるから)	女性	30歳代
・ガラパゴス携帯	男性	40歳代
・SNS以外	男性	40歳代
・別になし	男性	50歳代
・メディアでよい	男性	50歳代
・クラウド以外	男性	50歳代
・スマホ、パソコン無し	男性	60歳代
・ゴミ分別アプリと同じように	女性	60歳代
・いいえ	男性	70歳以上
・英語はわからない	男性	70歳以上
・スマホを使いこなせない。	男性	70歳以上
・インターネットできない	女性	70歳以上
・使い方が分からない	女性	70歳以上
・パソコン、スマホ、ナシ	女性	70歳以上
・郵便	女性	70歳以上

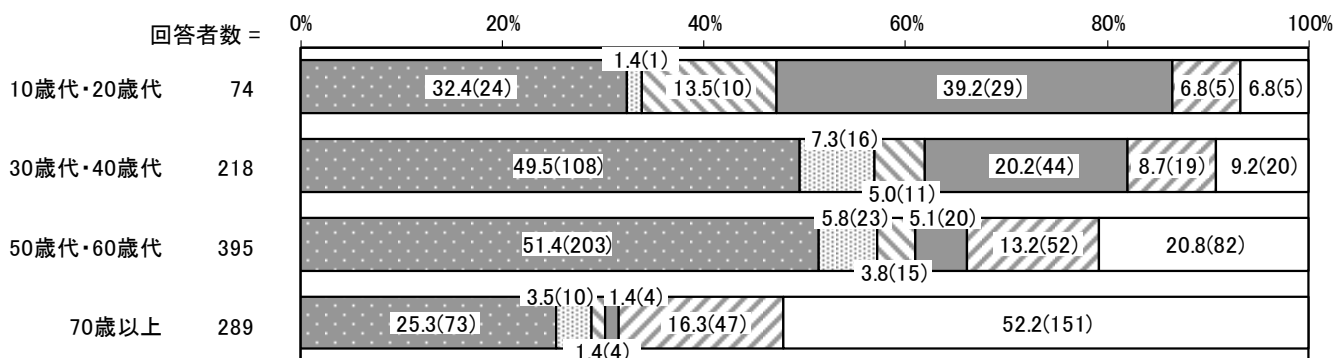
## 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「Instagram」の割合が高くなっています。

## 【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「Instagram」の割合が高くなっています。また、30歳代・40歳代、50歳代・60歳代で「LINE」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	L I N E	F a c e b o o k	T w i t t e r	I n s t a g r a m	そ の 他	無 回 答
全 体	989 100.0	409 41.4	50 5.1	40 4.0	97 9.8	124 12.5	269 27.2
柳河	94 100.0	34 36.2	12 12.8	2 2.1	13 13.8	11 11.7	22 23.4
城内	36 100.0	18 50.0	2 5.6	1 2.8	6 16.7	5 13.9	4 11.1
東宮永	61 100.0	23 37.7	3 4.9	5 8.2	10 16.4	7 11.5	13 21.3
昭代第一	72 100.0	21 29.2	3 4.2	1 1.4	13 18.1	9 12.5	25 34.7
昭代第二	57 100.0	24 42.1	— —	— —	3 5.3	13 22.8	17 29.8
蒲池	86 100.0	40 46.5	6 7.0	5 5.8	8 9.3	8 9.3	19 22.1
矢留	70 100.0	29 41.4	6 8.6	3 4.3	5 7.1	8 11.4	19 27.1
両開	51 100.0	28 54.9	4 7.8	— —	1 2.0	8 15.7	10 19.6
皿垣	24 100.0	9 37.5	1 4.2	2 8.3	1 4.2	2 8.3	9 37.5
有明	21 100.0	10 47.6	1 4.8	1 4.8	2 9.5	2 9.5	5 23.8
中島	49 100.0	18 36.7	1 2.0	3 6.1	2 4.1	8 16.3	17 34.7
六合	29 100.0	12 41.4	— —	1 3.4	2 6.9	5 17.2	9 31.0
大和	39 100.0	13 33.3	1 2.6	3 7.7	2 5.1	4 10.3	16 41.0
豊原	45 100.0	24 53.3	2 4.4	1 2.2	4 8.9	3 6.7	11 24.4
藤吉	99 100.0	51 51.5	3 3.0	4 4.0	8 8.1	11 11.1	22 22.2
矢ヶ部	20 100.0	9 45.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	5 25.0
二ッ河	50 100.0	20 40.0	1 2.0	2 4.0	4 8.0	6 12.0	17 34.0
垂見	42 100.0	14 33.3	3 7.1	— —	3 7.1	7 16.7	15 35.7
中山	13 100.0	7 53.8	— —	1 7.7	1 7.7	2 15.4	2 15.4
わからない	11 100.0	2 18.2	— —	4 36.4	5 45.5	— —	— —

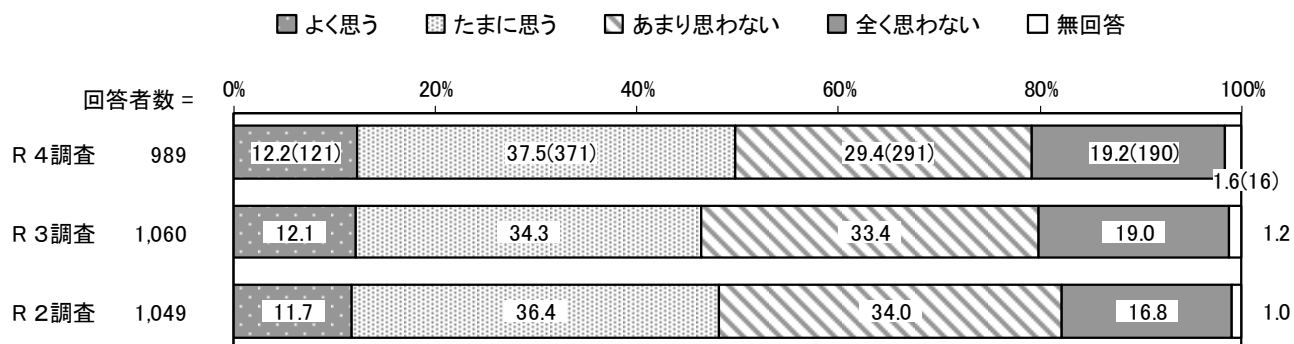
※無回答：20件



## (5) 公共交通について

問11 外出する際、路線バス・電車など公共交通を利用しようと思うことはありますか。(○は1つだけ)

『思う』の割合が49.7%で最も高い。

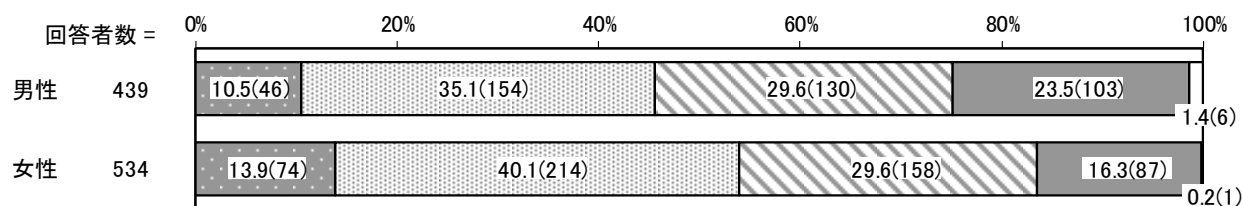


「よく思う」と「たまに思う」をあわせた『思う』の割合が49.7%、「あまり思わない」と「全く思わない」をあわせた『思わない』の割合が48.6%となっています。

### 【経年比較】

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

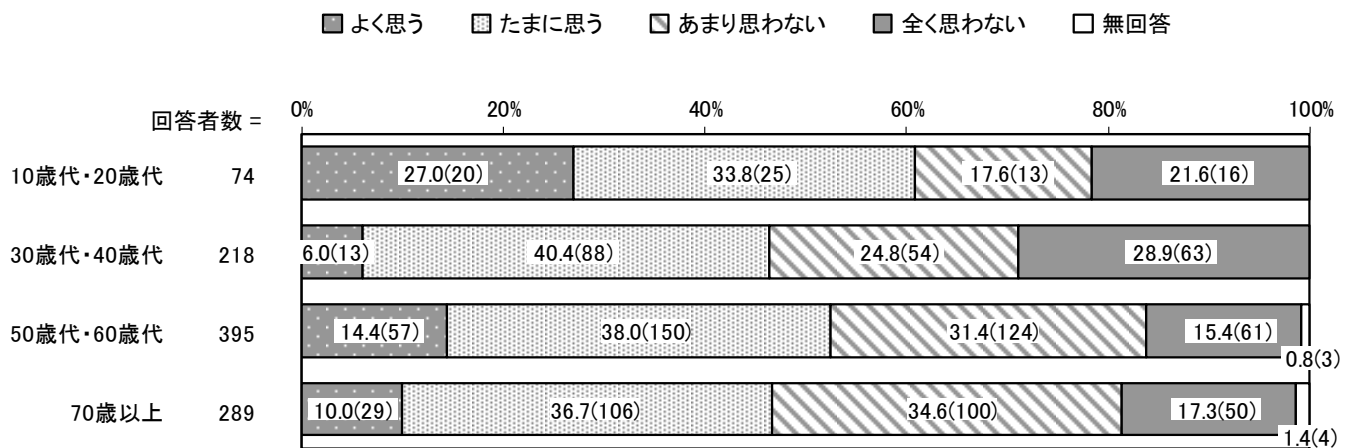
### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で『思う』の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で『思う』の割合高くなっています。また、30歳代・40歳代、70歳以上で『思わない』の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

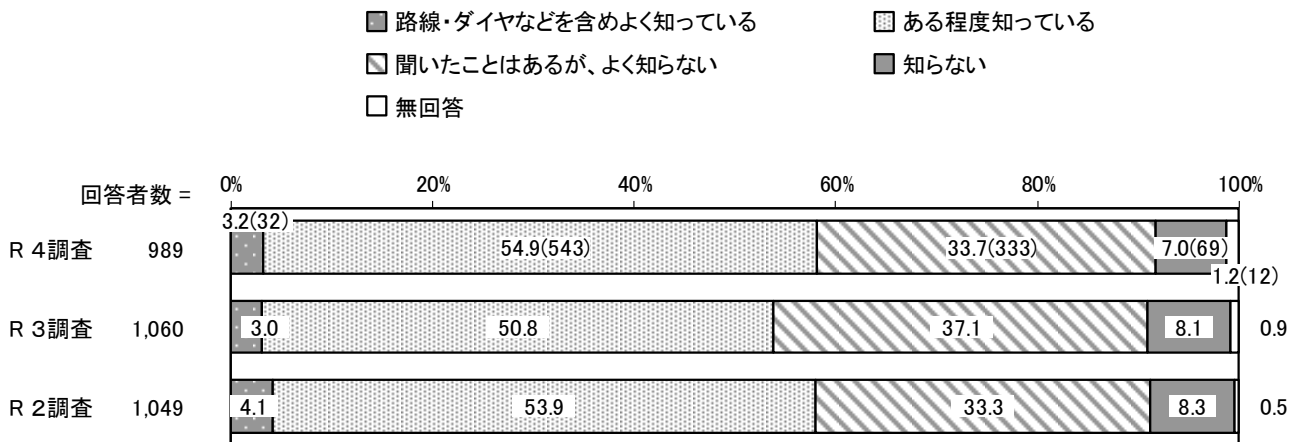
単位：％

区分	回答者数 (件)	よく思う	たまに思う	あまり思わない	全く思わない	無回答	『思う』	『思わない』
全体	989 100.0	121 12.2	371 37.5	291 29.4	190 19.2	16 1.6	492 49.7	481 48.6
柳河	94 100.0	14 14.9	38 40.4	29 30.9	13 13.8	—	52 55.3	42 44.7
城内	36 100.0	8 22.2	13 36.1	10 27.8	5 13.9	—	21 58.3	15 41.7
東宮永	61 100.0	6 9.8	24 39.3	15 24.6	16 26.2	—	30 49.1	31 50.8
昭代第一	72 100.0	4 5.6	25 34.7	20 27.8	23 31.9	—	29 40.3	43 59.7
昭代第二	57 100.0	4 7.0	18 31.6	25 43.9	9 15.8	1 1.8	22 38.6	34 59.7
蒲池	86 100.0	10 11.6	30 34.9	25 29.1	20 23.3	1 1.2	40 46.5	45 52.4
矢留	70 100.0	12 17.1	16 22.9	22 31.4	19 27.1	1 1.4	28 40.0	41 58.5
両開	51 100.0	6 11.8	22 43.1	15 29.4	8 15.7	—	28 54.9	23 45.1
皿垣	24 100.0	1 4.2	10 41.7	6 25.0	7 29.2	—	11 45.9	13 54.2
有明	21 100.0	— —	10 47.6	6 28.6	5 23.8	—	10 47.6	11 52.4
中島	49 100.0	5 10.2	16 32.7	18 36.7	10 20.4	—	21 42.9	28 57.1
六合	29 100.0	2 6.9	15 51.7	8 27.6	4 13.8	—	17 58.6	12 41.4
大和	39 100.0	6 15.4	15 38.5	10 25.6	7 17.9	1 2.6	21 53.9	17 43.5
豊原	45 100.0	7 15.6	19 42.2	9 20.0	9 20.0	1 2.2	26 57.8	18 40.0
藤吉	99 100.0	16 16.2	46 46.5	30 30.3	6 6.1	1 1.0	62 62.7	36 36.4
矢ヶ部	20 100.0	3 15.0	7 35.0	5 25.0	5 25.0	—	10 50.0	10 50.0
二ッ河	50 100.0	7 14.0	18 36.0	13 26.0	11 22.0	1 2.0	25 50.0	24 48.0
垂見	42 100.0	5 11.9	14 33.3	17 40.5	6 14.3	—	19 45.2	23 54.8
中山	13 100.0	— —	6 46.2	5 38.5	2 15.4	—	6 46.2	7 53.9
わからない	11 100.0	3 27.3	4 36.4	1 9.1	3 27.3	—	7 63.7	4 36.4

※無回答：20件

問 12 柳川市が運行しているコミュニティバスを知っていますか。(○は1つだけ)

『知っている』の割合が58.1%で最も高い。

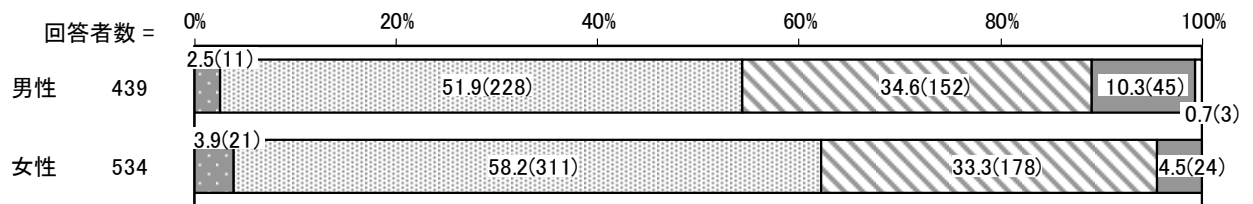


「路線・ダイヤなどを含めよく知っている」と「ある程度知っている」をあわせた『知っている』の割合が58.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」と「知らない」をあわせた『知らない』の割合が40.7%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

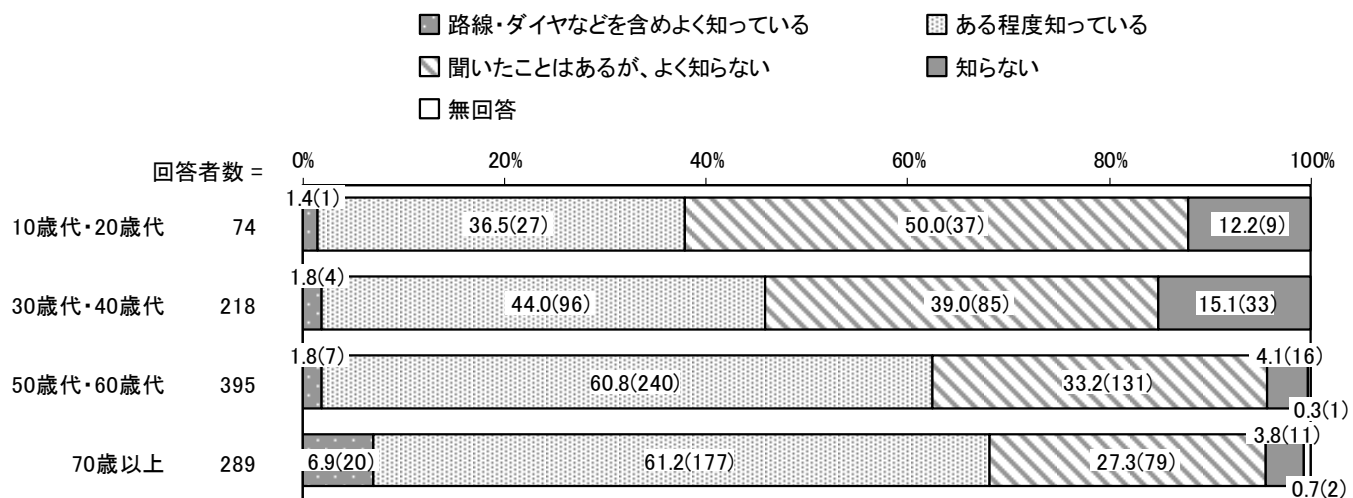
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で『知っている』の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で『知っている』の割合が、10歳代・20歳代で『知らない』の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

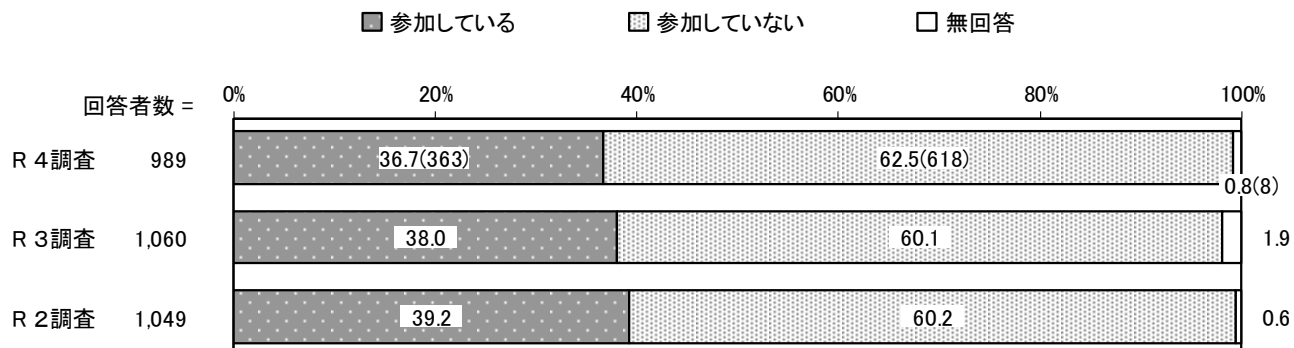
区分	回答者数 (件)	路線・ダイヤなどを 含めよく知っている	ある程度知っている	聞いたことはあるが、 よく知らない	知らない	無回答	『知っている』	『知らない』
全体	989 100.0	32 3.2	543 54.9	333 33.7	69 7.0	12 1.2	575 58.1	402 40.7
柳河	94 100.0	1 1.1	57 60.6	31 33.0	5 5.3	— —	58 61.7	36 38.3
城内	36 100.0	— —	24 66.7	10 27.8	2 5.6	— —	24 66.7	12 33.4
東宮永	61 100.0	1 1.6	34 55.7	23 37.7	3 4.9	— —	35 57.3	26 42.6
昭代第一	72 100.0	3 4.2	41 56.9	22 30.6	6 8.3	— —	44 61.1	28 38.9
昭代第二	57 100.0	3 5.3	32 56.1	18 31.6	3 5.3	1 1.8	35 61.4	21 36.9
蒲池	86 100.0	1 1.2	48 55.8	27 31.4	10 11.6	— —	49 57.0	37 43.0
矢留	70 100.0	1 1.4	38 54.3	26 37.1	4 5.7	1 1.4	39 55.7	30 42.8
両開	51 100.0	3 5.9	27 52.9	16 31.4	5 9.8	— —	30 58.8	21 41.2
皿垣	24 100.0	1 4.2	13 54.2	8 33.3	2 8.3	— —	14 58.4	10 41.6
有明	21 100.0	1 4.8	12 57.1	8 38.1	— —	— —	13 61.9	8 38.1
中島	49 100.0	5 10.2	28 57.1	14 28.6	2 4.1	— —	33 67.3	16 32.7
六合	29 100.0	1 3.4	11 37.9	14 48.3	3 10.3	— —	12 41.3	17 58.6
大和	39 100.0	2 5.1	19 48.7	15 38.5	2 5.1	1 2.6	21 53.8	17 43.6
豊原	45 100.0	1 2.2	24 53.3	16 35.6	4 8.9	— —	25 55.5	20 44.5
藤吉	99 100.0	4 4.0	59 59.6	32 32.3	4 4.0	— —	63 63.6	36 36.3
矢ヶ部	20 100.0	— —	10 50.0	10 50.0	— —	— —	10 50.0	10 50.0
二ッ河	50 100.0	4 8.0	26 52.0	18 36.0	2 4.0	— —	30 60.0	20 40.0
垂見	42 100.0	— —	26 61.9	10 23.8	6 14.3	— —	26 61.9	16 38.1
中山	13 100.0	— —	6 46.2	5 38.5	2 15.4	— —	6 46.2	7 53.9
わからない	11 100.0	— —	2 18.2	7 63.6	2 18.2	— —	2 18.2	9 81.8

※無回答：20件

## (6) 暮らしについて

問 13 地域活動や地域ボランティアに参加していますか。(〇は1つだけ)

「参加していない」の割合が62.5%で最も高い。

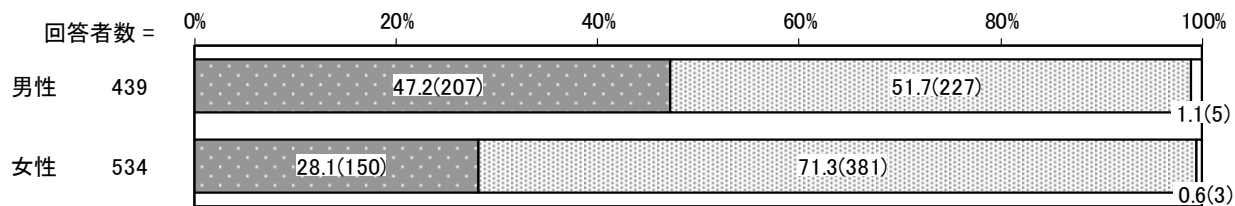


「参加している」の割合が36.7%、「参加していない」の割合が62.5%となっています。

### 【経年比較】

過去の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

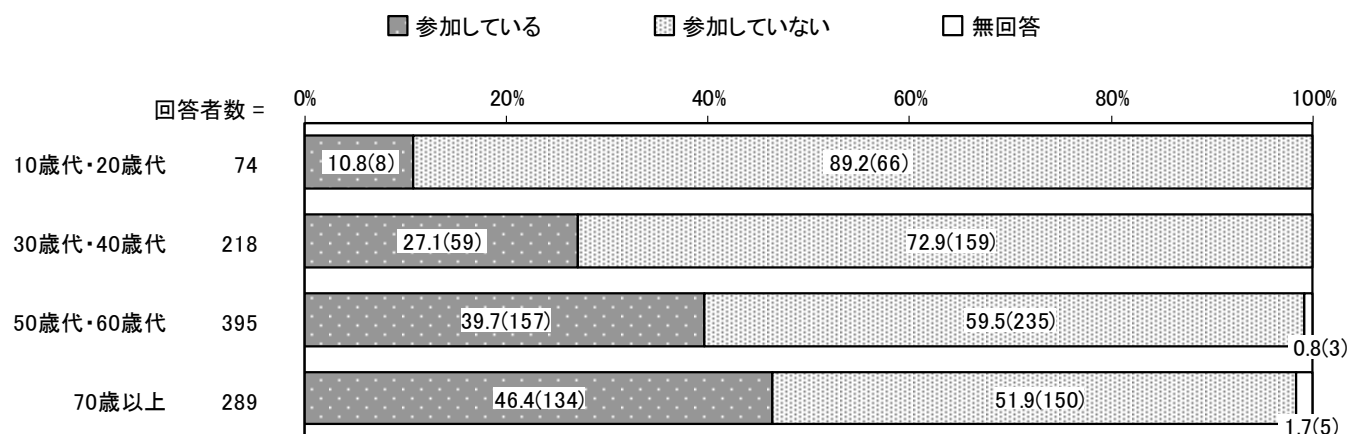
### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「参加していない」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「参加していない」の割合が、70歳以上で「参加している」の割合が高くなっています。



【小学校区別】

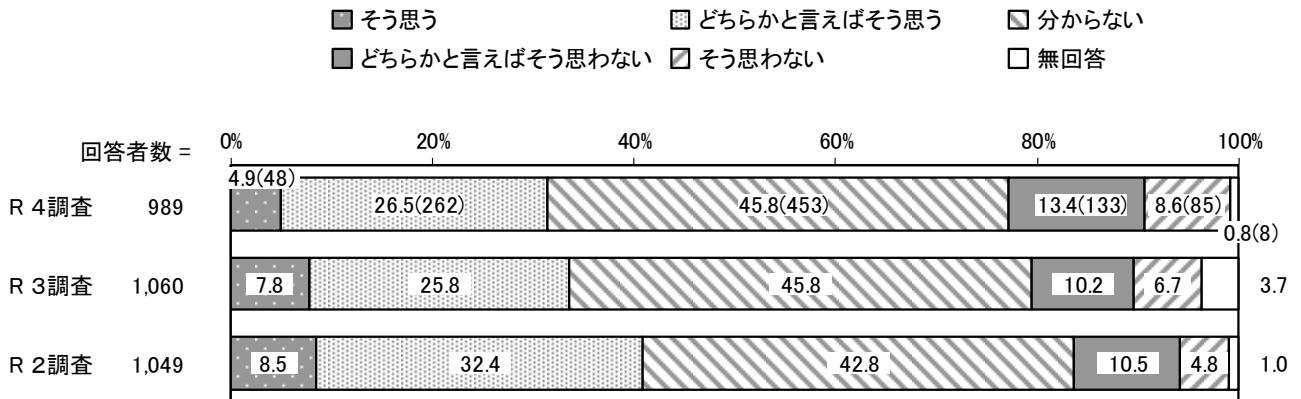
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	参加している	参加していない	無回答
全体	989 100.0	363 36.7	618 62.5	8 0.8
柳河	94 100.0	28 29.8	66 70.2	— —
城内	36 100.0	14 38.9	22 61.1	— —
東宮永	61 100.0	25 41.0	36 59.0	— —
昭代第一	72 100.0	27 37.5	44 61.1	1 1.4
昭代第二	57 100.0	16 28.1	41 71.9	— —
蒲池	86 100.0	26 30.2	59 68.6	1 1.2
矢留	70 100.0	24 34.3	45 64.3	1 1.4
両開	51 100.0	19 37.3	31 60.8	1 2.0
皿垣	24 100.0	15 62.5	9 37.5	— —
有明	21 100.0	9 42.9	12 57.1	— —
中島	49 100.0	19 38.8	30 61.2	— —
六合	29 100.0	15 51.7	14 48.3	— —
大和	39 100.0	18 46.2	20 51.3	1 2.6
豊原	45 100.0	23 51.1	21 46.7	1 2.2
藤吉	99 100.0	26 26.3	71 71.7	2 2.0
矢ヶ部	20 100.0	10 50.0	10 50.0	— —
ニッ河	50 100.0	21 42.0	29 58.0	— —
垂見	42 100.0	18 42.9	24 57.1	— —
中山	13 100.0	5 38.5	8 61.5	— —
わからない	11 100.0	— —	11 100.0	— —

※無回答：20件

問 14 柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(○は1つだけ)

「分からない」の割合が45.8%で最も高い。

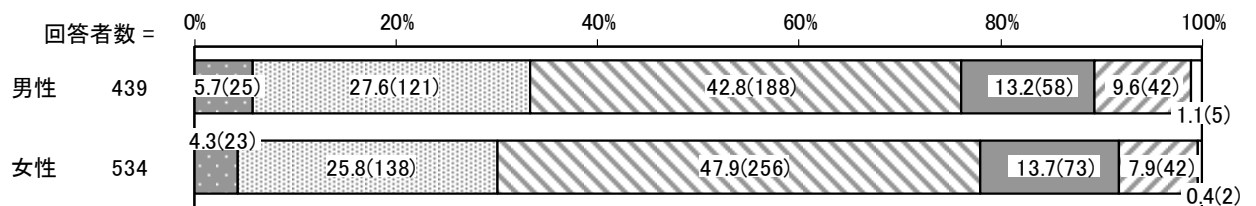


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が31.4%、「分からない」の割合が45.8%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合が22.0%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、『そう思う』の割合が減少する傾向がみられます。

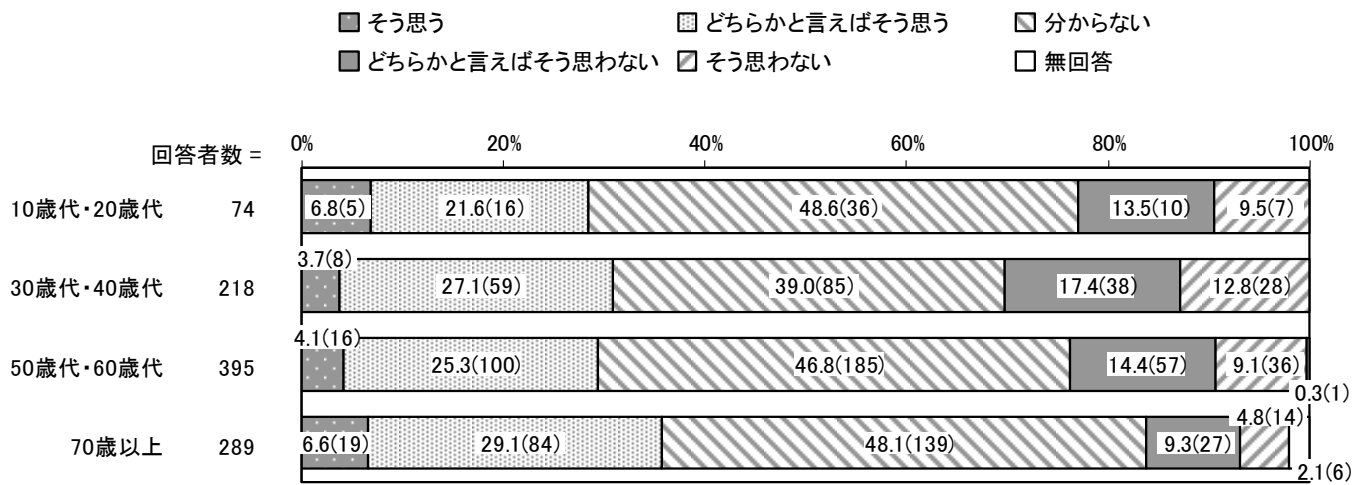
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「分からない」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代・40歳代で『そう思わない』の割合が高くなっています。

【小学校区別】

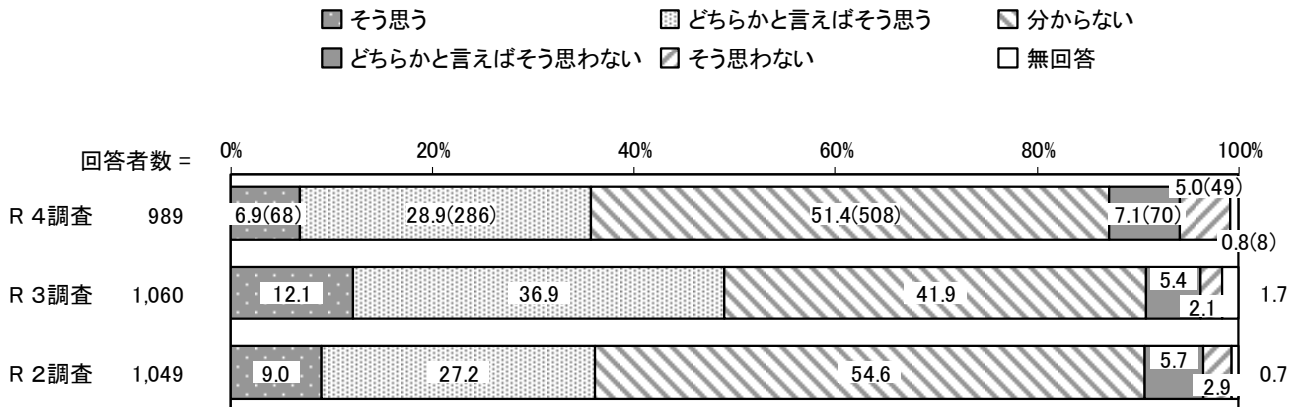
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらか と 言えば そう思う	分からない	どちらか と 言えば そう思わない	そう思わない	無回答	『そう思う』	『そう思わない』
全体	989 100.0	48 4.9	262 26.5	453 45.8	133 13.4	85 8.6	8 0.8	310 31.4	218 22.0
柳河	94 100.0	3 3.2	33 35.1	33 35.1	13 13.8	11 11.7	1 1.1	36 38.3	24 25.5
城内	36 100.0	3 8.3	10 27.8	17 47.2	3 8.3	3 8.3	—	13 36.1	6 16.6
東宮永	61 100.0	3 4.9	26 42.6	22 36.1	6 9.8	4 6.6	—	29 47.5	10 16.4
昭代第一	72 100.0	2 2.8	12 16.7	40 55.6	9 12.5	7 9.7	2 2.8	14 19.5	16 22.2
昭代第二	57 100.0	3 5.3	16 28.1	25 43.9	8 14.0	5 8.8	—	19 33.4	13 22.8
蒲池	86 100.0	6 7.0	19 22.1	41 47.7	13 15.1	6 7.0	1 1.2	25 29.1	19 22.1
矢留	70 100.0	3 4.3	20 28.6	30 42.9	14 20.0	3 4.3	—	23 32.9	17 24.3
両開	51 100.0	2 3.9	9 17.6	22 43.1	10 19.6	8 15.7	—	11 21.5	18 35.3
皿垣	24 100.0	2 8.3	12 50.0	8 33.3	1 4.2	1 4.2	—	14 58.3	2 8.4
有明	21 100.0	2 9.5	6 28.6	7 33.3	6 28.6	—	—	8 38.1	6 28.6
中島	49 100.0	3 6.1	10 20.4	23 46.9	5 10.2	8 16.3	—	13 26.5	13 26.5
六合	29 100.0	1 3.4	7 24.1	14 48.3	5 17.2	1 3.4	1 3.4	8 27.5	6 20.6
大和	39 100.0	2 5.1	10 25.6	20 51.3	3 7.7	3 7.7	1 2.6	12 30.7	6 15.4
豊原	45 100.0	3 6.7	9 20.0	27 60.0	3 6.7	3 6.7	—	12 26.7	6 13.4
藤吉	99 100.0	2 2.0	20 20.2	54 54.5	11 11.1	11 11.1	1 1.0	22 22.2	22 22.2
矢ヶ部	20 100.0	—	7 35.0	8 40.0	4 20.0	1 5.0	—	7 35.0	5 25.0
二ッ河	50 100.0	4 8.0	14 28.0	20 40.0	9 18.0	3 6.0	—	18 36.0	12 24.0
垂見	42 100.0	2 4.8	17 40.5	15 35.7	4 9.5	4 9.5	—	19 45.3	8 19.0
中山	13 100.0	1 7.7	1 7.7	6 46.2	3 23.1	2 15.4	—	2 15.4	5 38.5
わからない	11 100.0	—	1 9.1	9 81.8	1 9.1	—	—	1 9.1	1 9.1

※無回答：20件

問 15 柳川市は人権が守られていると思いますか。(〇は1つだけ)

「分からない」の割合が51.4%で最も高い。

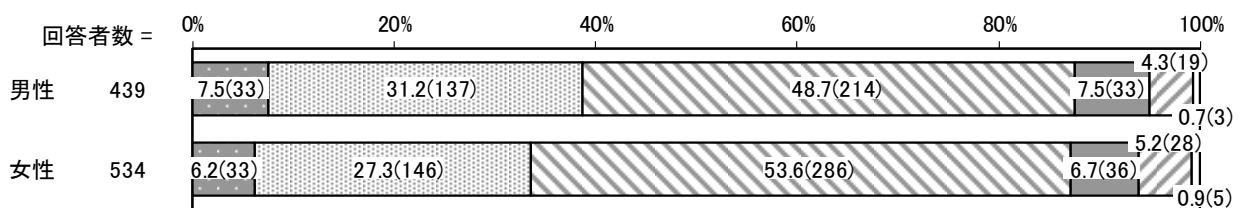


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が35.8%、「分からない」の割合が51.4%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合が12.1%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、R 3 調査に比べ、『そう思う』の割合が減少しています。

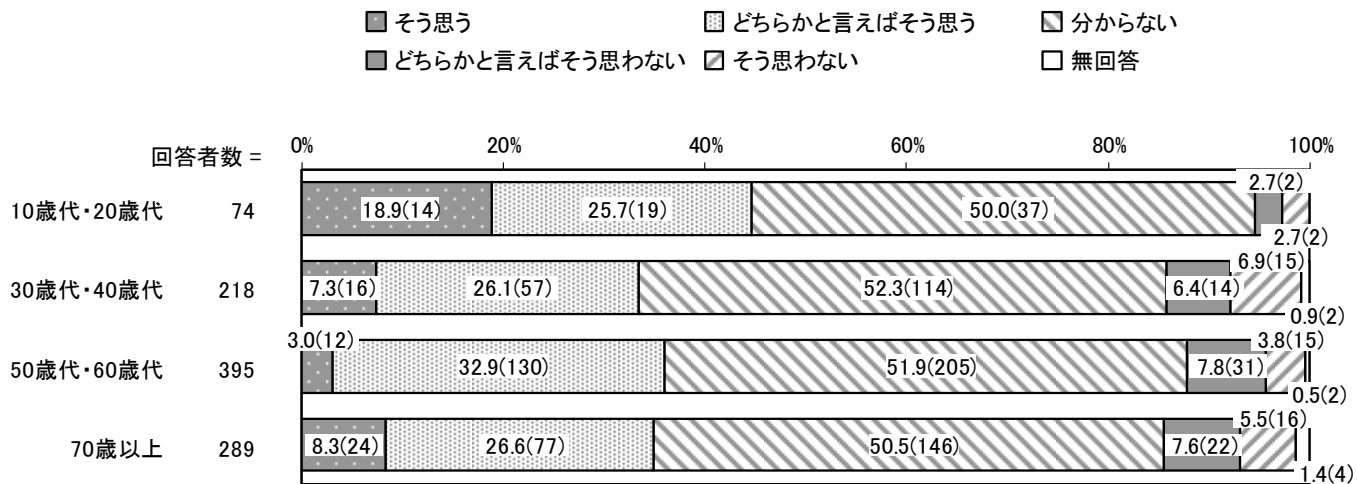
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で『そう思う』の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で『そう思う』の割合が高くなっています。

【小学校区別】

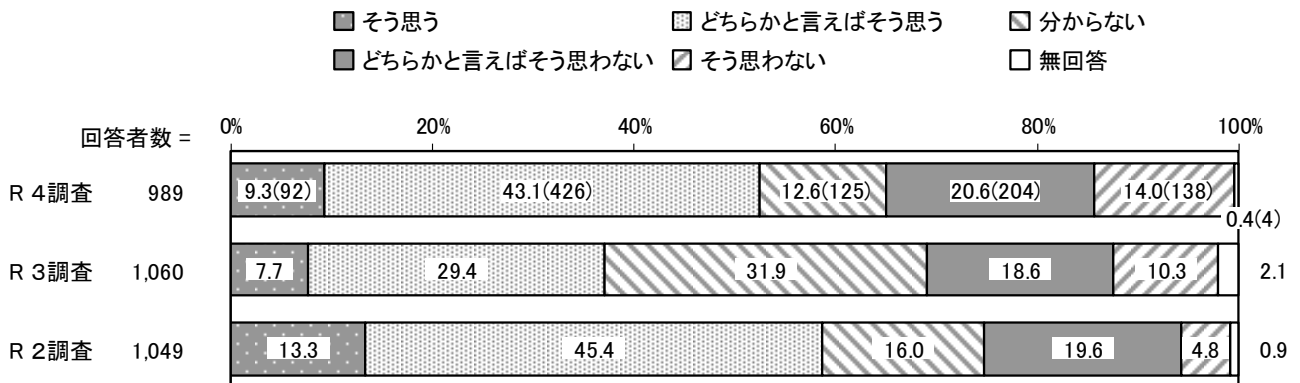
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	『そう思う』	『どちらかといえば そう思う』	分からない	『どちらかといえば そう思わない』	『そう思わない』	無回答	『『そう思う』』	『『そう思わない』』
全体	989 100.0	68 6.9	286 28.9	508 51.4	70 7.1	49 5.0	8 0.8	354 35.8	119 12.1
柳河	94 100.0	5 5.3	30 31.9	47 50.0	8 8.5	3 3.2	1 1.1	35 37.2	11 11.7
城内	36 100.0	3 8.3	9 25.0	18 50.0	2 5.6	3 8.3	1 2.8	12 33.3	5 13.9
東宮永	61 100.0	4 6.6	25 41.0	29 47.5	2 3.3	1 1.6	— —	29 47.6	3 4.9
昭代第一	72 100.0	6 8.3	17 23.6	37 51.4	6 8.3	5 6.9	1 1.4	23 31.9	11 15.2
昭代第二	57 100.0	3 5.3	14 24.6	33 57.9	4 7.0	3 5.3	— —	17 29.9	7 12.3
蒲池	86 100.0	8 9.3	24 27.9	44 51.2	7 8.1	3 3.5	— —	32 37.2	10 11.6
矢留	70 100.0	2 2.9	18 25.7	42 60.0	5 7.1	3 4.3	— —	20 28.6	8 11.4
両開	51 100.0	4 7.8	13 25.5	24 47.1	7 13.7	2 3.9	1 2.0	17 33.3	9 17.6
皿垣	24 100.0	2 8.3	11 45.8	11 45.8	— —	— —	— —	13 54.1	0 0.0
有明	21 100.0	1 4.8	10 47.6	9 42.9	— —	1 4.8	— —	11 52.4	1 4.8
中島	49 100.0	3 6.1	13 26.5	25 51.0	2 4.1	6 12.2	— —	16 32.6	8 16.3
六合	29 100.0	2 6.9	11 37.9	12 41.4	2 6.9	2 6.9	— —	13 44.8	4 13.8
大和	39 100.0	3 7.7	11 28.2	21 53.8	2 5.1	— —	2 5.1	14 35.9	2 5.1
豊原	45 100.0	2 4.4	12 26.7	24 53.3	3 6.7	3 6.7	1 2.2	14 31.1	6 13.4
藤吉	99 100.0	2 2.0	29 29.3	54 54.5	7 7.1	7 7.1	— —	31 31.3	14 14.2
矢ヶ部	20 100.0	2 10.0	7 35.0	8 40.0	2 10.0	1 5.0	— —	9 45.0	3 15.0
二ッ河	50 100.0	6 12.0	14 28.0	25 50.0	3 6.0	2 4.0	— —	20 40.0	5 10.0
垂見	42 100.0	1 2.4	12 28.6	22 52.4	5 11.9	2 4.8	— —	13 31.0	7 16.7
中山	13 100.0	3 23.1	3 23.1	6 46.2	1 7.7	— —	— —	6 46.2	1 7.7
わからない	11 100.0	3 27.3	1 9.1	6 54.5	1 9.1	— —	— —	4 36.4	1 9.1

※無回答：20件

問 16 市内の道路を快適に通行できると思いますか。(○は1つだけ)

『そう思う』の割合が52.4%で最も高い。

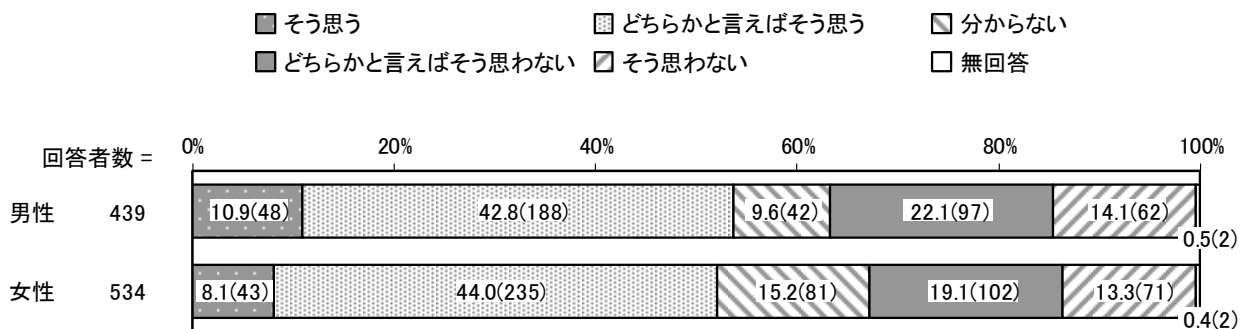


「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』の割合が52.4%、「分からない」の割合が12.6%、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合が34.6%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、R 3 調査と比べ、『そう思う』の割合が増加しています。

【性別】

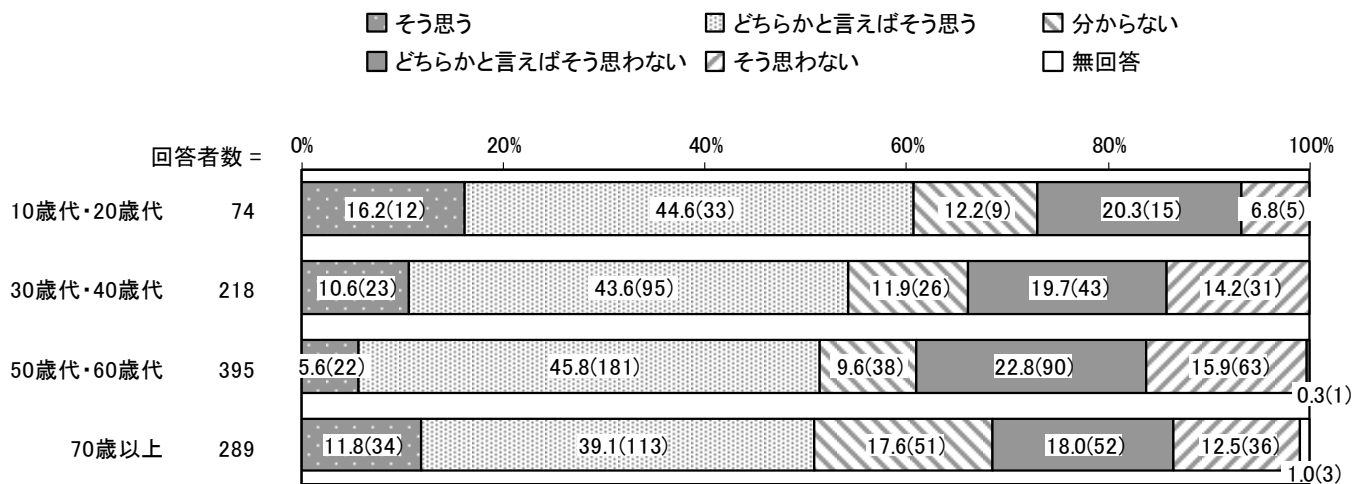


※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「分からない」の割合が高くなっています。



【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で『そう思う』の割合が、50歳代・60歳代で『そう思わない』の割合が高くなっています。

【小学校区別】

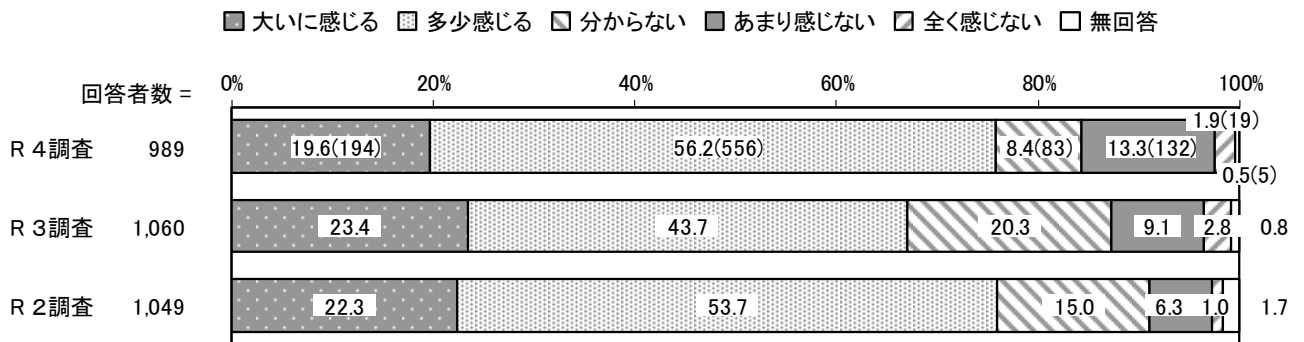
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	『そう思う』	『どちらかといえば そう思う』	分からない	『どちらかといえば そう思わない』	『そう思わない』	無回答	『『そう思う』』	『『そう思わない』』
全体	989 100.0	92 9.3	426 43.1	125 12.6	204 20.6	138 14.0	4 0.4	518 52.4	342 34.6
柳河	94 100.0	5 5.3	38 40.4	13 13.8	22 23.4	15 16.0	1 1.1	43 45.7	37 39.4
城内	36 100.0	5 13.9	12 33.3	7 19.4	7 19.4	5 13.9	—	17 47.2	12 33.3
東宮永	61 100.0	2 3.3	31 50.8	6 9.8	17 27.9	5 8.2	—	33 54.1	22 36.1
昭代第一	72 100.0	6 8.3	31 43.1	6 8.3	18 25.0	10 13.9	1 1.4	37 51.4	28 38.9
昭代第二	57 100.0	6 10.5	22 38.6	6 10.5	13 22.8	10 17.5	—	28 49.1	23 40.3
蒲池	86 100.0	10 11.6	37 43.0	10 11.6	17 19.8	12 14.0	—	47 54.6	29 33.8
矢留	70 100.0	3 4.3	22 31.4	16 22.9	16 22.9	13 18.6	—	25 35.7	29 41.5
両開	51 100.0	5 9.8	21 41.2	9 17.6	10 19.6	6 11.8	—	26 51.0	16 31.4
皿垣	24 100.0	5 20.8	9 37.5	3 12.5	5 20.8	2 8.3	—	14 58.3	7 29.1
有明	21 100.0	2 9.5	11 52.4	2 9.5	3 14.3	3 14.3	—	13 61.9	6 28.6
中島	49 100.0	5 10.2	21 42.9	5 10.2	8 16.3	10 20.4	—	26 53.1	18 36.7
六合	29 100.0	5 17.2	11 37.9	3 10.3	8 27.6	2 6.9	—	16 55.1	10 34.5
大和	39 100.0	4 10.3	24 61.5	3 7.7	5 12.8	3 7.7	—	28 71.8	8 20.5
豊原	45 100.0	7 15.6	23 51.1	4 8.9	5 11.1	5 11.1	1 2.2	30 66.7	10 22.2
藤吉	99 100.0	3 3.0	48 48.5	12 12.1	24 24.2	12 12.1	—	51 51.5	36 36.3
矢ヶ部	20 100.0	2 10.0	5 25.0	3 15.0	6 30.0	4 20.0	—	7 35.0	10 50.0
二ッ河	50 100.0	6 12.0	23 46.0	6 12.0	5 10.0	9 18.0	1 2.0	29 58.0	14 28.0
垂見	42 100.0	4 9.5	22 52.4	5 11.9	8 19.0	3 7.1	—	26 61.9	11 26.1
中山	13 100.0	—	7 53.8	2 15.4	2 15.4	2 15.4	—	7 53.8	4 30.8
わからない	11 100.0	4 36.4	3 27.3	1 9.1	1 9.1	2 18.2	—	7 63.7	3 27.3

※無回答：20件

問 17 柳川市に愛着や誇りを感じますか。(〇は1つだけ)

『感じる』の割合が75.8%で最も高い。

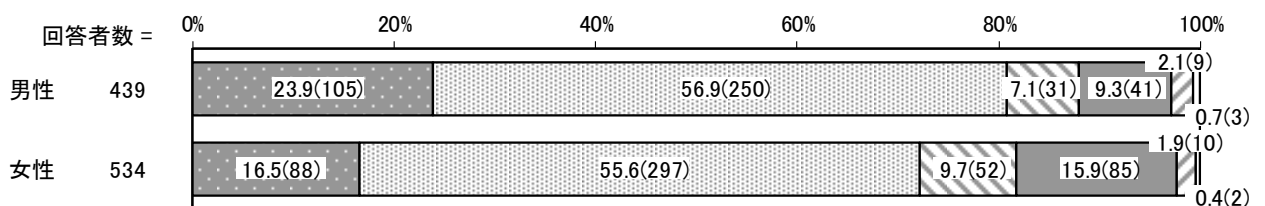


「大いに感じる」と「多少感じる」をあわせた『感じる』の割合が75.8%、「分からない」の割合が8.4%、「あまり感じない」と「全く感じない」をあわせた『感じない』の割合が15.2%となっています。

【経年比較】

過去の調査と比較すると、R 3 調査と比べ、『感じる』の割合が増加しています。

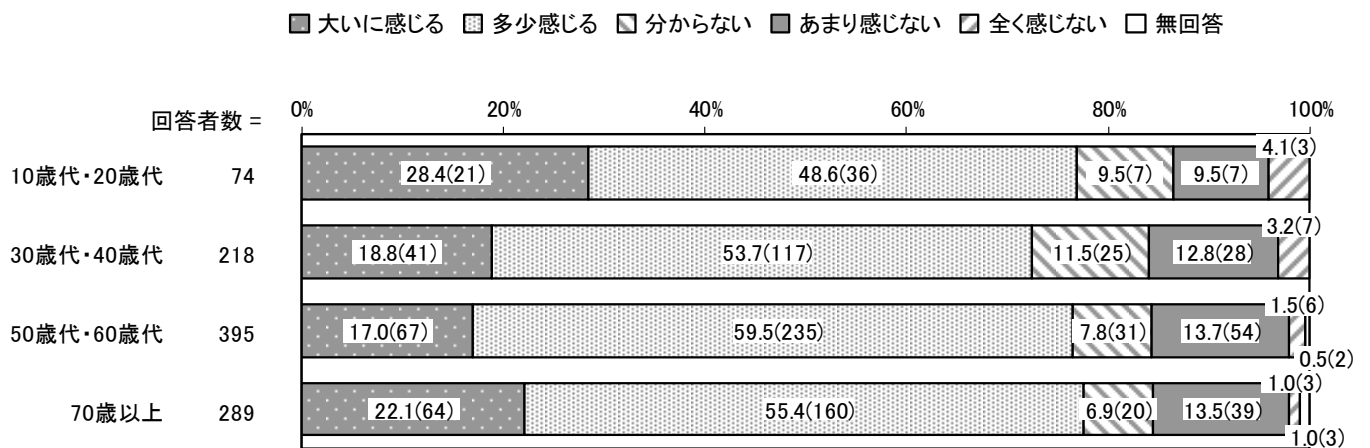
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で『感じる』の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別でみると、大きな差異はみられません。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

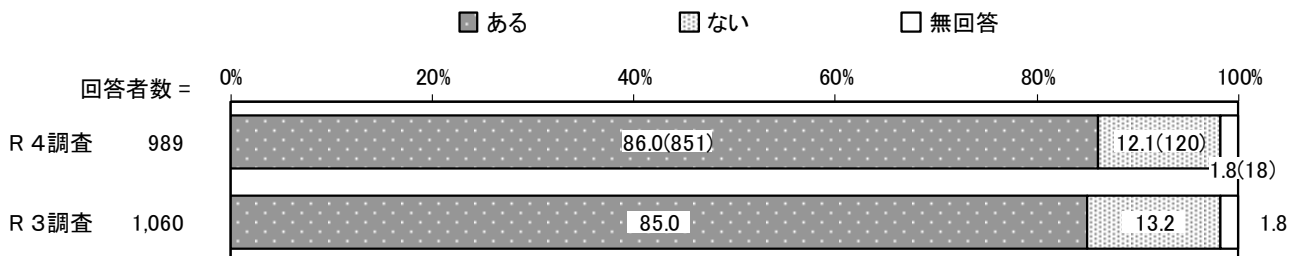
区分	回答者数 (件)	大いに感じる	多少感じる	分からない	あまり感じない	全く感じない	無回答	『感じる』	『感じない』
全体	989 100.0	194 19.6	556 56.2	83 8.4	132 13.3	19 1.9	5 0.5	750 75.8	151 15.2
柳河	94 100.0	22 23.4	50 53.2	6 6.4	14 14.9	1 1.1	1 1.1	72 76.6	15 16.0
城内	36 100.0	8 22.2	22 61.1	2 5.6	4 11.1	— —	— —	30 83.3	4 11.1
東宮永	61 100.0	13 21.3	37 60.7	2 3.3	9 14.8	— —	— —	50 82.0	9 14.8
昭代第一	72 100.0	11 15.3	43 59.7	5 6.9	11 15.3	1 1.4	1 1.4	54 75.0	12 16.7
昭代第二	57 100.0	6 10.5	33 57.9	4 7.0	10 17.5	4 7.0	— —	39 68.4	14 24.5
蒲池	86 100.0	25 29.1	45 52.3	5 5.8	11 12.8	— —	— —	70 81.4	11 12.8
矢留	70 100.0	18 25.7	34 48.6	4 5.7	11 15.7	2 2.9	1 1.4	52 74.3	13 18.6
両開	51 100.0	12 23.5	26 51.0	5 9.8	7 13.7	1 2.0	— —	38 74.5	8 15.7
皿垣	24 100.0	6 25.0	15 62.5	— —	3 12.5	— —	— —	21 87.5	3 12.5
有明	21 100.0	4 19.0	13 61.9	2 9.5	2 9.5	— —	— —	17 80.9	2 9.5
中島	49 100.0	7 14.3	27 55.1	7 14.3	7 14.3	1 2.0	— —	34 69.4	8 16.3
六合	29 100.0	7 24.1	16 55.2	2 6.9	4 13.8	— —	— —	23 79.3	4 13.8
大和	39 100.0	10 25.6	21 53.8	2 5.1	2 5.1	2 5.1	2 5.1	31 79.4	4 10.2
豊原	45 100.0	8 17.8	26 57.8	5 11.1	5 11.1	1 2.2	— —	34 75.6	6 13.3
藤吉	99 100.0	16 16.2	57 57.6	13 13.1	10 10.1	3 3.0	— —	73 73.8	13 13.1
矢ヶ部	20 100.0	5 25.0	13 65.0	2 10.0	— —	— —	— —	18 90.0	0 0.0
二ッ河	50 100.0	9 18.0	28 56.0	7 14.0	6 12.0	— —	— —	37 74.0	6 12.0
垂見	42 100.0	5 11.9	24 57.1	5 11.9	8 19.0	— —	— —	29 69.0	8 19.0
中山	13 100.0	2 15.4	9 69.2	1 7.7	1 7.7	— —	— —	11 84.6	1 7.7
わからない	11 100.0	— —	6 54.5	4 36.4	— —	1 9.1	— —	6 54.5	1 9.1

※無回答：20件

## (7) ごみの減量について

問 18 ごみの減量やリサイクルに関心はありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が86.0%で最も高い。

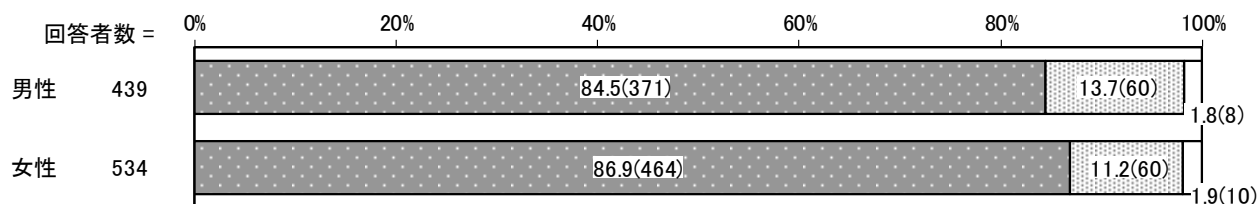


「ある」の割合が86.0%、「ない」の割合が12.1%となっています。

### 【経年比較】

R 3調査と比較すると、大きな変化はみられません。

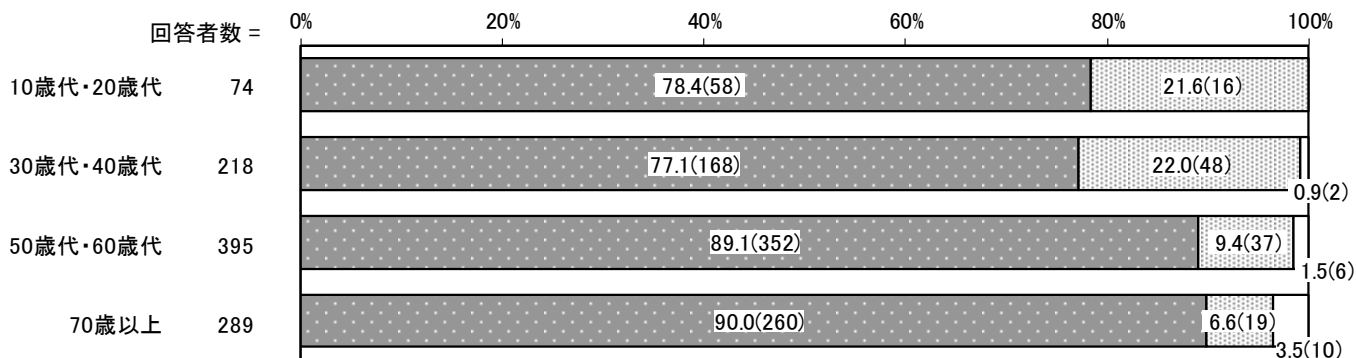
### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、大きな差異はみられません。

### 【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、50歳代・60歳代、70歳以上で「ある」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

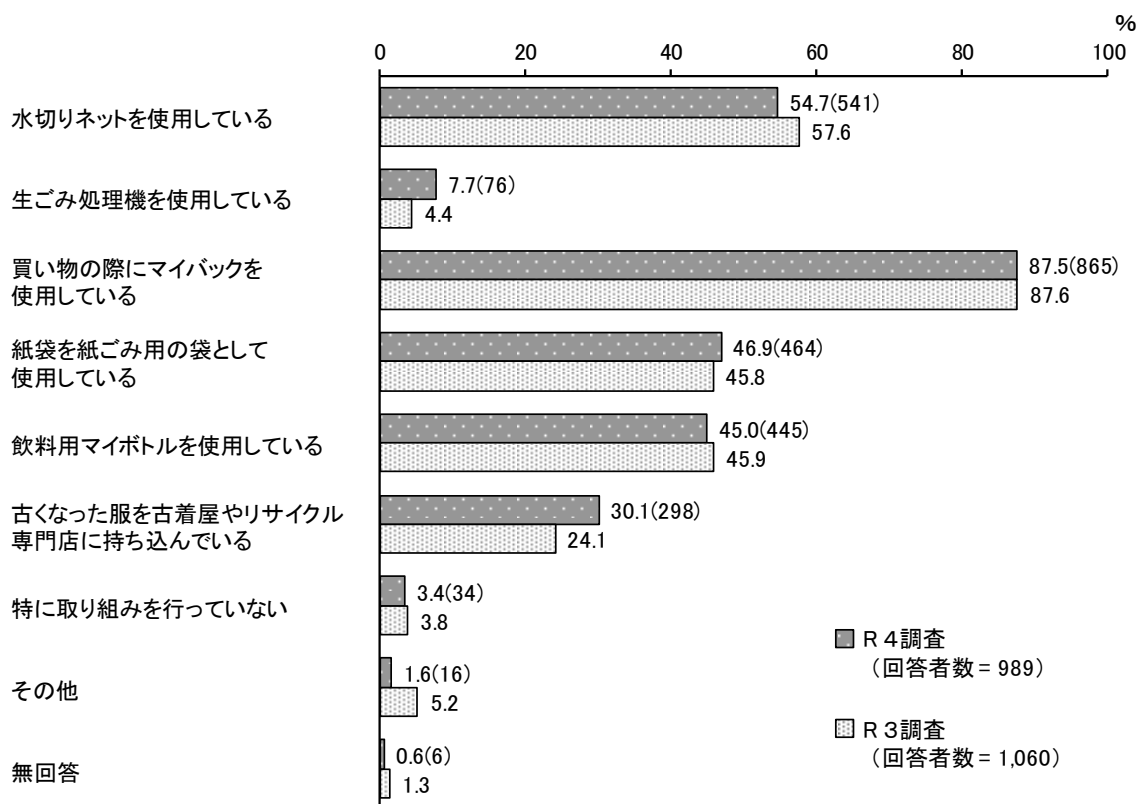
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全体	989 100.0	851 86.0	120 12.1	18 1.8
柳河	94 100.0	79 84.0	13 13.8	2 2.1
城内	36 100.0	35 97.2	1 2.8	— —
東宮永	61 100.0	49 80.3	9 14.8	3 4.9
昭代第一	72 100.0	60 83.3	8 11.1	4 5.6
昭代第二	57 100.0	48 84.2	8 14.0	1 1.8
蒲池	86 100.0	74 86.0	11 12.8	1 1.2
矢留	70 100.0	58 82.9	10 14.3	2 2.9
両開	51 100.0	47 92.2	4 7.8	— —
皿垣	24 100.0	22 91.7	2 8.3	— —
有明	21 100.0	18 85.7	3 14.3	— —
中島	49 100.0	38 77.6	11 22.4	— —
六合	29 100.0	26 89.7	3 10.3	— —
大和	39 100.0	35 89.7	3 7.7	1 2.6
豊原	45 100.0	38 84.4	5 11.1	2 4.4
藤吉	99 100.0	88 88.9	11 11.1	— —
矢ヶ部	20 100.0	17 85.0	3 15.0	— —
ニッ河	50 100.0	45 90.0	5 10.0	— —
垂見	42 100.0	35 83.3	5 11.9	2 4.8
中山	13 100.0	12 92.3	1 7.7	— —
わからない	11 100.0	9 81.8	2 18.2	— —

※無回答：20件

問 19 現在ごみの減量に関して取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

「買い物の際にマイバックを使用している」の割合が 87.5%で最も高い。



「買い物の際にマイバックを使用している」の割合が 87.5%と最も高く、次いで「水切りネットを使用している」の割合が 54.7%、「紙袋を紙ごみ用の袋として使用している」の割合が 46.9%となっています。

【経年比較】

R 3 調査と比較すると、「古くなった服を古着屋やリサイクル専門店に持ち込んでいる」の割合が増加しています。



【その他の回答】

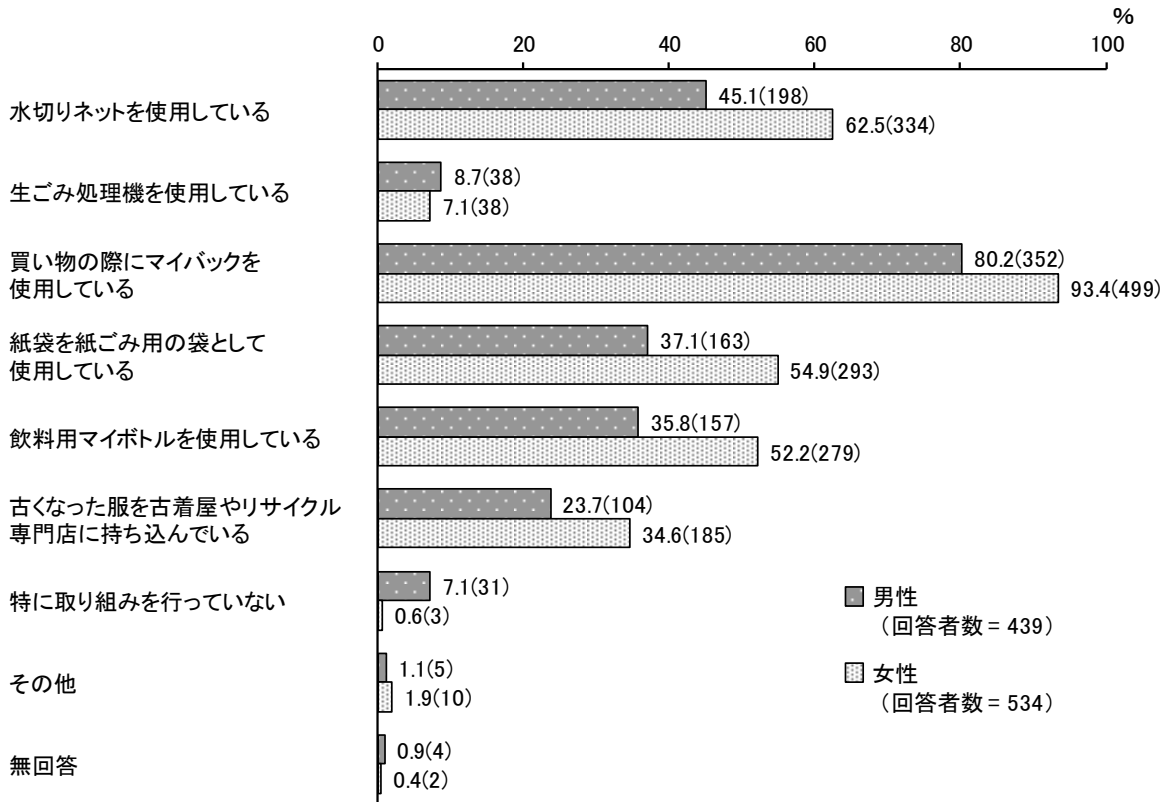
	調査数	野菜くずは畑で処理・肥料にする	分別	リサイクル	不要なものを買わない	その他	記述なし
件数	16	5	3	1	1	5	1

最も多かった回答は「野菜くずは畑で処理・肥料にする」で5件。続いて「分別」（3件）となっています。

「その他」としては、以下の回答が得られました。

主な記述内容	性別	年齢別
問 19 ごみの減量に関して取り組んでいることについて「その他」と回答した人の意見		
・野菜は皮や葉もなるべく食べるようにしている。	男性	20 歳代
・妻まかせで。よく分からない。	男性	40 歳代
・古紙を商業施設に持って行きポイントを貯めている。	女性	40 歳代
・なるべく買物は手で持ち帰る。	男性	50 歳代
・古くなった服をおい、めいに差し上げている。	無回答	無回答

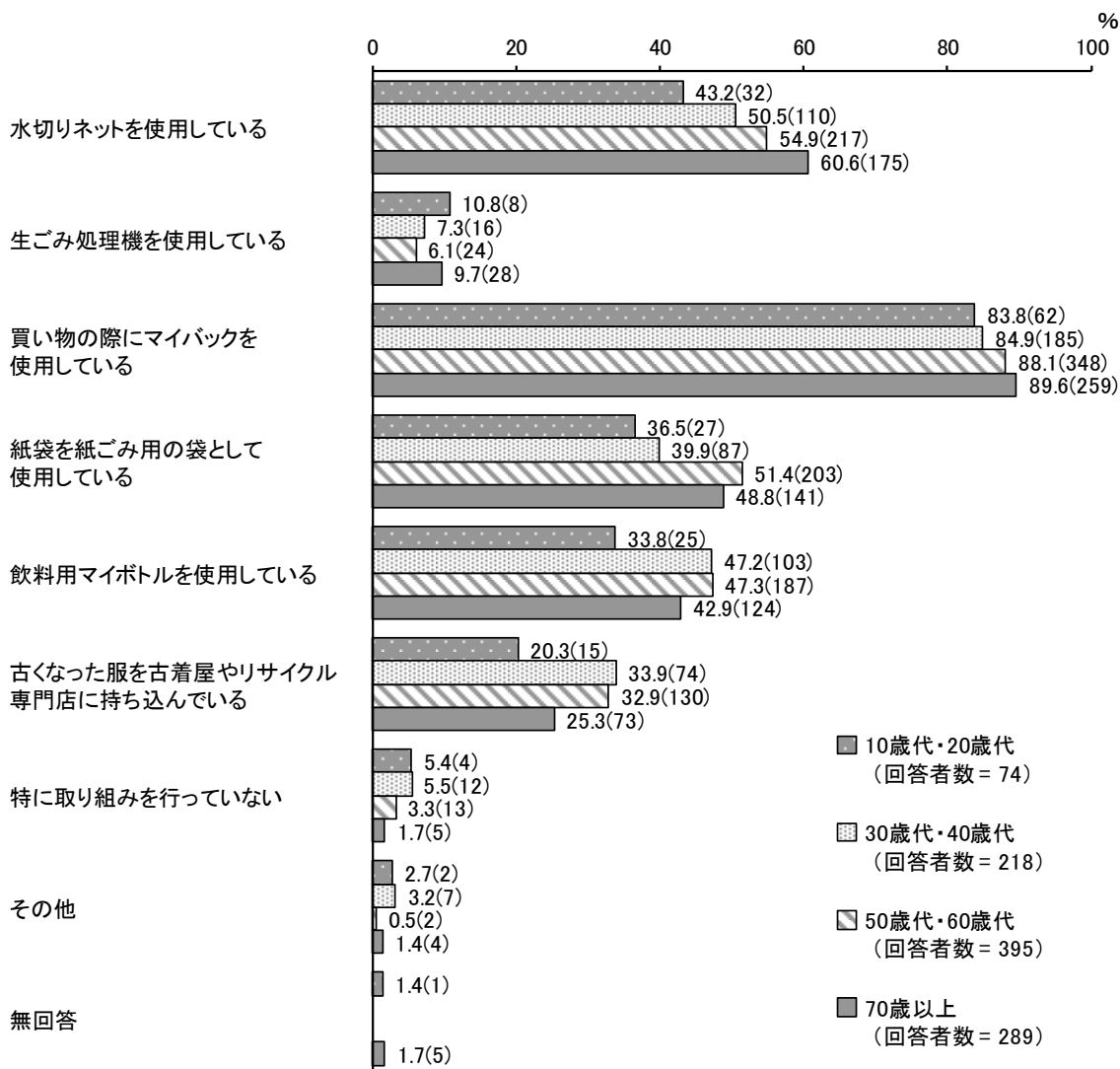
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「水切りネットを使用している」「買い物の際にマイバックを使用している」「紙袋を紙ごみ用の袋として使用している」「飲料用マイボトルを使用している」「古くなった服を古着屋やリサイクル専門店で持ち込んでいる」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、70歳以上で「水切りネットを使用している」の割合が、50歳代・60歳代、70歳以上で「紙袋を紙ごみ用の袋として使用している」の割合が高くなっています。また、30歳代・40歳代、50歳代・60歳代で「古くなった服を古着屋やリサイクル専門店で持ち込んでいる」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

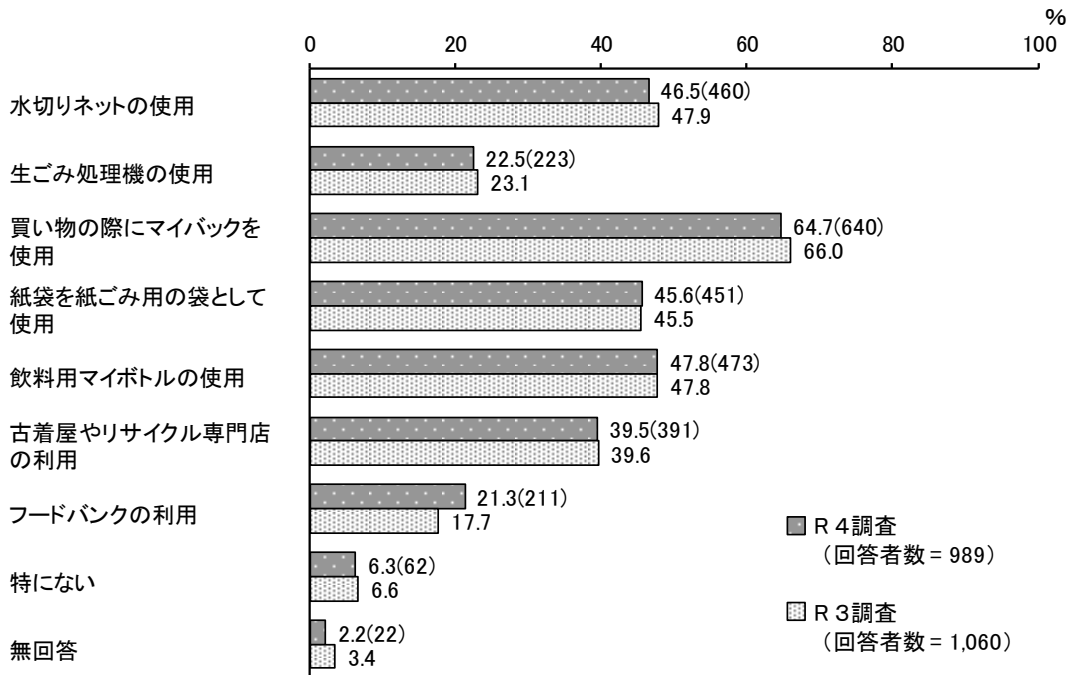
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数(件)	水切りネットを使用している	生ごみ処理機を使用している	買い物の際にマイバックを使用している	紙袋を紙ごみ用の袋として使用している	飲料用マイボトルを使用している	古くなった服を古着屋やリサイクル専門店に持ち込んでいる	特に取り組みを行っていない	その他	無回答
全体	989 100.0	541 54.7	76 7.7	865 87.5	464 46.9	445 45.0	298 30.1	34 3.4	16 1.6	6 0.6
柳河	94 100.0	52 55.3	5 5.3	81 86.2	46 48.9	42 44.7	27 28.7	6 6.4	3 3.2	—
城内	36 100.0	25 69.4	3 8.3	33 91.7	19 52.8	15 41.7	15 41.7	—	1 2.8	—
東宮永	61 100.0	38 62.3	2 3.3	56 91.8	38 62.3	29 47.5	17 27.9	2 3.3	—	—
昭代第一	72 100.0	41 56.9	6 8.3	66 91.7	35 48.6	35 48.6	16 22.2	—	3 4.2	1 1.4
昭代第二	57 100.0	34 59.6	3 5.3	48 84.2	29 50.9	22 38.6	17 29.8	—	1 1.8	—
蒲池	86 100.0	55 64.0	12 14.0	75 87.2	35 40.7	40 46.5	31 36.0	2 2.3	—	—
矢留	70 100.0	34 48.6	2 2.9	57 81.4	31 44.3	31 44.3	13 18.6	6 8.6	—	1 1.4
両開	51 100.0	30 58.8	5 9.8	48 94.1	21 41.2	22 43.1	17 33.3	2 3.9	—	—
皿垣	24 100.0	9 37.5	2 8.3	21 87.5	11 45.8	8 33.3	8 33.3	—	1 4.2	—
有明	21 100.0	10 47.6	—	17 81.0	13 61.9	9 42.9	8 38.1	3 14.3	—	—
中島	49 100.0	23 46.9	5 10.2	46 93.9	18 36.7	25 51.0	12 24.5	—	—	2 4.1
六合	29 100.0	13 44.8	2 6.9	23 79.3	15 51.7	15 51.7	7 24.1	1 3.4	1 3.4	—
大和	39 100.0	24 61.5	4 10.3	35 89.7	20 51.3	19 48.7	14 35.9	1 2.6	1 2.6	1 2.6
豊原	45 100.0	22 48.9	6 13.3	38 84.4	18 40.0	19 42.2	16 35.6	2 4.4	1 2.2	—
藤吉	99 100.0	51 51.5	5 5.1	84 84.8	50 50.5	48 48.5	32 32.3	3 3.0	2 2.0	—
矢ヶ部	20 100.0	12 60.0	2 10.0	16 80.0	13 65.0	9 45.0	5 25.0	1 5.0	—	—
二ッ河	50 100.0	23 46.0	9 18.0	45 90.0	23 46.0	22 44.0	17 34.0	1 2.0	1 2.0	—
垂見	42 100.0	21 50.0	2 4.8	39 92.9	14 33.3	17 40.5	8 19.0	2 4.8	—	—
中山	13 100.0	3 23.1	—	10 76.9	3 23.1	4 30.8	4 30.8	1 7.7	—	1 7.7
わからない	11 100.0	8 72.7	—	10 90.9	3 27.3	7 63.6	3 27.3	—	—	—

※無回答：20件

問 20 ごみ減量の工夫として次のようなものがありますが、取り組んでもよいと思うものはありますか。(〇はいくつでも)

「買い物の際にマイバックを使用」の割合が 64.7%で最も高い。

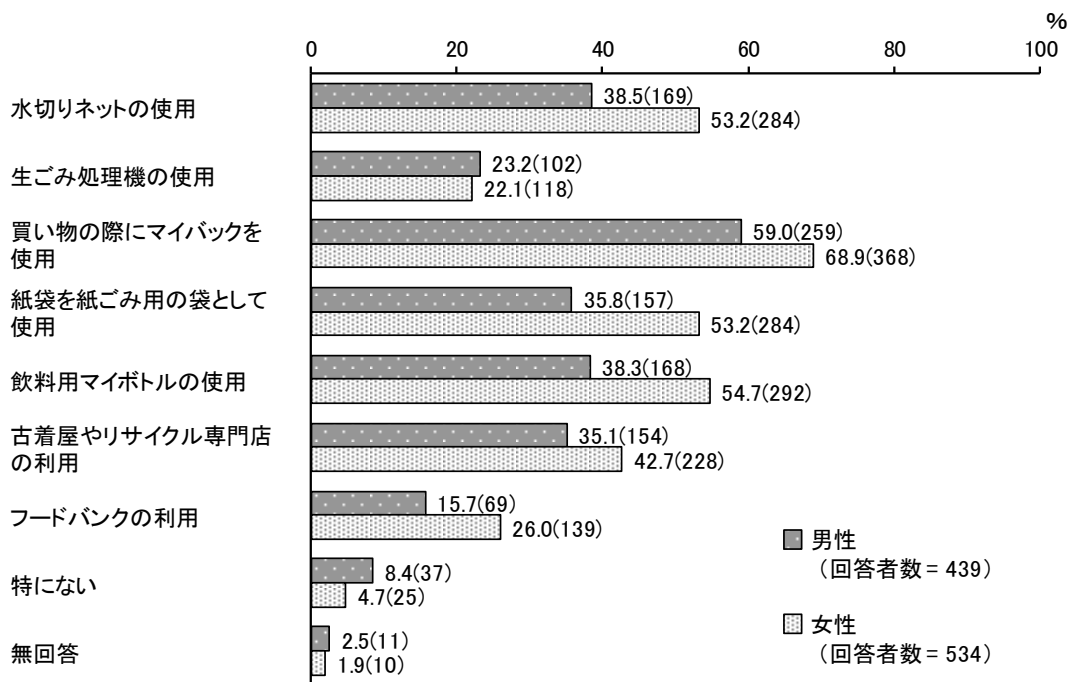


「買い物の際にマイバックを使用」の割合が 64.7%と最も高く、次いで「飲料用マイボトルの使用」の割合が 47.8%、「水切りネットの使用」の割合が 46.5%となっています。

【経年比較】

R 3 調査と比較すると、大きな変化はみられません。

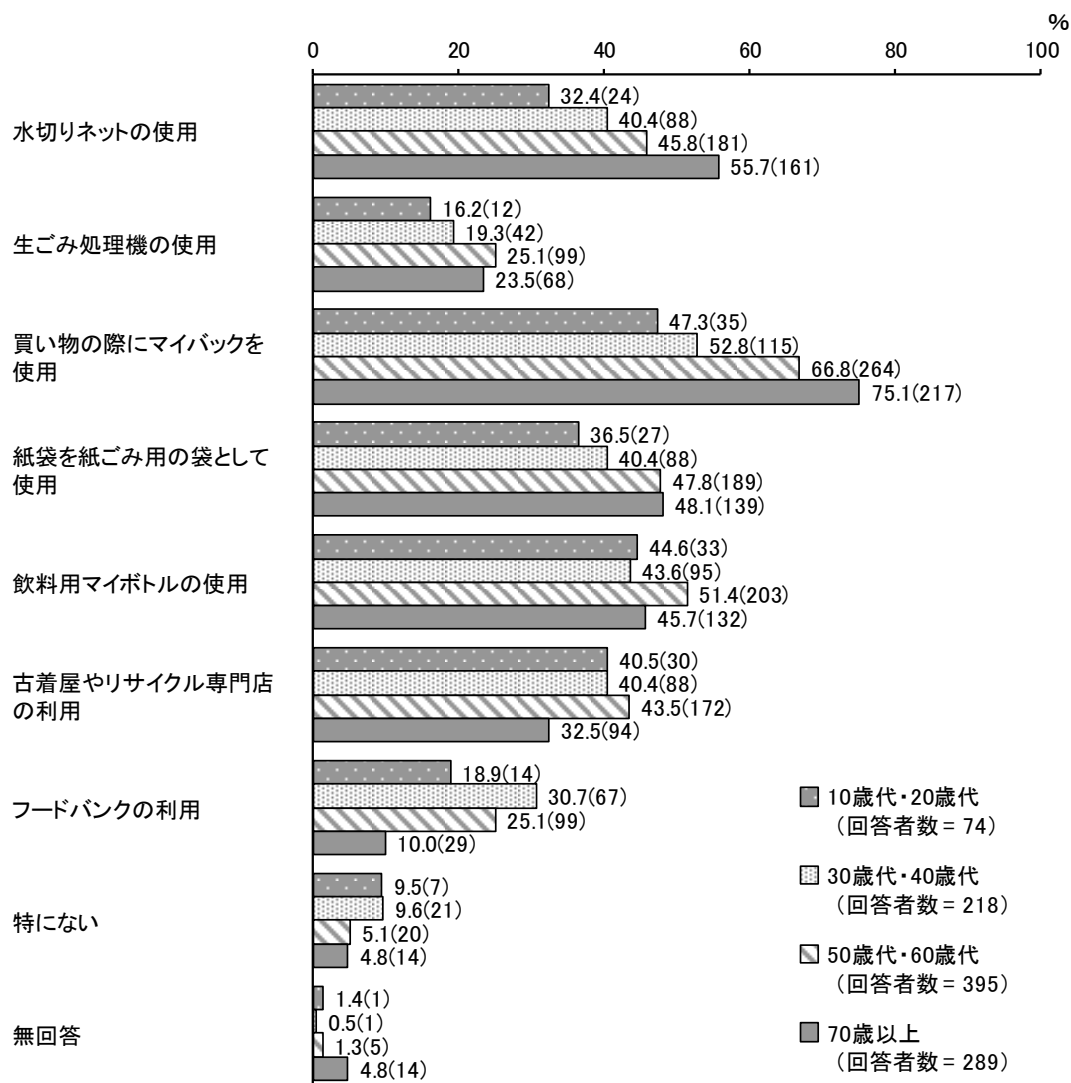
## 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「水切りネットの使用」「買い物の際にマイバックを使用」「紙袋を紙ごみ用の袋として使用」「飲料用マイボトルの使用」「古着屋やリサイクル専門店の利用」「フードバンクの利用」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、50歳代・60歳代、70歳以上で「買い物の際にマイバックを使用」の割合が、50歳代・60歳代で「飲料用マイボトルの使用」の割合が高くなっています。また、30歳代・40歳代で「フードバンクの利用」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	水切りネットの使用	生ごみ処理機の使用	買い物の際にマイ バックを使用	紙袋を紙ごみ用の 袋として使用	飲料用マイボトルの 使用	古着屋やリサイクル 専門店の利用	フードバンクの利用	特 に な い	無 回 答
全体	989 100.0	460 46.5	223 22.5	640 64.7	451 45.6	473 47.8	391 39.5	211 21.3	62 6.3	22 2.2
柳河	94 100.0	38 40.4	20 21.3	56 59.6	42 44.7	42 44.7	37 39.4	15 16.0	6 6.4	1 1.1
城内	36 100.0	15 41.7	11 30.6	17 47.2	13 36.1	15 41.7	13 36.1	12 33.3	3 8.3	—
東宮永	61 100.0	25 41.0	16 26.2	37 60.7	31 50.8	28 45.9	23 37.7	14 23.0	3 4.9	—
昭代第一	72 100.0	36 50.0	13 18.1	43 59.7	31 43.1	34 47.2	29 40.3	12 16.7	4 5.6	1 1.4
昭代第二	57 100.0	27 47.4	9 15.8	42 73.7	30 52.6	23 40.4	23 40.4	12 21.1	5 8.8	1 1.8
蒲池	86 100.0	36 41.9	16 18.6	46 53.5	34 39.5	39 45.3	31 36.0	23 26.7	4 4.7	2 2.3
矢留	70 100.0	33 47.1	13 18.6	43 61.4	26 37.1	38 54.3	24 34.3	11 15.7	7 10.0	2 2.9
両開	51 100.0	32 62.7	13 25.5	41 80.4	28 54.9	29 56.9	22 43.1	8 15.7	2 3.9	—
皿垣	24 100.0	11 45.8	5 20.8	17 70.8	11 45.8	9 37.5	11 45.8	4 16.7	—	—
有明	21 100.0	10 47.6	5 23.8	16 76.2	10 47.6	12 57.1	11 52.4	6 28.6	2 9.5	—
中島	49 100.0	24 49.0	11 22.4	36 73.5	25 51.0	23 46.9	20 40.8	11 22.4	2 4.1	2 4.1
六合	29 100.0	17 58.6	5 17.2	20 69.0	13 44.8	11 37.9	11 37.9	5 17.2	2 6.9	—
大和	39 100.0	22 56.4	10 25.6	31 79.5	21 53.8	23 59.0	15 38.5	11 28.2	1 2.6	2 5.1
豊原	45 100.0	22 48.9	11 24.4	28 62.2	20 44.4	22 48.9	13 28.9	10 22.2	4 8.9	3 6.7
藤吉	99 100.0	39 39.4	25 25.3	61 61.6	42 42.4	47 47.5	45 45.5	32 32.3	10 10.1	1 1.0
矢ヶ部	20 100.0	11 55.0	5 25.0	13 65.0	9 45.0	10 50.0	7 35.0	4 20.0	1 5.0	—
二ッ河	50 100.0	25 50.0	15 30.0	39 78.0	28 56.0	29 58.0	23 46.0	7 14.0	2 4.0	2 4.0
垂見	42 100.0	16 38.1	12 28.6	25 59.5	17 40.5	13 31.0	18 42.9	7 16.7	3 7.1	2 4.8
中山	13 100.0	3 23.1	4 30.8	7 53.8	2 15.4	6 46.2	2 15.4	1 7.7	—	1 7.7
わからない	11 100.0	8 72.7	—	8 72.7	8 72.7	9 81.8	4 36.4	2 18.2	—	—

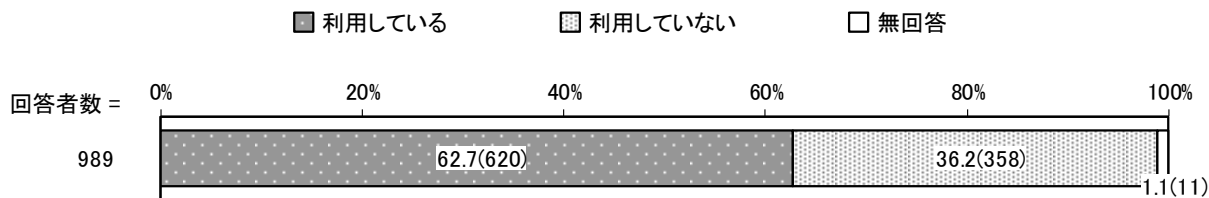
※無回答：20件



## (8) デジタル化について

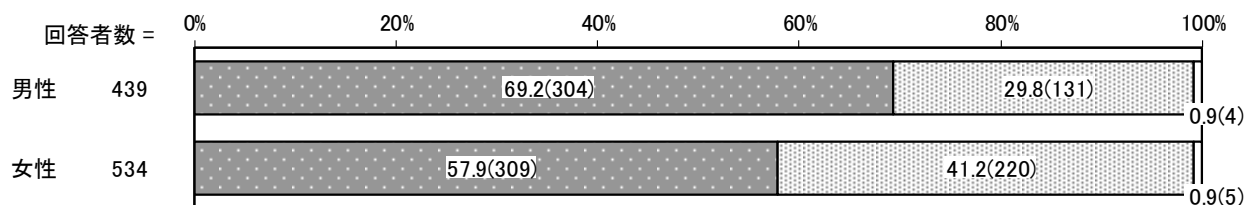
問 21 インターネットを利用していますか。(○は1つだけ)

「利用している」の割合が62.7%。



「利用している」の割合が62.7%、「利用していない」の割合が36.2%となっています。

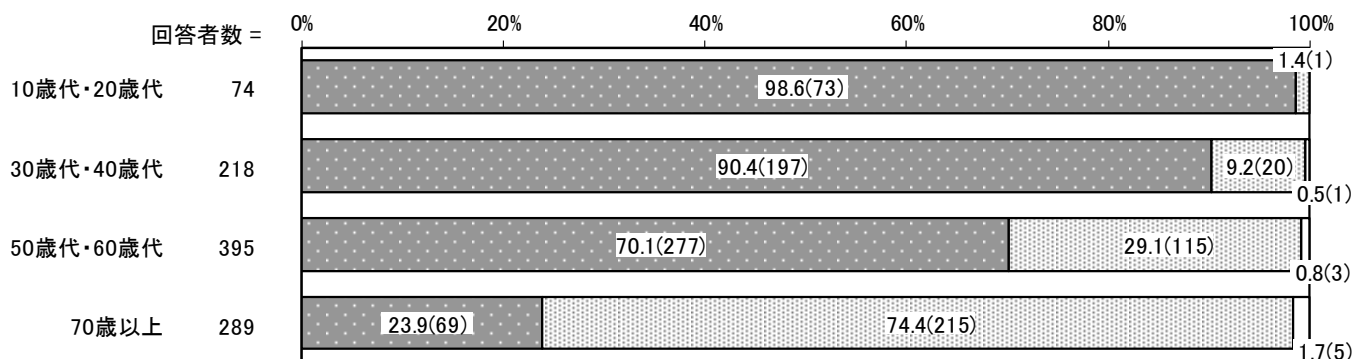
### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で「利用している」の割合が高くなっています。

### 【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代、30歳代・40歳代で「利用している」の割合が、70歳以上で「利用していない」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

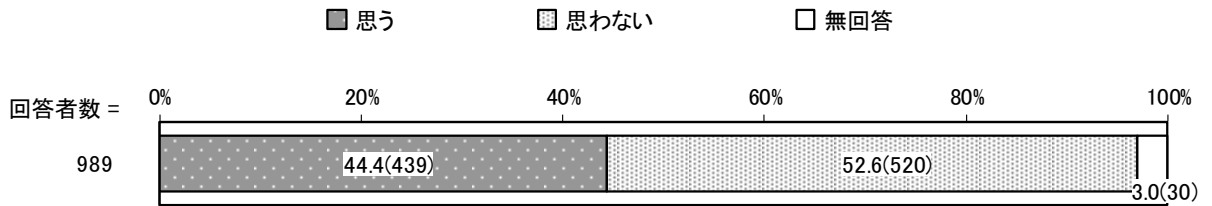
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全体	989 100.0	620 62.7	358 36.2	11 1.1
柳河	94 100.0	66 70.2	27 28.7	1 1.1
城内	36 100.0	28 77.8	7 19.4	1 2.8
東宮永	61 100.0	40 65.6	20 32.8	1 1.6
昭代第一	72 100.0	39 54.2	33 45.8	— —
昭代第二	57 100.0	32 56.1	24 42.1	1 1.8
蒲池	86 100.0	60 69.8	26 30.2	— —
矢留	70 100.0	46 65.7	24 34.3	— —
両開	51 100.0	27 52.9	24 47.1	— —
皿垣	24 100.0	14 58.3	10 41.7	— —
有明	21 100.0	12 57.1	9 42.9	— —
中島	49 100.0	27 55.1	22 44.9	— —
六合	29 100.0	16 55.2	13 44.8	— —
大和	39 100.0	24 61.5	14 35.9	1 2.6
豊原	45 100.0	27 60.0	18 40.0	— —
藤吉	99 100.0	70 70.7	28 28.3	1 1.0
矢ヶ部	20 100.0	15 75.0	5 25.0	— —
ニッ河	50 100.0	27 54.0	22 44.0	1 2.0
垂見	42 100.0	25 59.5	17 40.5	— —
中山	13 100.0	8 61.5	3 23.1	2 15.4
わからない	11 100.0	9 81.8	2 18.2	— —

※無回答：20件

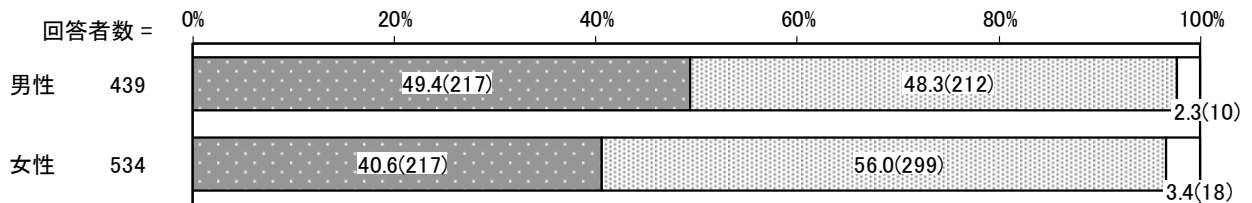
問 22 行政手続きで、インターネットを利用してオンラインで完結するサービスを利用して  
みたいと思いますか。(〇は1つだけ)

「思わない」の割合が52.6%で、「思う」より8ポイント高い。



「思う」の割合が44.4%、「思わない」の割合が52.6%となっています。

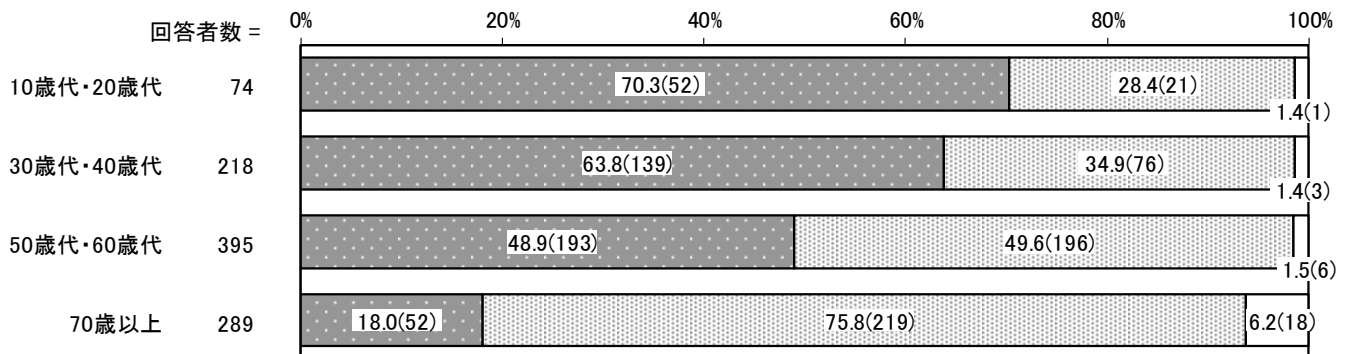
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「思わない」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代、30歳代・40歳代で「思う」の割合が、70歳以上で「思わない」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

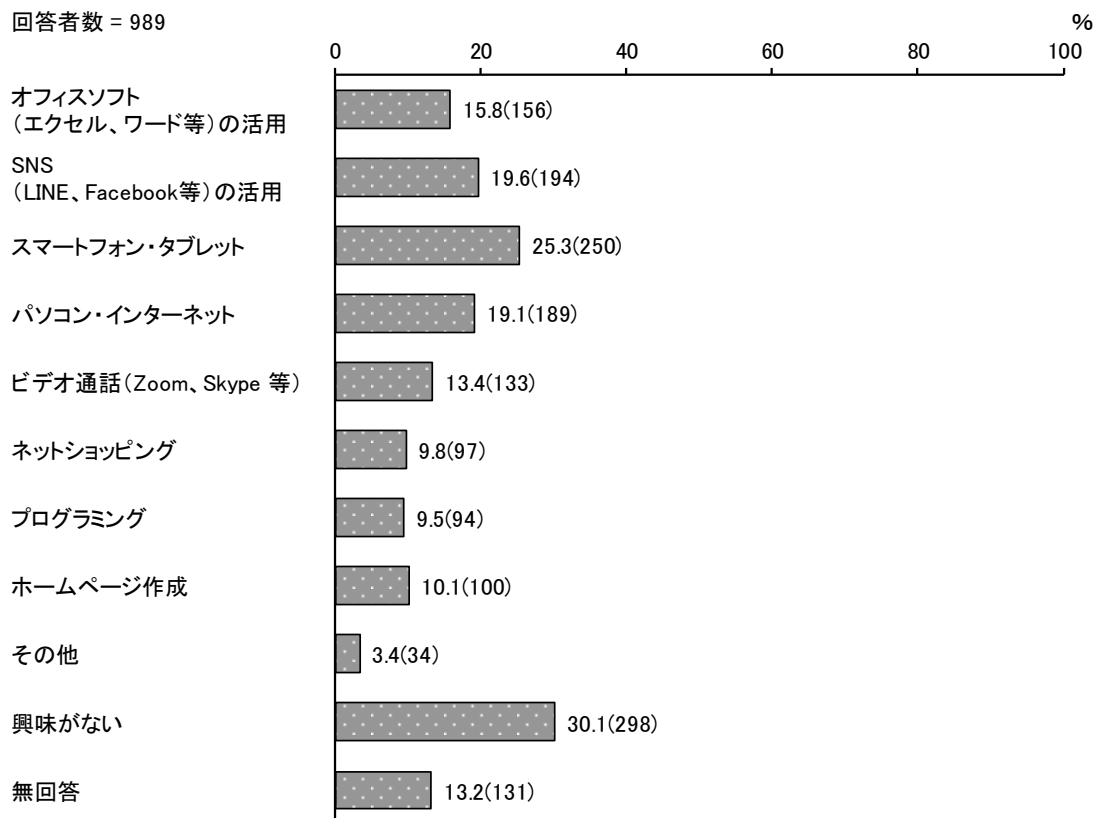
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	思う	思わない	無回答
全体	989 100.0	439 44.4	520 52.6	30 3.0
柳河	94 100.0	51 54.3	40 42.6	3 3.2
城内	36 100.0	19 52.8	16 44.4	1 2.8
東宮永	61 100.0	34 55.7	24 39.3	3 4.9
昭代第一	72 100.0	25 34.7	45 62.5	2 2.8
昭代第二	57 100.0	16 28.1	39 68.4	2 3.5
蒲池	86 100.0	40 46.5	46 53.5	— —
矢留	70 100.0	23 32.9	47 67.1	— —
両開	51 100.0	20 39.2	30 58.8	1 2.0
皿垣	24 100.0	11 45.8	13 54.2	— —
有明	21 100.0	8 38.1	13 61.9	— —
中島	49 100.0	21 42.9	27 55.1	1 2.0
六合	29 100.0	11 37.9	16 55.2	2 6.9
大和	39 100.0	19 48.7	18 46.2	2 5.1
豊原	45 100.0	16 35.6	25 55.6	4 8.9
藤吉	99 100.0	56 56.6	39 39.4	4 4.0
矢ヶ部	20 100.0	11 55.0	9 45.0	— —
二ッ河	50 100.0	19 38.0	31 62.0	— —
垂見	42 100.0	18 42.9	21 50.0	3 7.1
中山	13 100.0	9 69.2	4 30.8	— —
わからない	11 100.0	8 72.7	3 27.3	— —

※無回答：20件

問 24 ICT を有効に活用するために市で以下の講座・講習会を実施する場合、興味のある内容はありますか。(〇はいくつでも)

「興味がない」の割合が 30.1%で最も高い。



「興味がない」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「スマートフォン・タブレット」の割合が 25.3%、「SNS (LINE、Facebook 等) の活用」の割合が 19.6%となっています。

【その他の回答】

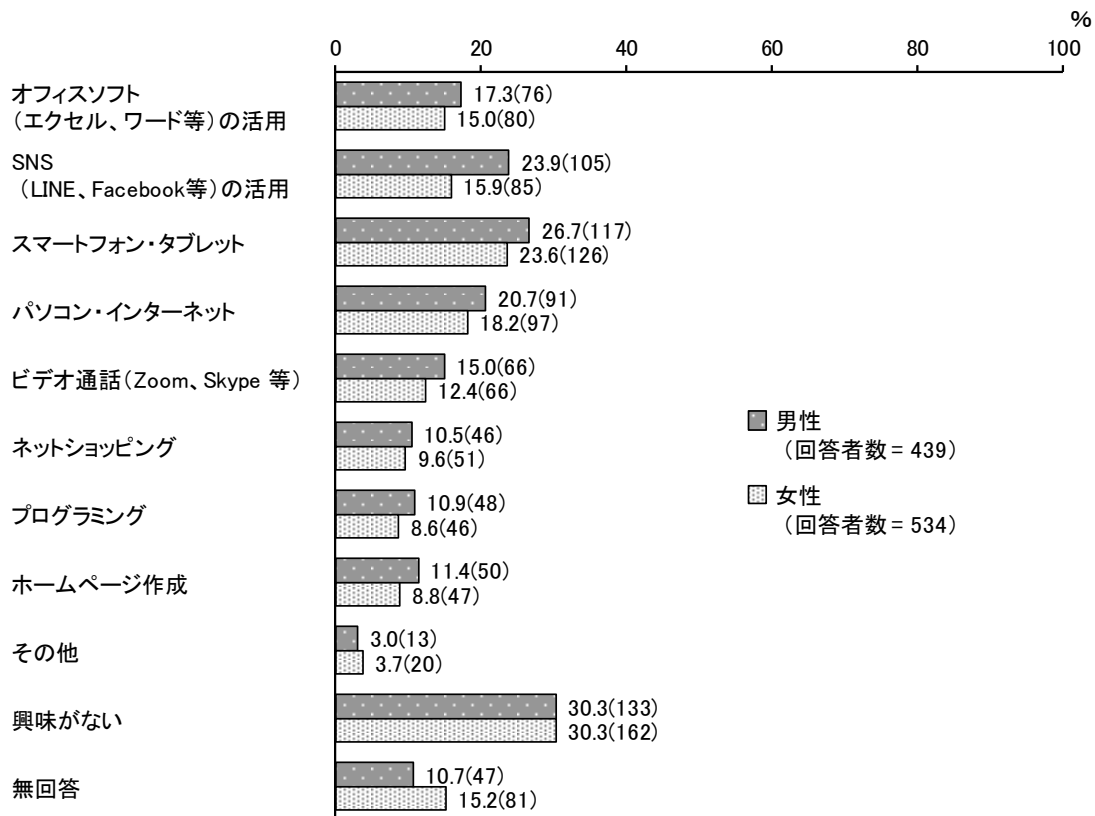
	調査数	わからない	利用できる・ある程度できる	特になし	その他	記述なし
件数	34	5	4	1	14	10

最も多かった回答は「わからない」で5件。続いて「利用できる・ある程度できる」（4件）となっています。

「その他」としては、以下の回答が得られました。

主な記述内容	性別	年齢別
問 24 市で実施する ICT 講座・講習について興味のある内容について「その他」と回答した人の意見		
・別の所で習得する	男性	20 歳代
・確定申告の仕方	女性	40 歳代
・動画作成	女性	40 歳代
・投資、講座	男性	50 歳代
・不要	男性	50 歳代
・講習会の必要なし。必要な時サポートするシステムを。	女性	60 歳代
・市のサービスの利用方法の学習会	女性	60 歳代
・個人情報の守り方	男性	70 歳以上
・市、市民のために	男性	70 歳以上
・実施することがむずかしそう。	女性	70 歳以上
・スマートフォンは利用している	女性	70 歳以上
・むずかしそう	女性	70 歳以上
・横文字で言われてもまったく分からない。	女性	70 歳以上
・自分が生きる事が精一杯である。（体が弱っている為）	無回答	無回答

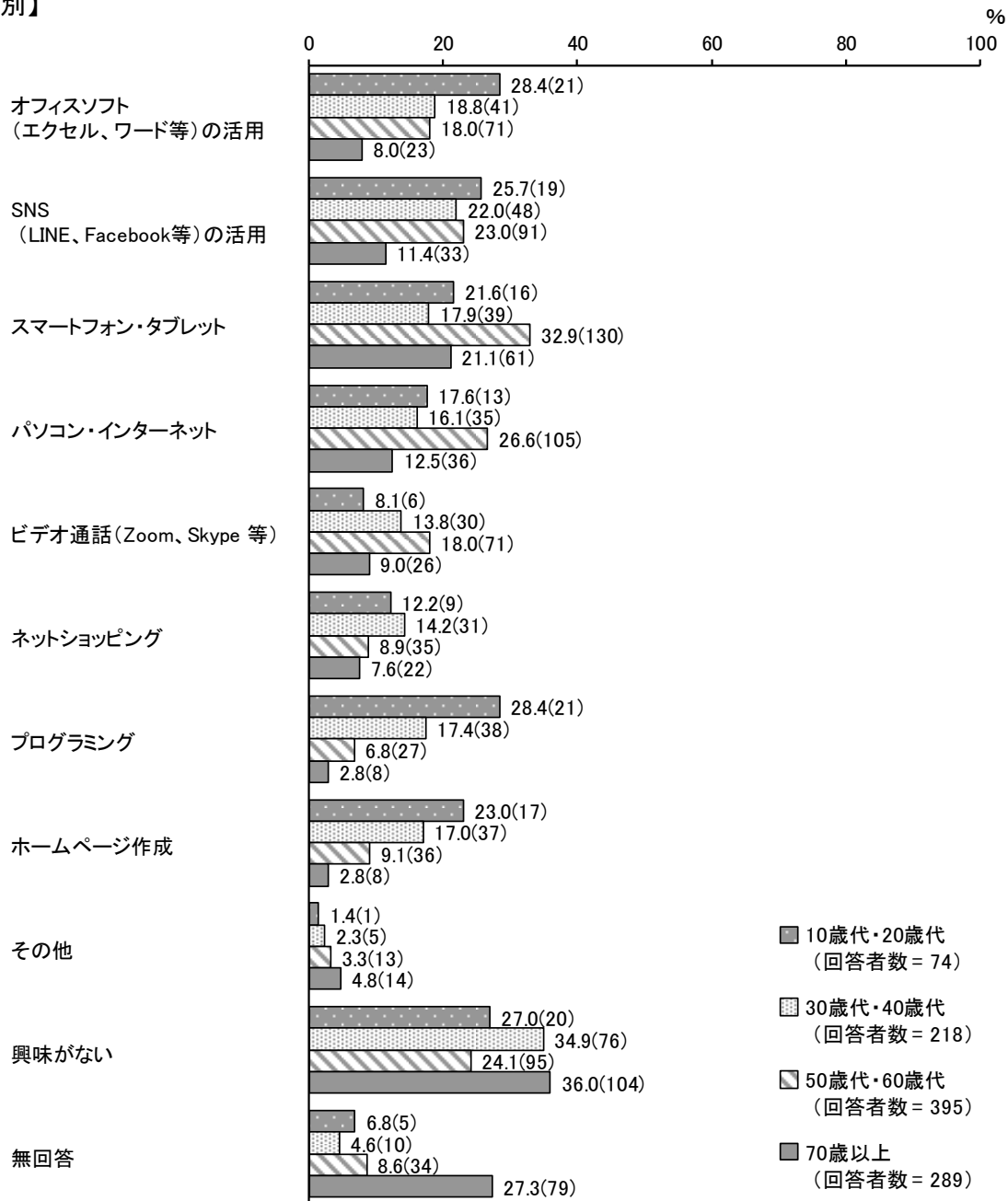
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で「SNS (LINE、Facebook 等) の活用」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「オフィスソフト（エクセル、ワード等）の活用」「プログラミング」「ホームページ作成」の割合が、50歳代・60歳代で「スマートフォン・タブレット」「パソコン・インターネット」の割合が高くなっています。



【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

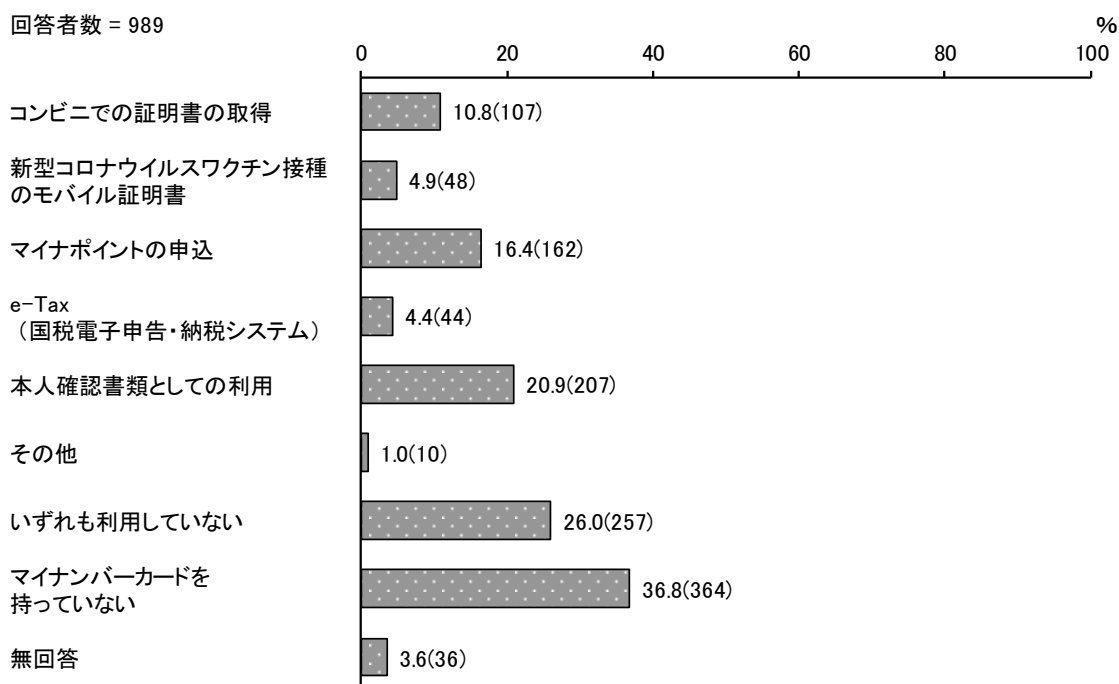
区分	回答者数 (件)	オフィスソフト (エクセル、 ワード等)の活用	SNS (LINE、Facebook等) の活用	スマートフォン・ タブレット	パソコン・ インターネット	ビデオ通話 (Zoom、Skype等)	ネットショッピング	プログラミング	ホームページ 作成	その他	興味がない	無回答
全体	989 100.0	156 15.8	194 19.6	250 25.3	189 19.1	133 13.4	97 9.8	94 9.5	100 10.1	34 3.4	298 30.1	131 13.2
柳河	94 100.0	21 22.3	21 22.3	29 30.9	21 22.3	15 16.0	8 8.5	9 9.6	6 6.4	5 5.3	25 26.6	9 9.6
城内	36 100.0	4 11.1	8 22.2	12 33.3	7 19.4	4 11.1	5 13.9	4 11.1	5 13.9	1 2.8	10 27.8	5 13.9
東宮永	61 100.0	9 14.8	18 29.5	23 37.7	13 21.3	9 14.8	10 16.4	5 8.2	3 4.9	3 4.9	13 21.3	5 8.2
昭代第一	72 100.0	9 12.5	15 20.8	20 27.8	9 12.5	6 8.3	7 9.7	7 9.7	9 12.5	4 5.6	23 31.9	8 11.1
昭代第二	57 100.0	8 14.0	11 19.3	16 28.1	11 19.3	9 15.8	10 17.5	8 14.0	5 8.8	1 1.8	17 29.8	10 17.5
蒲池	86 100.0	12 14.0	17 19.8	17 19.8	19 22.1	15 17.4	8 9.3	5 5.8	7 8.1	4 4.7	30 34.9	7 8.1
矢留	70 100.0	13 18.6	10 14.3	13 18.6	4 5.7	3 4.3	4 5.7	6 8.6	8 11.4	3 4.3	28 40.0	5 7.1
両開	51 100.0	4 7.8	15 29.4	11 21.6	11 21.6	4 7.8	6 11.8	6 11.8	2 3.9	1 2.0	16 31.4	10 19.6
皿垣	24 100.0	4 16.7	5 20.8	4 16.7	8 33.3	3 12.5	1 4.2	—	2 8.3	—	6 25.0	6 25.0
有明	21 100.0	5 23.8	4 19.0	7 33.3	8 38.1	4 19.0	2 9.5	—	—	1 4.8	6 28.6	3 14.3
中島	49 100.0	3 6.1	8 16.3	12 24.5	7 14.3	7 14.3	3 6.1	3 6.1	5 10.2	—	18 36.7	10 20.4
六合	29 100.0	4 13.8	1 3.4	6 20.7	4 13.8	6 20.7	—	5 17.2	2 6.9	1 3.4	9 31.0	7 24.1
大和	39 100.0	11 28.2	10 25.6	8 20.5	8 20.5	6 15.4	1 2.6	4 10.3	4 10.3	1 2.6	9 23.1	6 15.4
豊原	45 100.0	3 6.7	7 15.6	12 26.7	7 15.6	6 13.3	3 6.7	3 6.7	6 13.3	1 2.2	14 31.1	9 20.0
藤吉	99 100.0	23 23.2	15 15.2	24 24.2	18 18.2	17 17.2	18 18.2	14 14.1	13 13.1	2 2.0	28 28.3	9 9.1
矢ヶ部	20 100.0	4 20.0	4 20.0	3 15.0	6 30.0	6 30.0	3 15.0	2 10.0	5 25.0	—	5 25.0	1 5.0
ニッ河	50 100.0	7 14.0	10 20.0	12 24.0	11 22.0	4 8.0	2 4.0	2 4.0	3 6.0	2 4.0	19 38.0	6 12.0
垂見	42 100.0	6 14.3	6 14.3	11 26.2	10 23.8	7 16.7	5 11.9	6 14.3	7 16.7	1 2.4	11 26.2	9 21.4
中山	13 100.0	2 15.4	2 15.4	3 23.1	4 30.8	1 7.7	—	1 7.7	3 23.1	2 15.4	2 15.4	2 15.4
わからない	11 100.0	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	—	1 9.1	3 27.3	3 27.3	—	4 36.4	—

※無回答：20件

## (9) マイナンバーカードについて

問 26 マイナンバーカードは、以下のような用途で利用することができます。利用したことがあるものはどれですか。(〇はいくつでも)

「マイナンバーカードを持っていない」の割合が 36.8%で最も高い。



「マイナンバーカードを持っていない」の割合が 36.8%と最も高く、次いで「いずれも利用していない」の割合が 26.0%、「本人確認書類としての利用」の割合が 20.9%となっています。

【その他の回答】

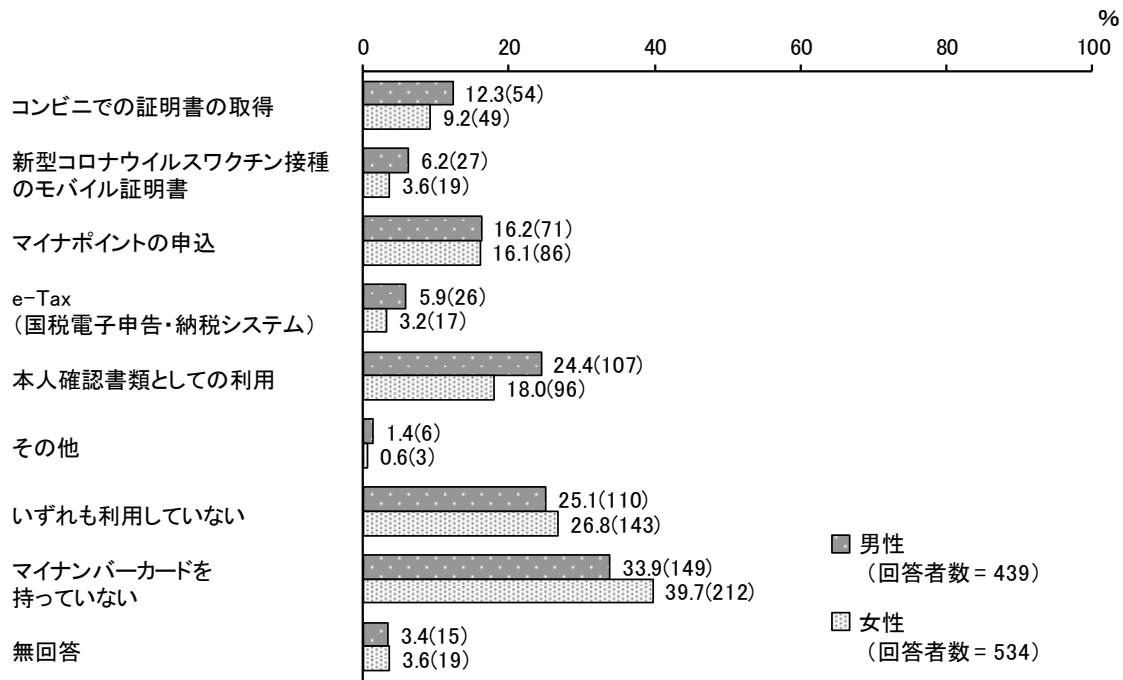
	調査数	利用していない、 使い方がわからない	その他	記述なし
件数	10	4	5	1

「利用していない、使い方がわからない」で4件となっています。

「その他」としては、以下の回答が得られました。

主な記述内容	性別	年齢別
問 26 マイナンバーを利用した内容について「その他」と回答した人の意見		
・保険機能を手続きしましたが、大きな医療機関でも端末がなく利用できていない。	男性	60歳代
・マイナンバーカード申請中です。	男性	60歳代
・使う回数が少なくて、どこにおいているのか、わからなくなる。	男性	70歳以上
・全然つかっていない	女性	70歳以上
・マイナポイントの申し込み仕方が分からない	女性	70歳以上

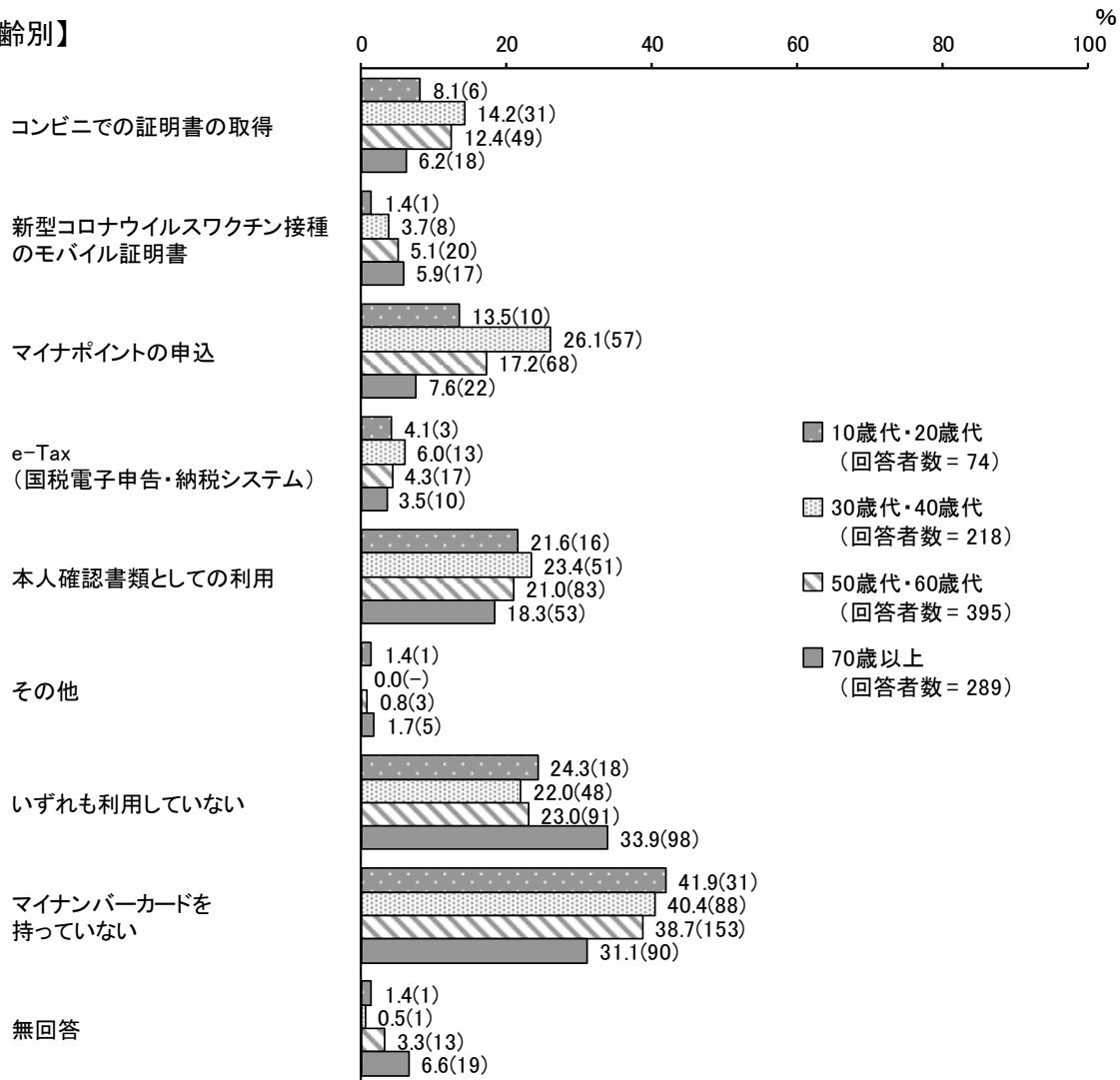
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で「本人確認書類としての利用」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「マイナンバーカードを持っていない」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、30歳代・40歳代で「マイナポイントの申込」の割合が、70歳以上で「いずれも利用していない」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、30歳代・40歳代、50歳代・60歳代で「マイナンバーカードを持っていない」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

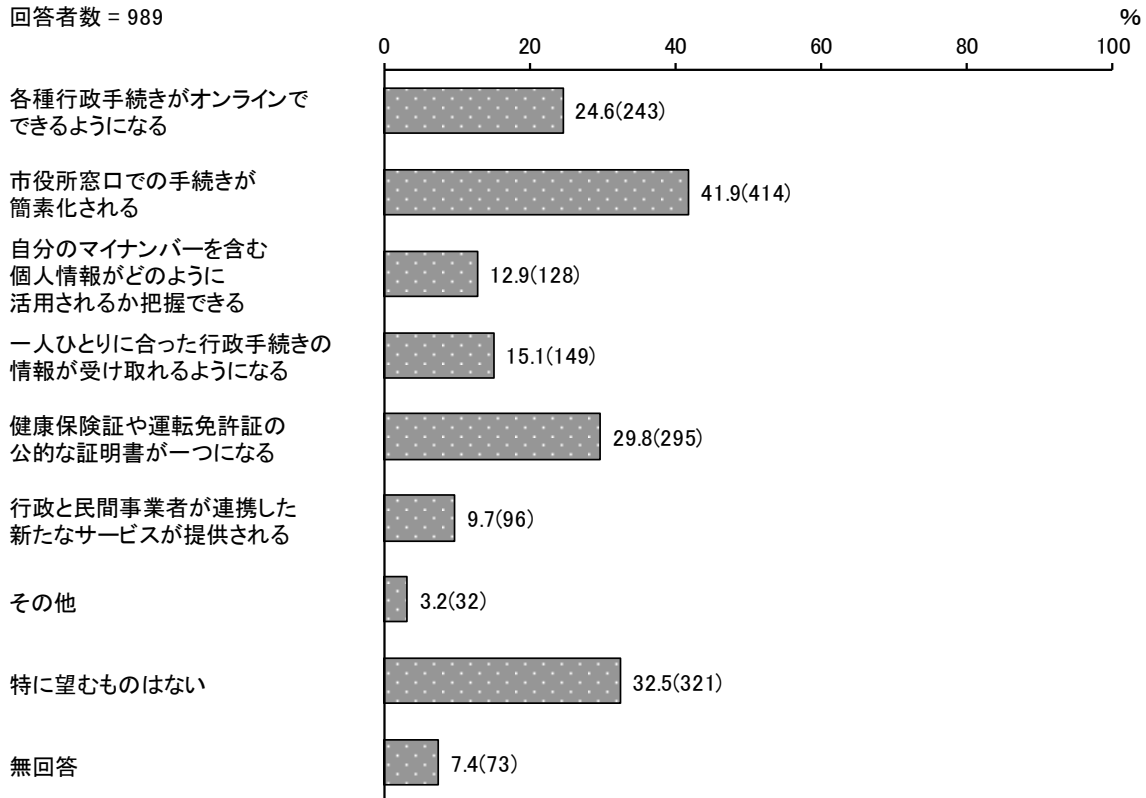
【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	コンビニでの証明書の取得	新型コロナウイルスワクチン 接種のモバイル証明書	マイナポイントの申込	e-Tax (国税電子申告・ 納税システム)	本人確認書類としての利用	その他	いずれも利用していない	マイナンバーカードを 持っていない	無回答
全体	989 100.0	107 10.8	48 4.9	162 16.4	44 4.4	207 20.9	10 1.0	257 26.0	364 36.8	36 3.6
柳河	94 100.0	11 11.7	5 5.3	14 14.9	4 4.3	21 22.3	— —	17 18.1	41 43.6	2 2.1
城内	36 100.0	7 19.4	1 2.8	7 19.4	2 5.6	7 19.4	1 2.8	8 22.2	9 25.0	3 8.3
東宮永	61 100.0	10 16.4	— —	7 11.5	4 6.6	16 26.2	1 1.6	18 29.5	20 32.8	1 1.6
昭代第一	72 100.0	5 6.9	3 4.2	12 16.7	2 2.8	14 19.4	1 1.4	16 22.2	31 43.1	1 1.4
昭代第二	57 100.0	6 10.5	3 5.3	13 22.8	1 1.8	15 26.3	— —	19 33.3	14 24.6	1 1.8
蒲池	86 100.0	12 14.0	3 3.5	11 12.8	4 4.7	23 26.7	— —	20 23.3	35 40.7	1 1.2
矢留	70 100.0	4 5.7	2 2.9	6 8.6	1 1.4	8 11.4	1 1.4	26 37.1	30 42.9	1 1.4
両開	51 100.0	5 9.8	3 5.9	5 9.8	1 2.0	7 13.7	— —	17 33.3	18 35.3	2 3.9
皿垣	24 100.0	1 4.2	— —	2 8.3	2 8.3	3 12.5	1 4.2	9 37.5	7 29.2	2 8.3
有明	21 100.0	2 9.5	3 14.3	2 9.5	— —	3 14.3	— —	4 19.0	11 52.4	1 4.8
中島	49 100.0	8 16.3	3 6.1	11 22.4	2 4.1	11 22.4	1 2.0	11 22.4	19 38.8	4 8.2
六合	29 100.0	2 6.9	1 3.4	4 13.8	1 3.4	4 13.8	— —	8 27.6	12 41.4	2 6.9
大和	39 100.0	1 2.6	2 5.1	4 10.3	2 5.1	7 17.9	— —	9 23.1	17 43.6	4 10.3
豊原	45 100.0	4 8.9	1 2.2	7 15.6	2 4.4	10 22.2	— —	17 37.8	12 26.7	1 2.2
藤吉	99 100.0	13 13.1	11 11.1	24 24.2	9 9.1	25 25.3	— —	17 17.2	39 39.4	5 5.1
矢ヶ部	20 100.0	1 5.0	— —	6 30.0	— —	6 30.0	— —	5 25.0	6 30.0	— —
二ッ河	50 100.0	4 8.0	3 6.0	11 22.0	2 4.0	13 26.0	2 4.0	12 24.0	14 28.0	2 4.0
垂見	42 100.0	4 9.5	1 2.4	4 9.5	2 4.8	5 11.9	1 2.4	17 40.5	15 35.7	— —
中山	13 100.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	— —	2 15.4	6 46.2	1 7.7
わからない	11 100.0	1 9.1	— —	4 36.4	1 9.1	3 27.3	— —	1 9.1	4 36.4	— —

※無回答：20件

問 27 マイナンバーカードの活用として、どのようなものを望みますか。(〇はいくつでも)

「市役所窓口での手続きが簡素化される」の割合が 41.9%で最も高い。



「市役所窓口での手続きが簡素化される」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「特に望むものはない」の割合が 32.5%、「健康保険証や運転免許証の公的な証明書が一つになる」の割合が 29.8%となっています。

【その他の回答】

	調査数	個人情報の流出、セキュリティが心配	わからない	その他	記述なし
件数	32	6	3	16	7

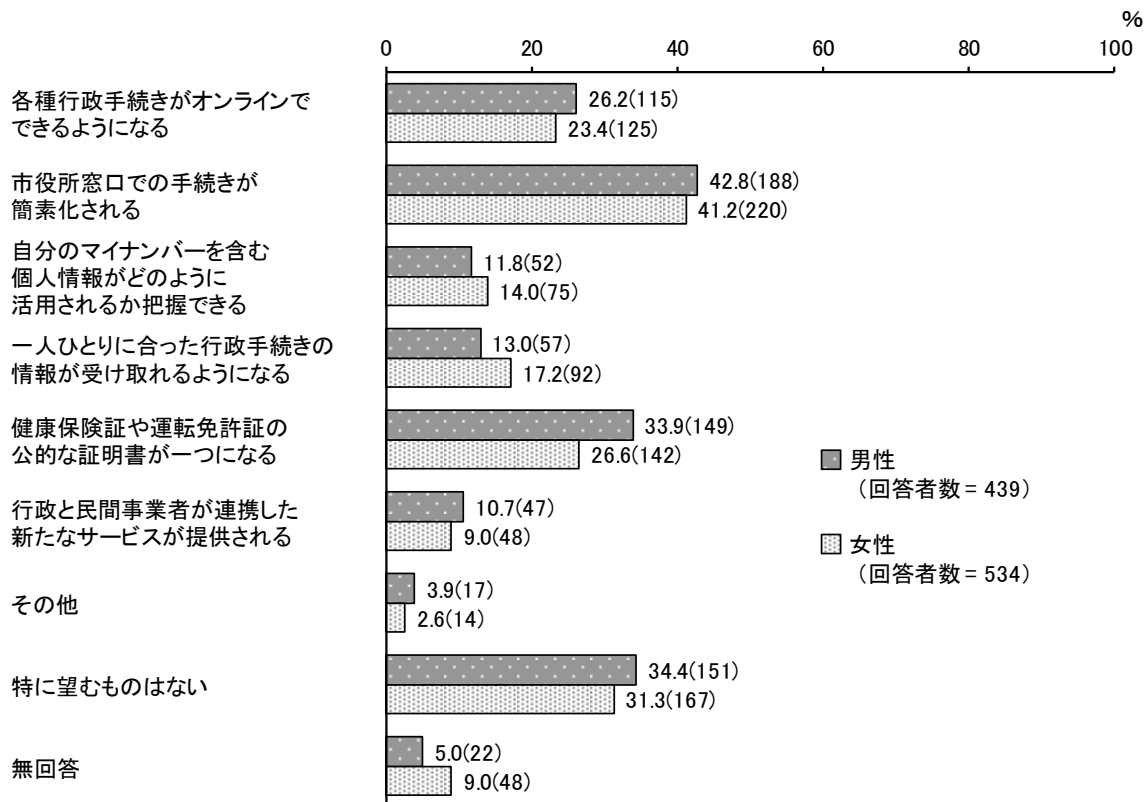
「個人情報の流出、セキュリティが心配」で6件となっています。

「その他」としては、以下の回答が得られました。

主な記述内容	性別	年齢別
問 27 マイナンバーカードの活用として望む内容について「その他」と回答した人の意見		
・もっと迅速に	男性	20 歳代
・全てにおいて手続きの簡素化	男性	40 歳代
・パスポートを久留米まで取りに行くのは大変なので、マイナンバーカードで入手したい。	女性	40 歳代
・個人情報を手にした個々の市民に対するサポートの提案	男性	50 歳代
・納税の手続き	男性	50 歳代
・マイナンバーカードはいらない。	男性	50 歳代
・マイナンバーカードを手続きする事で個人情報が必ず守られる事を、情報発信に力を入れて欲しい。	女性	50 歳代
・マイナンバーカードを設ける以上、健康保険証や運転免許証を始め、様々な情報が all in one 状態になることを望みます。	女性	50 歳代
・マイナンバーカードを持っているが利用の仕方がわからない。	女性	50 歳代
・国民全員所持のため持つと特典ありでなく持たなければ損、不能に切り替えるべき	男性	60 歳代
・必要性や安全管理について十分に説明を。	男性	60 歳代
・マイナンバーカードは活用されていない、なんで。	男性	60 歳代
・成績、病歴、資産などの紐づけしてほしくない。	女性	60 歳代
・更新したのに何の特典もない。	男性	70 歳以上
・作成の意思はなし。	女性	70 歳以上
・マイナンバーカードの活用項目を全員に教えて下さい。	無回答	無回答



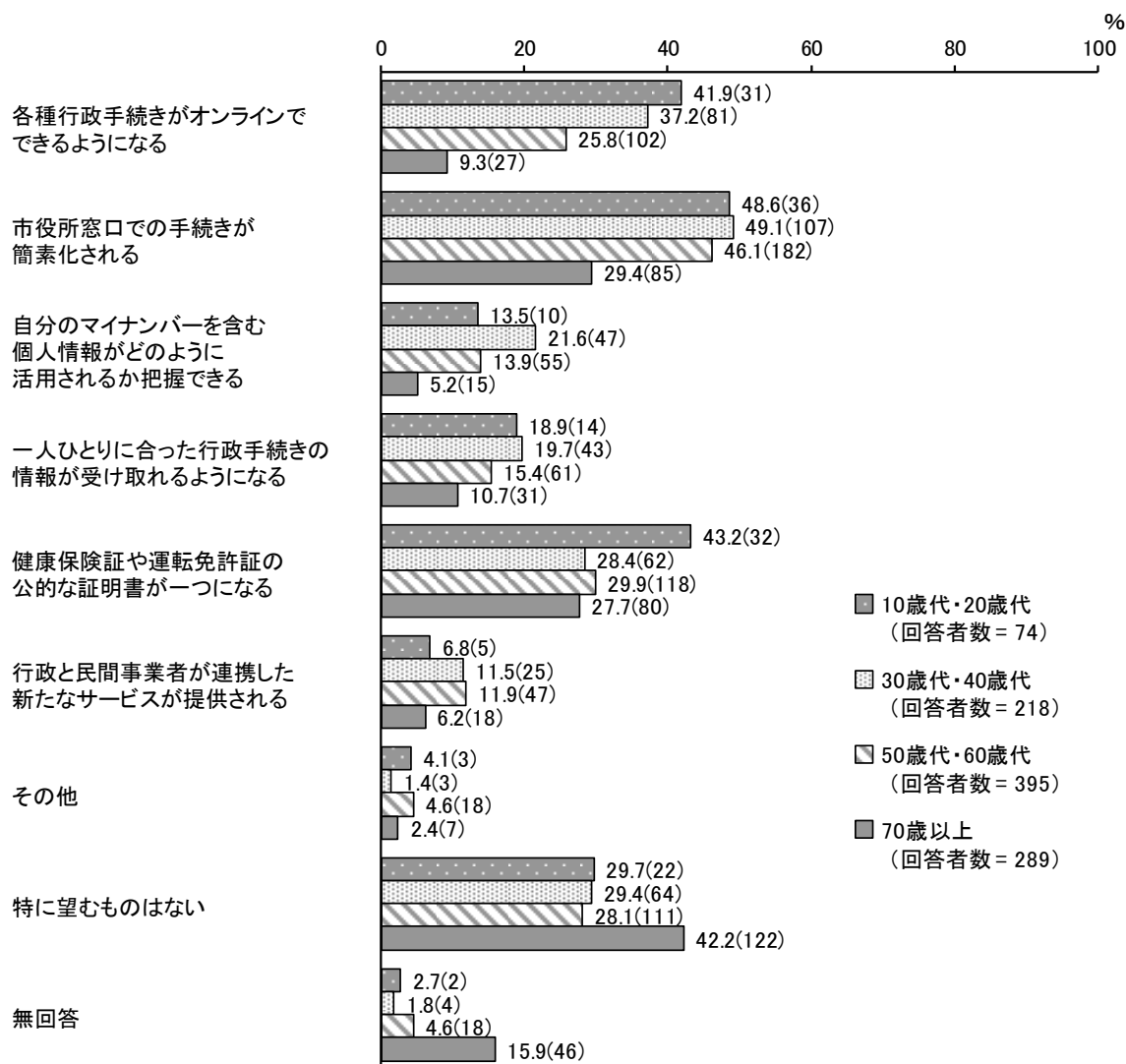
【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、女性に比べ、男性で「健康保険証や運転免許証の公的な証明書が一つになる」の割合が高くなっています。

【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「健康保険証や運転免許証の公的な証明書が一つになる」の割合が、70歳以上で「特に望むものはない」の割合が高くなっています。また、10歳代・20歳代、30歳代・40歳代で「各種行政手続きがオンラインでできるようになる」の割合が、10歳代・20歳代、30歳代・40歳代、50歳代・60歳代で「市役所窓口での手続きが簡素化される」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

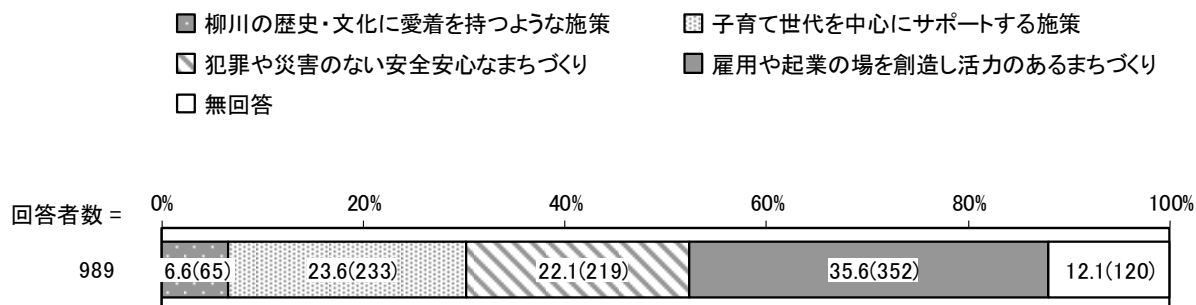
区分	回答者数 (件)	各種行政手続きがオンライン でできるようになる	市役所窓口での手続きが 簡素化される	個人のマイナンバーを含む 個人情報ができるように活用 されるか把握できる	一人ひとりに合った行政手続 きの情報が受け取れるように なる	健康保険証や運転免許証の 公的な証明書が一つになる	行政と民間事業者が連携した 新たなサービスが提供される	その他	特に望むものはない	無回答
全体	989 100.0	243 24.6	414 41.9	128 12.9	149 15.1	295 29.8	96 9.7	32 3.2	321 32.5	73 7.4
柳河	94 100.0	26 27.7	35 37.2	14 14.9	14 14.9	23 24.5	9 9.6	3 3.2	33 35.1	6 6.4
城内	36 100.0	8 22.2	12 33.3	8 22.2	4 11.1	14 38.9	2 5.6	2 5.6	6 16.7	4 11.1
東宮永	61 100.0	18 29.5	29 47.5	8 13.1	12 19.7	16 26.2	7 11.5	4 6.6	18 29.5	3 4.9
昭代第一	72 100.0	14 19.4	28 38.9	6 8.3	10 13.9	20 27.8	3 4.2	1 1.4	28 38.9	5 6.9
昭代第二	57 100.0	12 21.1	29 50.9	9 15.8	11 19.3	18 31.6	4 7.0	4 7.0	13 22.8	4 7.0
蒲池	86 100.0	23 26.7	43 50.0	10 11.6	18 20.9	27 31.4	11 12.8	1 1.2	30 34.9	3 3.5
矢留	70 100.0	11 15.7	18 25.7	7 10.0	5 7.1	16 22.9	4 5.7	2 2.9	36 51.4	3 4.3
両開	51 100.0	11 21.6	23 45.1	7 13.7	6 11.8	15 29.4	5 9.8	—	18 35.3	3 5.9
皿垣	24 100.0	4 16.7	9 37.5	1 4.2	4 16.7	7 29.2	1 4.2	—	7 29.2	3 12.5
有明	21 100.0	5 23.8	9 42.9	6 28.6	5 23.8	4 19.0	3 14.3	1 4.8	7 33.3	1 4.8
中島	49 100.0	10 20.4	16 32.7	7 14.3	6 12.2	16 32.7	6 12.2	—	15 30.6	6 12.2
六合	29 100.0	7 24.1	8 27.6	1 3.4	1 3.4	9 31.0	2 6.9	1 3.4	7 24.1	6 20.7
大和	39 100.0	10 25.6	16 41.0	5 12.8	5 12.8	13 33.3	4 10.3	2 5.1	14 35.9	5 12.8
豊原	45 100.0	11 24.4	16 35.6	6 13.3	8 17.8	7 15.6	3 6.7	1 2.2	17 37.8	3 6.7
藤吉	99 100.0	32 32.3	58 58.6	16 16.2	18 18.2	36 36.4	9 9.1	2 2.0	24 24.2	6 6.1
矢ヶ部	20 100.0	11 55.0	11 55.0	5 25.0	3 15.0	8 40.0	4 20.0	—	4 20.0	—
二ッ河	50 100.0	6 12.0	10 20.0	3 6.0	7 14.0	16 32.0	8 16.0	4 8.0	21 42.0	4 8.0
垂見	42 100.0	12 28.6	20 47.6	6 14.3	7 16.7	16 38.1	6 14.3	2 4.8	15 35.7	2 4.8
中山	13 100.0	3 23.1	7 53.8	—	—	4 30.8	—	1 7.7	2 15.4	2 15.4
わからない	11 100.0	6 54.5	10 90.9	2 18.2	2 18.2	5 45.5	2 18.2	—	1 9.1	—

※無回答：20件

## (10) 過疎地域への指定について

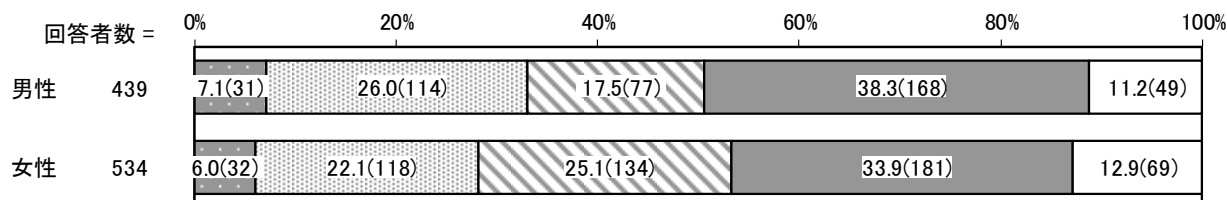
問 28 旧柳川市及び旧大和町の地域が過疎に指定されましたが、今後、どのような取組を推進していくべきと思われますか。(〇は1つだけ)

「雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり」の割合が 35.6%で最も高い。



「雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「子育て世代を中心にサポートする施策」の割合が 23.6%、「犯罪や災害のない安全安心なまちづくり」の割合が 22.1%となっています。

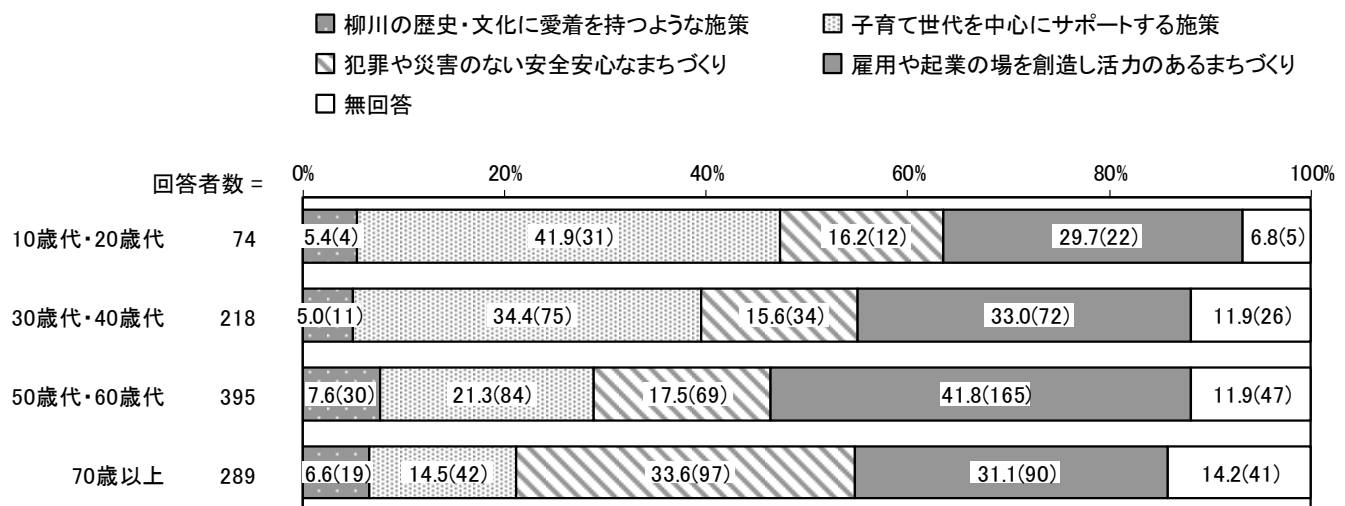
### 【性別】



※その他：0件、答えたくない：4件、無回答：12件

性別で見ると、男性に比べ、女性で「犯罪や災害のない安全安心なまちづくり」の割合が高くなっています。

## 【年齢別】



※無回答：13件

年齢別で見ると、他に比べ、10歳代・20歳代で「子育て世代を中心にサポートする施策」の割合が、50歳代・60歳代で「雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「犯罪や災害のない安全安心なまちづくり」の割合が高くなっています。

【小学校区別】

【上段：実数、下段：％】

区分	回答者数 (件)	柳川の歴史・文化に愛 着を持つような施策	子育て世代を中心に サポートする施策	犯罪や災害のない安 全安心なまちづくり	雇用や起業の場を創 造し活力のあるまち づくり	無回答
全体	989 100.0	65 6.6	233 23.6	219 22.1	352 35.6	120 12.1
柳河	94 100.0	13 13.8	18 19.1	18 19.1	38 40.4	7 7.4
城内	36 100.0	3 8.3	8 22.2	5 13.9	13 36.1	7 19.4
東宮永	61 100.0	6 9.8	15 24.6	13 21.3	20 32.8	7 11.5
昭代第一	72 100.0	4 5.6	18 25.0	12 16.7	28 38.9	10 13.9
昭代第二	57 100.0	3 5.3	9 15.8	17 29.8	20 35.1	8 14.0
蒲池	86 100.0	8 9.3	25 29.1	11 12.8	35 40.7	7 8.1
矢留	70 100.0	2 2.9	19 27.1	19 27.1	22 31.4	8 11.4
両開	51 100.0	3 5.9	12 23.5	13 25.5	14 27.5	9 17.6
皿垣	24 100.0	1 4.2	4 16.7	4 16.7	15 62.5	— —
有明	21 100.0	1 4.8	8 38.1	5 23.8	5 23.8	2 9.5
中島	49 100.0	3 6.1	8 16.3	12 24.5	16 32.7	10 20.4
六合	29 100.0	1 3.4	5 17.2	11 37.9	8 27.6	4 13.8
大和	39 100.0	1 2.6	8 20.5	10 25.6	15 38.5	5 12.8
豊原	45 100.0	— —	8 17.8	14 31.1	15 33.3	8 17.8
藤吉	99 100.0	9 9.1	25 25.3	18 18.2	39 39.4	8 8.1
矢ヶ部	20 100.0	1 5.0	9 45.0	2 10.0	7 35.0	1 5.0
二ッ河	50 100.0	2 4.0	12 24.0	14 28.0	15 30.0	7 14.0
垂見	42 100.0	1 2.4	12 28.6	11 26.2	12 28.6	6 14.3
中山	13 100.0	— —	3 23.1	4 30.8	4 30.8	2 15.4
わからない	11 100.0	1 9.1	5 45.5	— —	4 36.4	1 9.1

※無回答：20件

## IV 参考資料

### 1. 自由記述

(1) インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問23）

問23 問22の回答理由（自由記述）

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年齢別
【問22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・忙しいことが多いから。	女性	10歳代
・いつでも利用できたら便利だから。	女性	10歳代
・時間がとれないときに助かる。ネットで完結できる方が楽。24時間利用可能ならなおさらよいと思う。	女性	10歳代
・市役所に入ったことがないです。イベントの予約などだったら、オンライン上でできるとよいと思います。	女性	10歳代
・忙しい時にオンラインで完結できるなら、その方がよいと思ったから。	男性	20歳代
・いつでもどこでもできる。	男性	20歳代
・今はネットを使っている人が多いため。	男性	20歳代
・行政サービスのみならず、民間、公共、企業サービスも利用したい。	男性	20歳代
・時間がないときは、便利だと思う。	男性	20歳代
・時間短縮できるため。	男性	20歳代
・時間にとらわれないため。	男性	20歳代
・仕事の都合上、平日休みがあまりないため。	男性	20歳代
・市役所が開いている時間が限られるため。	男性	20歳代
・どこでも手軽にできるから。	男性	20歳代
・どのようなサービスがあるのに関心があるため。	男性	20歳代
・ネット社会になってきているし、ペーパーレス化にもなるから。	男性	20歳代
・窓口まで行く時間がないときに非常に助かる。	男性	20歳代
・役所に行く手間が省ける。	男性	20歳代
・役所に行くのも時間がかかる。	男性	20歳代
・家で済むから。	女性	20歳代
・いつでもどこでも行政手続きができる環境はとても魅力を感じる。	女性	20歳代
・オンライン利用は便利であるから。	女性	20歳代
・外出せずに手続きが済むならありがたいが、内容を理解しきれなかったり、やり方がわからないなど、問題が出てくるのであれば、窓口で手続きした方がよいのではと思う（二度手間になるため）。	女性	20歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・開庁時間等気にせず、いつでもどこでも利用出来ると思うので便利。	女性	20 歳代
・市庁舎に行かず利用出来るし、ペーパーレスになる。	女性	20 歳代
・市役所に行く手間がなくなるから。	女性	20 歳代
・対面の方が安心感はあるが、ネットで簡単に済ませたい。紙の浪費だと思う。	女性	20 歳代
・小さい子どもがいるので、2人連れて役所に行って手続きするのが大変だから。	女性	20 歳代
・都合が合わず、市役所などに行けない場合などに便利だと思うから。	女性	20 歳代
・出向かなくて済む。	女性	20 歳代
・他の組織の手続きではあらゆるサービスが備わっているから。	女性	20 歳代
・役所まで行く時間の短縮ができそう。	女性	20 歳代
・手間を省くことができるため。	女性	20 歳代
・インターネットができない。できるようになりたいと思っています。	男性	30 歳代
・オンラインで完結するならどこでもできるため。	男性	30 歳代
・時間がない時、オンラインで完結できれば助かる。	男性	30 歳代
・時間に縛られずに済むようになるため。しかし、今のところ、行政手続きをする機会がないため、強くは望まない。ワクチン接種会場検索の際、日時から検索できない仕様になっていたのは酷かった。	男性	30 歳代
・時間を気にせずに利用できるから。	男性	30 歳代
・仕事もあり手続きなどがある場合、時間がなかなかとりづらい。	男性	30 歳代
・自宅で行えるから。	男性	30 歳代
・自宅で完結するので便利。わざわざ市役所に行くのが面倒。会社帰りに開いていない。土日も開いてない。	男性	30 歳代
・市役所に行く時間がない。	男性	30 歳代
・市役所へ行く時間がない。面倒。	男性	30 歳代
・手軽そう。	男性	30 歳代
・手間がかからなくなると思う。	男性	30 歳代
・平日、仕事で市役所に行けないので。	男性	30 歳代
・平日、日中は仕事のため自由がきかないから。	男性	30 歳代
・平日の休みが少ないから。	男性	30 歳代
・身近だから。	男性	30 歳代
・役所に行かなくてよくなるため。	男性	30 歳代
・行く手間がはぶけるから	女性	30 歳代
・効率が良いから。	女性	30 歳代
・仕事・子育てをやっている中で平日に市役所などへ決められた時間内に足を運ぶのがなかなか難しい	女性	30 歳代



インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・市役所に行かずに手続きできるなら便利なので時間が無いときはそのようなサービスがあれば良いと思う。	女性	30 歳代
・仕事で市役所などに出向いて手続きに行くのが難しい場合が多く人が多いときは時間がかかるため。	女性	30 歳代
・市役所に行くのが面倒。	女性	30 歳代
・小さな子どもがいるため。	女性	30 歳代
・手間がはぶける。	女性	30 歳代
・便利だから。	女性	30 歳代
・便利だから。そのサービスがある市の方が、新しく移住した人は最先端だと思う。ちゃんとしてるとイメージする。市策などは知らなくても、移住して必ずする住所変更がオンラインで済めば、柳川はすごいとイメージできる。	女性	30 歳代
・便利なら利用したい。窓口に行きたくない。	女性	30 歳代
・窓口に並ぶのが面倒。	女性	30 歳代
・夜間、休日の時間に手続きできるとありがたい。	女性	30 歳代
・役所に行く手間が省けるから。	女性	30 歳代
・役場は、あいている日や時間が限られるため。	女性	30 歳代
・楽だから。	女性	30 歳代
・利用時間に融通が利くから。	女性	30 歳代
・わざわざ市役所へ行っての手続きが省けるのであれば。	女性	30 歳代
・家から出なくてよいから。	男性	40 歳代
・オンラインで完結すれば、仕事でなかなか手続きに行けない時間の概念がなくせる。	男性	40 歳代
・行政手続きのために役所窓口に行くのが面倒だから。	男性	40 歳代
・コロナ禍になった経緯もあり、オンライン化が進んだ。オンラインによる手法が便利。	男性	40 歳代
・時間を気にせず自分のタイミングで手続きできる。	男性	40 歳代
・市役所では夜間受付や土・日利用ができない。24 時間利用できるオンラインサービスが利用しやすい。	男性	40 歳代
・市役所等に平日なかなか行けないのでインターネットでできればよい。	男性	40 歳代
・市役所に平日に行けないので、家でできると便利。	男性	40 歳代
・手軽にできる。出向かなくてもできるのがよい。	男性	40 歳代
・なかなか窓口に行くチャンスがない時に便利。	男性	40 歳代
・なんとなく、手続きが早いから。	男性	40 歳代
・平日、役場に行く時間がないため。	男性	40 歳代
・平日の日中の時間にとらわれずに済むから。	男性	40 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・便利だから。	男性	40 歳代
・夜間でもできるから。	男性	40 歳代
・役所手続きは横つながりで時間がかかること、職員次第では対応に腹が立つこともある。一生懸命仕事されていることと思いますが、人によっては対応が違う（一部です）。機械的に済ませられればよいと思うことがあるため。	男性	40 歳代
・役所へ行く手間が減る。	男性	40 歳代
・楽だから。	男性	40 歳代
・24時間受付になるのなら便利だと思う。仕事しているとなかなか行けないので便利になると思う。	女性	40 歳代
・行く手間や時間が省ける。	女性	40 歳代
・以前コンビニで住民票を入手しようとしたが、柳川市側のエラーで入手できず、わざわざ大牟田から柳川まで戻らなければならなかった。なので、あまりオンラインに頼りすぎるのも良くないと思った。	女性	40 歳代
・外出せずに手続きできることで、時間を有効に使いそうだから。	女性	40 歳代
・開庁時間が就業時間とかぶるので、まとまった時間をとって来庁することがなかなかできないため、大変便利に感じます。	女性	40 歳代
・開庁時間に行けないから。	女性	40 歳代
・仕事の合間にできるから。	女性	40 歳代
・仕事の都合で出向けないから。	女性	40 歳代
・仕事をしながら子育てしていると、なかなか時間がとれず、外出ができないなどあるので。記入（書類等）するのが大変。押印省略など簡潔にできればよいと思っている。	女性	40 歳代
・自宅など場所や時間を選ばずに手続きできるのはありがたい。	女性	40 歳代
・時短のため。	女性	40 歳代
・市役所に行く時間がない（遠方に通勤しているため）。	女性	40 歳代
・市役所に行く時間や待ち時間がなく手続きができる。平日以外でも手続きができるので便利。	女性	40 歳代
・市役所に行く手間が省ける。夜間でも気軽にできる。	女性	40 歳代
・市役所の時間が限られているから。	女性	40 歳代
・市役所の待ち時間が長いから。	女性	40 歳代
・都合の良いタイミングで利用できるから。	女性	40 歳代
・手続きに行く時間が省けるから。	女性	40 歳代
・土日、時間外でも必要な書類をとれるようにしたい。時間にとられない。	女性	40 歳代
・七ツ家に住んでいるのですが、Wi-Fi 状況が悪い。	女性	40 歳代
・ネットが便利だから。書いたりすることが時々面倒な時があるから。	女性	40 歳代
・平日行けないので。	女性	40 歳代
・マイナンバーカードなどはネット手続きできると言うことで興味を持ちました。	女性	40 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・窓口での手続きに行く時間がない。	女性	40 歳代
・窓口へ行く必要がなくなる。簡素化される。平日に仕事を休まなくてよくなる。	女性	40 歳代
・便利だから。	男性	40 歳代
・夜間でもできるから。	男性	40 歳代
・役場などに手続きに行くのが面倒。	女性	40 歳代
・役場に行かなくてよいのなら、そうしたい。	女性	40 歳代
・わざわざ都合を付けて手続きに行く必要がなくなる。仕事を休む必要がない。空いた時間にすぐに手続きでき便利である。子どもや自分の体調に左右されることなくできるから。	女性	40 歳代
・わざわざ窓口まで行かなくてよいなら簡単で便利だから。	女性	40 歳代
・家にインターネットを設置したいが、月に 5,000 円の使用料を払ってもつなげないので、市全体を Wi-Fi 環境にお願いします。	男性	50 歳代
・行かなくて済むように。	男性	50 歳代
・現地に行かなくてよい。	男性	50 歳代
・時間がとれないとき、便利なため。	男性	50 歳代
・時間節約。	男性	50 歳代
・時間短縮、労力の削減。	男性	50 歳代
・時間にとらわれない。土日でも可。	男性	50 歳代
・時間を短縮できる。	男性	50 歳代
・仕事があるので、平日は市役所に行くことができない。	男性	50 歳代
・市役所が開いている時間に行けないから。	男性	50 歳代
・市役所等へ移動する手間がはぶける（何回も行く事がある）。	男性	50 歳代
・市役所に行かなくてよい。	男性	50 歳代
・市役所に行く時間がない。	男性	50 歳代
・市役所に行き、待つ時間が無駄なので。	男性	50 歳代
・市役所の開庁時間に合わないときがあるから。	男性	50 歳代
・市役所の休日と仕事の休日が重なっている。	男性	50 歳代
・市役所窓口時間外でも手続きが可能になる。	男性	50 歳代
・住民票等の公的な文書。	男性	50 歳代
・迅速性が変わると思います。	男性	50 歳代
・数年後は、オンラインサービスが普通になると思うので、今から慣れておいた方がよいと思う。	男性	50 歳代
・手続の簡素化。	男性	50 歳代
・手間が省ける。	男性	50 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・日中市役所へ行けないから。	男性	50 歳代
・場所、時間を考えることなくできればよいと思うから。	男性	50 歳代
・福岡市のように DX を進めてほしい。	男性	50 歳代
・便利。	男性	50 歳代
・窓口に行かなくて済むから。	男性	50 歳代
・役所に足を運ぶ手間と時間を省きたい。	男性	50 歳代
・役所に行くといろいろと各部署に回されて、時間が無駄になるから。	男性	50 歳代
・役場に行くのは面倒。	男性	50 歳代
・やり方が簡単だと手続きに行かなくてもできるから。	男性	50 歳代
・楽だから。	男性	50 歳代
・利便性。	男性	50 歳代
・外出しなくてよい。	女性	50 歳代
・開庁時間に行けないことがある（仕事上）。	女性	50 歳代
・簡単にできるなら。	女性	50 歳代
・キャッシュレス、出かける必要が無い、時間にとらわれない。	女性	50 歳代
・行政が平日しか開いていないため。	女性	50 歳代
・子育て中や仕事、体が不自由な方でも活用ができるので便利。	女性	50 歳代
・在宅でできる事は完結したい。	女性	50 歳代
・時間がないときでも利用できると便利だから。	女性	50 歳代
・自宅のできるから。	女性	50 歳代
・市役所等に行く時間をもったいない。自宅で夜でもできると助かります。（休暇を取ったり、時間を調整したり）。	女性	50 歳代
・市役所まで行かなくてよい。24 時間いつでも可能となれば便利。	女性	50 歳代
・市役所まで伺わずすむ内容であればオンラインで完結する方がよい。	女性	50 歳代
・書面だと投函する手間を省くため。	女性	50 歳代
・セキュリティなどの問題が解決するならば、利用してみたい。	女性	50 歳代
・対面で話すことも必要。	女性	50 歳代
・他市で就労し、平日休みが取れない人にとっては、インターネットで手続きができれば解決できる。	女性	50 歳代
・例えばどのようなサービスですか。	女性	50 歳代
・早いから。	女性	50 歳代
・不用品（家庭）の処分等。	女性	50 歳代
・閉庁時間でも手続きできる。	女性	50 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・便利。	女性	50 歳代
・窓口へ行く時間を省ける。（待ち時間含む）。	女性	50 歳代
・足が十分に確保できなくなってきた。	男性	60 歳代
・移動経費の節約、感染症対策、窓口業務の人的削減、時間外受付の利便性。	男性	60 歳代
・インターネットを利用したいと思うが、使い方がよく慣れていない。	男性	60 歳代
・オンライン化による人的労力の軽減。	男性	60 歳代
・確定申告等で利用してみたいが、なかなかやれていない。	男性	60 歳代
・休日の手続きの推進。	男性	60 歳代
・具体的には、自分が利用したいサービスが今のところ思いあたらない。	男性	60 歳代
・高齢になると、市役所へ手続きに行くことが容易にできなくなる。	男性	60 歳代
・今後インターネットの時代と思う。	男性	60 歳代
・時間にとらわれないから。	男性	60 歳代
・仕事でいそがしいから。	男性	60 歳代
・時短。	男性	60 歳代
・時短になり便利である。	男性	60 歳代
・市役所に行かなくても済むようにしてほしい。	男性	60 歳代
・情報伝達が早いから。	男性	60 歳代
・少し難しい。	男性	60 歳代
・直接、市役所に行かなくてすむから便利。	男性	60 歳代
・苦手なので。	男性	60 歳代
・パソコンの講習会の実施。	男性	60 歳代
・平日は働いていて役所に行けないので、オンラインのサービスは利用する機会が増えるのでよいと思います。	男性	60 歳代
・便利だから。	男性	60 歳代
・便利でよいと思うが、情報漏れは多少気になる。	男性	60 歳代
・窓口に行かずにできるから。	男性	60 歳代
・窓口に出向く時間がもったいないから。	男性	60 歳代
・役所に行く手間。	男性	60 歳代
・やってみたいが、機械に疎いので、思うようにいかない。	男性	60 歳代
・利用者、行政共に時間の削減になる。ただし、電子申請等での言葉を理解できない。（次へ）（戻る）等のボタン位置がわかりづらいものがある。	男性	60 歳代
・インターネットに慣れていないが、時間短縮になると思う。働いていると制限があるため。	女性	60 歳代
・夫ができるので、頼りっぱなしなので、勉強したいと思う。	女性	60 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・確定申告では既に利用している。	女性	60 歳代
・コロナワクチン接種予約など、操作が面倒。もう少し簡単にできないか。	女性	60 歳代
・時間の制限がない点が助かる。	女性	60 歳代
・時間の短縮につながると思う。	女性	60 歳代
・市役所、役場に行かなくてすむので。	女性	60 歳代
・市役所などへわざわざ行かなくて済むのであれば便利だから。	女性	60 歳代
・市役所に行く必要がなくなります。	女性	60 歳代
・短時間で終了するため。	女性	60 歳代
・庁舎に行かなくても、家で手続きができたらいと思う。	女性	60 歳代
・手続きが簡素化される。	女性	60 歳代
・出向かなくてすむから。しかし家にはインターネットはありません。覚えきれそうもないので引いていない。	女性	60 歳代
・出向かずに済むので。	女性	60 歳代
・電子申請、届出システムがあると、わざわざ行かなくてもよい。仕事をしていると行けない。	女性	60 歳代
・得意でないので、勉強してからやりたい。	女性	60 歳代
・ネットを利用したい。使用料を考えるとできないが、ネットを使いたい。	女性	60 歳代
・便利であり、いつでも自分の時間で使えるから。	女性	60 歳代
・わざわざ市役所に出向かずに、家で（在宅）で誰でもサービスが利用できたら便利だと思う。もっとわかりやすくお願いしたい。	女性	60 歳代
・紙媒体を減らせる。スムーズな手続き、効率化。	男性	70 歳以上
・いろいろな申し込み、今回のワクチンなど。ただし、文面などが大変わかりにくい。もっとわかりやすく。	男性	70 歳以上
・完結すれば時間が早い。	男性	70 歳以上
・簡単で早いやりとりができるが、誤送信は心配がある。	男性	70 歳以上
・行政機関の窓口業務の簡素化、軽減化が図られる。	男性	70 歳以上
・興味があるから。	男性	70 歳以上
・時代の流れに対応する。	男性	70 歳以上
・時短だから。	男性	70 歳以上
・住民票などの手続き。	男性	70 歳以上
・情報の共有化を図りたい。手続きの簡素化、早急な処理。	男性	70 歳以上
・人員削減につながるし、出向く必要がなくなる。	男性	70 歳以上
・生活が簡素化されるから。	男性	70 歳以上
・操作が簡単なら、わざわざ行かなくてできるようになるかもしれない。	男性	70 歳以上

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思う」と回答した人】		
・手続きなどがスムーズにできそう。	男性	70 歳以上
・出向かなくてよい。	男性	70 歳以上
・ペーパーレス。	男性	70 歳以上
・便利そう。	男性	70 歳以上
・便利だから。短時間で済む。	男性	70 歳以上
・今はコロナの時代だから、できるだけ人との接触を避けて、行政手続きができるなら、利用してみたいと思います。	女性	70 歳以上
・外出が不可能になったらと考えると利用できたらと思うが、まずはインターネットやオンラインに慣れなければと思う。	女性	70 歳以上
・簡単そうだから。	女性	70 歳以上
・迅速に進める。	女性	70 歳以上
・スマホでのオンラインを勉強して利用したいと思う。	女性	70 歳以上
・スマホやパソコンを自由に使えず時間がかかって面倒。	女性	70 歳以上
・年々足の機能が低下しており、何においても出かけていくのは億劫です。	女性	70 歳以上
・パソコン、インターネット等、使用できる環境や条件が揃っていれば利用してみたい。	女性	70 歳以上
・利用できない教えてほしい。	女性	70 歳以上
・行くのが面倒くさい。	無回答	無回答
・時間短縮。	無回答	無回答

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・よく分からないため。	女性	10 歳代
・インターネット、オンラインの設備が完璧に整っていないため、詐欺等の疑いがあり、信用度が欠けるので安心利用ができないのが不安で、利用してみたいと思わない。	男性	20 歳代
・面倒くさい。	男性	20 歳代
・高齢者がついていけない可能性がある。また、個人情報の流出などが不安。	女性	20 歳代
・サービス内容による。	女性	20 歳代
・オンラインに慣れておらず、不安に感じることもあるため。	男性	30 歳代
・行政手続きをすることはない。	男性	30 歳代
・情報流出の危険性があるから。	男性	30 歳代
・登録などが手間。	男性	30 歳代
・パソコンがない。	男性	30 歳代
・パソコンやスマートフォンの操作が難しいので利用しない。	男性	30 歳代
・不安。	男性	30 歳代
・アナログが安心。	女性	30 歳代
・イメージ的にどんなものなのか。オンラインで完結するサービスとは何なのか、思い浮かべにくい。	女性	30 歳代
・オンライン利用で完結すると思うが、セキュリティが心配なため、利用はしたくない。	女性	30 歳代
・個人情報の流出の心配。それと、ID やパスワードの入力が不便。行政手続きは一生のうちに何度するかわからない程度なので、ID、パスをいざ使いたいときに忘れる（マイナンバーカードがそんな状況です）。	女性	30 歳代
・個人情報流出。	女性	30 歳代
・ちゃんとできているか不安になる。	女性	30 歳代
・直接対面で聞いた方が早いし、わかりやすいと思うため。パスワードの設定などが手間。	女性	30 歳代
・手続がややこしくなりそうだから。わからない時に問い合わせにくくなるから。	女性	30 歳代
・得意ではない。面倒、お年寄り、年配の方は不便。	女性	30 歳代
・何でもネットで便利だが手紙や書類でのやり取りの方が自分の中では忘れにくく利用しやすい。	女性	30 歳代
・窓口で説明を聞いた方が納得できる。仕事ですぐに市役所に行けない時はオンラインが便利だと思う。	女性	30 歳代
・あやしいサイトもあるため、間違っってクリックしないか不安。	男性	40 歳代
・安全面で不安がある。	男性	40 歳代
・インターネット詐欺にあうかもしれない。	男性	40 歳代
・行政のセキュリティレベルが低い。地方から、もっと積極的に国に要請すべき。	男性	40 歳代
・する暇が無い、面倒くさい。	男性	40 歳代
・妻まかせで、自分は全く手続きをしないので。	男性	40 歳代



インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・手続きに時間がかかった。	男性	40 歳代
・手間がかかる。	男性	40 歳代
・まちがい等のリスク。	男性	40 歳代
・窓口が確実。	男性	40 歳代
・わかりにくいから。	男性	40 歳代
・柳川市は、特に市民税が高すぎる。	男性	40 歳代
・ウィルス感染や個人情報の流出などがあるため。	女性	40 歳代
・確信が持てないから。	女性	40 歳代
・紙の方が使いやすいです。	女性	40 歳代
・完結をオンラインで行うのは、きちんとできたかどうかかわからず不安はある。ただ、窓口の対応も女性が怖い時があり、そんな時は出向くのは嫌だと思います。	女性	40 歳代
・きちんと処理できたのか不安。	女性	40 歳代
・個人情報がきちんと守れるのか不安がある。	女性	40 歳代
・個人情報の流出など完全なのか。	女性	40 歳代
・信用できない。怖い。	女性	40 歳代
・特にする手続きがない。	女性	40 歳代
・ネットで手続きをしたが、柳川市は不親切でもうしないと思った。	女性	40 歳代
・面倒くさい。時間がない。	女性	40 歳代
・面倒だから難しい。	女性	40 歳代
・よくわからないので。	女性	40 歳代
・あまり興味が無い。	男性	50 歳代
・インターネットが使える環境 Wi-Fi にしていない。使い方もわからない。	男性	50 歳代
・インターネットは、便利なときもあるが、すべてをインターネットに頼りすぎるのも、個人情報をすべて管理されているようで怖いので。	男性	50 歳代
・インターネットを利用していないから。	男性	50 歳代
・個人情報が洩れそうで心配。	男性	50 歳代
・個人情報が分かる行政手続きをオンラインでしたくない理由は、ネット網を完全には信用できないから。どこでどのようにして個人情報が漏れるかわからないから。	男性	50 歳代
・個人情報の管理に自信がないため、直接役所に行く方がよい。	男性	50 歳代
・情報流出の恐れ。	男性	50 歳代
・少し面倒。	男性	50 歳代
・ネット環境をそこまで信じられない。	男性	50 歳代
・パソコンを持っていない人はどうするのですか。何でもパソコンの時代ではない。今の時代はパソコンが必要だと思うがもう少し考えてほしい。	男性	50 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・面倒（信用性が）。	男性	50 歳代
・インターネットの使用の仕方がよく理解できない。	女性	50 歳代
・インターネットは使わない。	女性	50 歳代
・インターネットは便利だが、特になくても不自由はない。	女性	50 歳代
・ウイルスの問題があるので。	女性	50 歳代
・確実にできているのか、できたのか心配になると思う。	女性	50 歳代
・仕方がわからない。覚えられない。	女性	50 歳代
・情報管理に不安。	女性	50 歳代
・すぐ ID を忘れてしまい、途中でできなくなる。	女性	50 歳代
・セキュリティ上の問題（不安）。	女性	50 歳代
・そんなに何回も手続きに行かないので、たまには市役所に行ってみるのもよいと思っているから。	女性	50 歳代
・どちらかというインターネットが苦手。	女性	50 歳代
・ネット利用はなかなかスムーズに進めない（難しいです。）。	女性	50 歳代
・パソコンはあまりできない（ケータイはガラケーなので）。	女性	50 歳代
・夫婦ともできないので。インターネットを利用するときは娘に頼んでいます。	女性	50 歳代
・役所に出向くことが苦にならない。役所があった方がよい。役所の存在を大事にしているから。	女性	50 歳代
・やり方がよくわからない。	女性	50 歳代
・利用はしているが、常にパソコンを見ているわけではない。わからないことがあるときにどこに聞けばよいのか。土日は休み。平日だけだったら意味がない。働いている人にはネットも窓口も大変。	女性	50 歳代
・イメージがわからない。	男性	60 歳代
・インターネット（パソコン）を持っていない。	男性	60 歳代
・インターネットがよくわからない。	男性	60 歳代
・インターネットの設備がないため。	男性	60 歳代
・インターネットのやり方が全くわかりません。	男性	60 歳代
・オンラインで完結するサービスはよいとは思いますが、市の行政手続きでは会話がなくなってしまう。例えば市民課の窓口でも会話をして完結させたい。一つ一つの行政手続きはいろいろなケースがあるはずで、市民の声を聞かないと、事務的な処理となり市職員のスキルアップがなくなる。	男性	60 歳代
・紙媒体の方が慣れているから。	男性	60 歳代
・完全に把握していないので、直接窓口でやりたい。	男性	60 歳代
・気がすすまない。	男性	60 歳代
・行政手続きは窓口で相談して、対応してもらいたい。	男性	60 歳代
・行政とのコミュニケーションがとれなくなる。	男性	60 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・コンビニの証明書発行は、時間がかかりすぎて使いものにならない。	男性	60 歳代
・システムが不十分。	男性	60 歳代
・実行に自信がない。	男性	60 歳代
・全国同じシステムならよいが、市町村独自でコロナワクチンの予約のネット予約ができなく、情報処理、マイナンバーをつくっても市役所に発行機がなく、コンビニに行く。駐車場も含め不便。	男性	60 歳代
・使い方がわからない。	男性	60 歳代
・手続きが煩雑で手間がかかりすぎる。	男性	60 歳代
・特になし。	男性	60 歳代
・ネットだけでは何だか不安。	男性	60 歳代
・パソコン、あまりできない。	男性	60 歳代
・まずはデジタル化に対するインフラが整っていない状況で前のめりするのは自分の考えではないと思っています。	男性	60 歳代
・窓口の方が確実だから。	男性	60 歳代
・面倒くさい。	男性	60 歳代
・持っていない。	男性	60 歳代
・役所が近くにある。よくわからない部分があるので、どのようなサービスがオンラインで完結することができるのかを示してほしい。	男性	60 歳代
・やり方もわからないし、そもそもデジタル的なものを持っていない。	男性	60 歳代
・わからないことの問い合わせが難しい。	男性	60 歳代
・あまり詳しくないので。	女性	60 歳代
・あまり利用していないから。	女性	60 歳代
・いいと思うが、自分ではできない。	女性	60 歳代
・インターネットができないから。	女性	60 歳代
・インターネット接続をしていないため。	女性	60 歳代
・インターネットに慣れていない。習えたら習いたい。	女性	60 歳代
・インターネットは使っていない。	女性	60 歳代
・インターネットは利用するが行政手続きでわかりにくいことがある。	女性	60 歳代
・インターネットを利用できない。	女性	60 歳代
・顔を見て手続きを取りたいから。わからない時はすぐに対応してもらえるから。	女性	60 歳代
・個人情報が確実に守れるか不安。	女性	60 歳代
・時代の流れで仕方がないが、（便利と思う事もあるが）積極的にやろうとは思わない。	女性	60 歳代
・情報が洩れる心配がある。証明書類を取りに行く必要がある。	女性	60 歳代
・スマホは持っているが、操作に不慣れなためうまく活用できない（詐欺にあいそうで怖い）。	女性	60 歳代

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・スマホは持っているが、まだまだ使いこなせない。	女性	60 歳代
・設備がないし、使いこなせない。	女性	60 歳代
・使い方がわからない。インターネットに興味が無い。	女性	60 歳代
・手続きのため、市役所に行く機会に見えるものがあります。頻度は年に数回あるかないかくらいです。それが面倒だとは思いません。	女性	60 歳代
・馴染みがなく、無理だと思うから。	女性	60 歳代
・年齢的なこともあり、見づらいし、わかりにくい。何かにつけ、ID、パスワード設定と、大変さの方が上回る。	女性	60 歳代
・年齢的にもインターネットを使用することはむずかしい。	女性	60 歳代
・年齢的に利用が難しい。	女性	60 歳代
・パソコンが得意でないから。	女性	60 歳代
・パソコンが苦手。	女性	60 歳代
・パソコンが苦手。携帯のインターネットはやっている。	女性	60 歳代
・難しいのでは。	女性	60 歳代
・覚えるのが面倒。	女性	60 歳代
・面倒だから。	女性	60 歳代
・面倒だから。間違えそうだから。	女性	60 歳代
・やり方がわからない。	女性	60 歳代
・利用が難しい。	女性	60 歳代
・老人には無理。	女性	60 歳代
・パソコンがない。	男性	70 歳以上
・パソコンを使いこなせない。	男性	70 歳以上
・インターネット等、全然わからない。	男性	70 歳以上
・インターネットのトラブルが多かったり、メールアドレス入力など、アクセスができない。	男性	70 歳以上
・インターネットは利用する前。操作するのが無理。	男性	70 歳以上
・インターネットを使えない。	男性	70 歳以上
・インターネットを見たり、調べたりするのがはよいが、オンラインで完結する手続きは一寸難がある。（間違えたらと思う）。	男性	70 歳以上
・インターネットを利用していない。	男性	70 歳以上
・英語表示なのでわからない。	男性	70 歳以上
・簡単スマートフォンのやりとりだけです。	男性	70 歳以上
・高齢者で取扱操作が困難で、文字が小さく読みにくいため。	男性	70 歳以上
・高齢者には無理がある。	男性	70 歳以上
・高齢のため。	男性	70 歳以上

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・高齢のため、利用する気持ちになれない。用語等がカタカナでわからない。	男性	70 歳以上
・子どもと同居しているので、必要なときはお願いしています。	男性	70 歳以上
・詐欺、トラブル等が多そうで、年寄りにはついていけない。関わらない方がよいとの考えで、内容に近づかないようにしている。	男性	70 歳以上
・仕事をしているため、なかなか平日に手続きしにくいので、オンラインでできると便利だと思います。ただ、オンラインで手続きできるか心配です。	男性	70 歳以上
・市のことはわからない。	男性	70 歳以上
・守秘義務がともなう関係が多い行政項目を扱うなかで、なんでも機械化には、細心の注意を図り、システム構築を望みます。	男性	70 歳以上
・全てのもののデジタル化に反対です。	男性	70 歳以上
・セキュリティに不安（個人情報漏洩が非常に心配）。	男性	70 歳以上
・使い方がわからない。興味がない。パソコン、携帯は持っていない。	男性	70 歳以上
・使えない。	男性	70 歳以上
・どのように利用できるのか思いつかない。	男性	70 歳以上
・パソコン、スマホを持たない。	男性	70 歳以上
・パソコンが家にないことと、使い方がよくわからないことが多い。	男性	70 歳以上
・パソコンが使えません。	男性	70 歳以上
・パソコンができない。	男性	70 歳以上
・パソコンを利用していない。	男性	70 歳以上
・パソコンはわからない。	男性	70 歳以上
・難しくてできない。	男性	70 歳以上
・利用不可。	男性	70 歳以上
・わからない。	男性	70 歳以上
・わからない。利用したことがない。	男性	70 歳以上
・一方に人間的息づかい、空気の通う窓口にも閉じず開いてほしい。	女性	70 歳以上
・インターネット、タブレットは持っていないし、使い方もわからない。	女性	70 歳以上
・インターネットがありません。	女性	70 歳以上
・インターネットができないから。	女性	70 歳以上
・インターネットがない。	女性	70 歳以上
・インターネットを使いこなせない。	女性	70 歳以上
・インターネットなど上手に使えないし、面倒くさい。コミセンなどに行政手続きなどをできるようにしてもらえば助かる。今のコミセンは利用価値ゼロ、何の役にも立っていない。	女性	70 歳以上
・インターネットなどを使えないため。	女性	70 歳以上
・インターネットの利用目的が理解できない。	女性	70 歳以上

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・インターネットの利用を理解するのが、高齢者には難しい。(70歳以上のため)。知識がなく使い方もわからない。	女性	70歳以上
・インターネットは自分でできない。	女性	70歳以上
・インターネットは使用していない。持っていない。	女性	70歳以上
・インターネットもパソコンも使っていないので、インターネットやパソコンで入力して下さいといわれても困ります。できないものはできませんから。	女性	70歳以上
・インターネットやオンラインがわからない。	女性	70歳以上
・インターネットをしております。	女性	70歳以上
・インターネットを利用していない。	女性	70歳以上
・インターネットを利用していないから。	女性	70歳以上
・インターネットを利用しなくても不自由はしない。	女性	70歳以上
・インターネットを利用するのにもお金がかかる。	女性	70歳以上
・うまくできるか自信がない。一度インターネットトラブルにあい、それ以来、駄目です。よくわからない者が被害にあった経験です。	女性	70歳以上
・かえって面倒。	女性	70歳以上
・家族がいるから。	女性	70歳以上
・機器音痴で今さら覚えようとは思わない。	女性	70歳以上
・高齢のため。	女性	70歳以上
・この年齢になってインターネットを使おうとは思わない。必要なときは息子がやってくれる。市役所に電話で問い合わせすれば何でも教えてくれるから。	女性	70歳以上
・コロナのワクチン接種の時も予約するのに苦労した。わかりやすいシステムであれば利用してみたい。	女性	70歳以上
・自分ではできないので思わない。	女性	70歳以上
・市役所が近い。市役所に行くことで、新たな情報を得ることができる。インターネットは案外時間がかかる。	女性	70歳以上
・スマートフォンではなくガラ携帯です。	女性	70歳以上
・操作が思うように行かず、最後まで完全にできない。	女性	70歳以上
・使い方がわからない。	女性	70歳以上
・できないから。	女性	70歳以上
・年だからオンライン、インターネットがわかりません。	女性	70歳以上
・年寄りで全くわかりません。	女性	70歳以上
・年齢的に機械の使い方がわからない。とまどいを感じます。	女性	70歳以上
・年齢的に時代の流れについて行けない。	女性	70歳以上

インターネットを利用してオンラインで完結するサービス利用についての自由記述（問 23）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 22 オンラインで完結するサービス利用意思「思わない」と回答した人】		
・年齢的に無理かと思う。	女性	70 歳以上
・パソコン、携帯電話などはありませんので利用なし。	女性	70 歳以上
・パソコン、スマートフォン等を持っていない。	女性	70 歳以上
・パソコン、タブレット、スマートフォンがない。	女性	70 歳以上
・パソコンなどの使用がないため（主人、子どもに聞くことが多いため）。	女性	70 歳以上
・必要ない。	女性	70 歳以上
・文章は理解しにくいことがあります。直接市役所などに行くか、電話で問い合わせの方が確実に安心できます。	女性	70 歳以上
・窓口での対面で手続き等した方が安心。	女性	70 歳以上
・面倒くさい。	女性	70 歳以上
・よくわからない。	女性	70 歳以上
・利用法がわからない。	女性	70 歳以上
・若い者がいないためわからない。	女性	70 歳以上
・わからない。	女性	70 歳以上
・目が悪くて文字が読みづらいから。窓口だと説明、確認してもらえる。	女性	無回答
・インターネットで行政のことを調べたりするのはよいけど、近くにあるのにそこまでしなくてもという考えになる。市役所があまりにもデジタル化しても、人の温かみを感じない市になってしまっ、都会化してしまいます。年寄りの方が、人口が多いのに。	無回答	無回答
・インターネットとは、どういうこと自体が知りません。（100%知らない）（今から知ろうとは思わない）。	無回答	無回答
・目が悪いので疲れる。	無回答	無回答

## (2) ICTを利用したサービスの実現についての自由記述 (問 25)

問 25 ICTを利用してどのようなサービスを実現してほしいですか。(自由記述)

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年齢別
・教育などにも取り入れてほしい。	男性	10 歳代
・特になし。	女性	10 歳代
・選挙におけるネット投票の実施。大学でプレゼンするために選挙について調べたが、学生対象のアンケートでネット投票を実施すると投票率が上がると答えたのが 73% というデータが出ている。若者は政府や自治体が思っている以上に政治に関心があると思う。ぜひネット投票を実現していただきたい。	女性	10 歳代
・市役所の行政サービスへの要望、不満を通報し公開する。	男性	20 歳代
・道路の冠水状況が見られたら助かります。	男性	20 歳代
・クレカや電子マネーで支払いができるところが増えてほしい。	男性	20 歳代
・道路の破損、漏水、災害などの状況をアプリなどで市に通報できる。 ・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができる。	男性	20 歳代
・まずは例にあるものが安全に使えればよい。	男性	20 歳代
・特に思いつかない。	男性	20 歳代
・リアルタイムで地震や台風などの被害を予測する。	男性	20 歳代
・特にない。	男性	20 歳代
・被災状況をアプリで確認できるようにする。	男性	20 歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	男性	20 歳代
・水道料金のクレジットカード払いができるようになること。	男性	20 歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。 ・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子供の様子をインターネット上で視認できるようになること。	女性	20 歳代
・例 3 のように、時差がなく情報を得られるサービスは良いと思う。	女性	20 歳代
・教科書やプリントの電子化。バス、電車ロケーションシステム。	女性	20 歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	女性	20 歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになることに賛成です。同意見です。	女性	20 歳代
・電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	女性	20 歳代
・他の学校との共同授業。子供と地域の方との遠隔での交流会。	女性	20 歳代
・クレジットカード、電子マネーで公共料金の支払い。公式アプリの充実。	男性	30 歳代
・市内にある公共機関（体育館・図書館）などの利用状況をインターネット上で簡単に確認できるようにする。保育所、小学校などでの新年度に際しての手続きを紙ではなくインターネットで行えるようにしてほしい。また、入所、入学後の各種手続きも同様に。	男性	30 歳代



ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・特になし。	男性	30歳代
・道路の破損、漏水、災害などの状況をアプリで市に通報できるようになること。	男性	30歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。地図に印を付け、道路の破損状況等を書き込むことで通報できるようになること。	男性	30歳代
・柳川市の特産物（いちご、のり、その加工品）の販売。	男性	30歳代
・子どもの様子をインターネット上で視認できれば安心できる。	男性	30歳代
・道路の破損、漏水、災害などの状況をアプリで市に通報できる。保護者が幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できる。クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができる。	男性	30歳代
・高齢者に対しての見守りサービス。病院と連携した対応サービス。	男性	30歳代
・不審者情報を誰でも書き込みができて見られる。	女性	30歳代
・開庁時間内に訪問できなくても、時間を問わずオンラインで住民票などの発行を行える。タイムリーな冠水情報、渋滞情報などの通知が受けられる。	女性	30歳代
・公共料金が支払えるようになってほしい。	女性	30歳代
・ゴミのアプリで分別できる物がよくわからないときに写真を送信したら回答がもらえる機能があればよい。	女性	30歳代
・保護者が幼稚園・保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できるようになること。	女性	30歳代
・水害の時、どこの道路が冠水して道が通れないなどの情報を早く入手したい。市民から冠水した写真などを提供してもらい、活用してほしい。	女性	30歳代
・クレジットカード払いできるようにしてほしい。	女性	30歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	女性	30歳代
・高齢者の見守りシステム等。	女性	30歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	女性	30歳代
・わからない。	女性	30歳代
・災害等の状況をアプリ等で市に通報できる。	女性	30歳代
・私は保育士ですが、子どもたちの様子を視認できるようにするのは、親は嬉しいかもしれませんが、働いている方からすると嫌です。	女性	30歳代
・災害時などの場所や被害状況の把握。通行止めや通学路の冠水状況。	女性	30歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。 ・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子供の様子をインターネット上で視認できるようになることについては、見ない方がよいと思う。親がみていない所でもちゃんと成長している。 ・プログラミングやHP作成を就業支援として力を入れてみてもよいと思う。就業サポート（柳川での）したらよいと思う。	女性	30歳代
・聴覚障害の方が、緊急情報をすぐに得るために、目で視える、視覚的（ex.字幕）情報の普及をしてほしい。	女性	30歳代
・選挙の投票、保育料支払い、水害・地震・火事の情報など。	女性	30歳代
・ゴミ収集車の位置情報。	男性	40歳代
・災害情報、渋滞情報。	男性	40歳代

ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・道路の破損、漏水、災害などの状況をアプリで市に通報できる。保護者が幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できる。	男性	40歳代
・例に書いてあるのが、すべてできればよいと思う。	男性	40歳代
・議会中継。	男性	40歳代
・祭り等のイベントのリアルタイム配信。	男性	40歳代
・地域の治安・防犯情報。どういった地域で、何を気をつけたらよいか、これまでの情報もあわせて見える化してほしい。	男性	40歳代
・買い物に行くことができない方への宅配サービスまたは配食サービス ・インターネット申請や公共サービスの一元化ペーパーレス化、印鑑がいらぬデジタル申請、AI活用（ロボット活用など）。	男性	40歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。 ・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。 ・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できるようになること。	男性	40歳代
・オンライン釣り大会を開催。	男性	40歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報できるようになること。クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。道路、通学路の危険な場所を連絡できるのはよいです。	男性	40歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。 ・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できるようになること。	男性	40歳代
・さげもんや海苔、うなぎ、いろいろな特産物があるが、生産者の高齢化とともに、販売経路を築けない方のために、第三者に販売委託できれば収入の拡張も期待できる。不安感も拭えない方のために、窓口が市だと安心できる。	男性	40歳代
・子育て世代にお得なクーポンなどもらえればうれしい。制服や体操服などの費用をクーポンで。	男性	40歳代
・広報などの市からの情報を見ることができるようになる。	女性	40歳代
・柳川は道路の冠水箇所が多いので、状況、情報を速報して、アプリ等で市民へ提供してほしい。	女性	40歳代
・例はとても良いと思います。	女性	40歳代
・クレジットカードでの支払いできる限り全ての物を。市内の休校情報を知りたい。	女性	40歳代
・コロナ禍において学級閉鎖だった場合に、ズームなどオンラインで授業を受けられる学校とそこまで追いついていない学校があると聞く。なるべく差を縮め学習の場を提供できる環境づくりに努力してほしい。	女性	40歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金や税金の支払いができるようになること。	女性	40歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるのは便利だと思います。ポイントもたまります。	女性	40歳代
・学校の校納金が現金ではなく電子決済で支払えるようになること。アプリ等で道路上の死がい（カメやいたち）の通報ができるようになること。近くの高校の情報（受験やオープンキャンパス）は一括してわかるサイトが欲しい。	女性	40歳代
・特にない。	女性	40歳代

ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・学校に行けない（不登校）子供のインターネット上での授業の視聴（zoom 等での参加は精神的にもきついので一方的にこちらから視聴できるようにしてほしい）などでの学習支援。	女性	40 歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	女性	40 歳代
・道路の危険な場所など、ちょっとした市への要望も簡単に相談できるようになること。	女性	40 歳代
・保護者が幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できる。	女性	40 歳代
・クレジットカードでの支払いは是非できるようにしてほしい。	女性	40 歳代
・市の議会の様子を視聴できるとよいと思う。市報に内容が載っているが、市議の方の質問、答弁の様子を実際に見ることができれば、人となりに触れたり、市政に興味を持つ人も増えるだろう。	女性	40 歳代
・24 時間対応ができるように。手続きの簡略化。災害時の情報発信。	女性	40 歳代
・クレジットや QR コード払いができるとかなり便利になる。	女性	40 歳代
・証明書等の発行等。	男性	50 歳代
・どこまでできるのかわからないので理解できる方をお願いします。柳川市の道路の破損は直してください。	男性	50 歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で市に通報することができるようになること。一番希望するのは、クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	男性	50 歳代
・高齢者が安全安心にネットショッピングができるようになること。	男性	50 歳代
・記述例の様な事が実現できれば活用したいと思う。特に土、日など休日に諸手続きができるようになれば大変助かる。	男性	50 歳代
・自然災害（水害等）の状況がアプリ等でわかりやすく見れる。	男性	50 歳代
・不明。	男性	50 歳代
・コスバを考えて進めてほしい。	男性	50 歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。 ・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。独り住まいの方の状態を確認する（安全確保）。	男性	50 歳代
・災害による道路状況の早期把握と迂回路の提供。	男性	50 歳代
・小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できるようになること。	男性	50 歳代
・店の開店状況。	男性	50 歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	男性	50 歳代
・市報の投稿をインターネットでやる、済みます。	女性	50 歳代
・動物（犬、ねこ等）の殺処分を減らす為の命の大切さの教育と譲渡会。食品廃棄を減らすためのシェアサービス。自然災害の教育。空き家をリノベーションして、若い人達でも買えること。	女性	50 歳代
・災害情報、オンラインでの相談（子育て福祉）学校、保育園等の様子が見られると親御さんは安心すると思う。（個人情報等問題があると思うが）。	女性	50 歳代

ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・住民票の取得。	女性	50歳代
・道路の破損、漏水、災害などの状況をアプリで市に通報できるようになること。	女性	50歳代
・自分の子どもだけでなく他の子も見ると。SNSが駄目な家庭の子もいるのでできないと思う。	女性	50歳代
・大雨洪水雷警報（警戒レベル3）で、引き渡し下校のため、小学校と高校に子どもを迎えに行ったのですが、高校生の子どもを迎えに行く頃には、城内小付近から冠水していて、進めませんでした。大雨、洪水、冠水の状況がいち早く確認できるようになること。また、朝から大雨の時は休校にしてほしいです。子どもが何人もいる家庭は大変です。	女性	50歳代
・大きなごみの処理方法、予約する方法（福岡から転入してきたので大型ごみの処理の仕方がわからない）。道で死んでいる動物の情報を市に知らせたいとき、どこに連絡すればよいかわからなかったのがアプリ等で通報したい。	女性	50歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。この意見に賛成です。	女性	50歳代
・災害情報（地域の災害情報）。	女性	50歳代
・小中学校への欠席連絡を電話ではなくアプリ等で行えるようにしたい。遅刻、欠席の連絡をしない家庭が多く学校側の対応が大変になってきている（子どもの安全確認のためにも本来は親がすべきだと思います）。	女性	50歳代
・コミュニティバスを有効に活用できるようにアプリで運行状況がわかる（車に乗れなくなったときの交通手段だともう）もしくは予約ができる。	女性	50歳代
・まずは利用したい人が使えないと意味がない、講座や講習会も土日も開いてほしい。	女性	50歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	女性	50歳代
・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子供の様子をインターネット上で視認できるようになること。	女性	50歳代
・介護関連。	女性	50歳代
・公共料金の支払い方法の変更などができると便利。	女性	50歳代
・市報など隣組で配布するものをやめてほしい。ウェブでできませんか。	女性	50歳代
・市報は紙ベースではなく、デジタル配信のみでよいのではないかと。市報は回覧板等で回ってきます。もう回覧板はなくしませんか。今人の手で回していること、ボランティアや「地域の教育力」といったようなことに頼っている事を極力ICTでできるように検討してはどうでしょうか。	女性	50歳代
・小中学校は台風などにより休校となるが、保育園はならない。そういう情報を柳川市民、全国に知らせたい。	女性	50歳代
・不審者情報、凶暴な犬が脱走したなど危険な情報を発信してほしいです。	女性	50歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で市に通報することができるようになること。クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。道路の冠水状況（リアルタイムで）。	女性	50歳代
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	女性	50歳代
・NTTがリモートワークを標準とすることになりました。そこで、リモートワークができる電子環境及びスペースを公共でつくり、市民の流出を止め、アフターファイブの環境も整える。	男性	60歳代
・記述例に賛成で他には思いつきません。	男性	60歳代

ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・道路の破損、漏水、災害などの状況をアプリで市に通報できる。	男性	60歳代
・防災情報の細分化（詳細は情報）。	男性	60歳代
・柳川市での就労情報（企業、農業、その他）。	男性	60歳代
・介護施設等にいる親族の様子が見れるようになる病院。	男性	60歳代
・ハザードマップの不備と自然災害の情報が遅い。市議会議員の定年制（70歳まで）若返りしないと市が老人化。西鉄の事業内容でわかる。	男性	60歳代
・コミュニティバスの運行状況（どこを走っているか、西鉄電車との発着）。	男性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	男性	60歳代
・小・中・高校すべての学校の校歌を聞けるようにする。	男性	60歳代
・なかですよ。	男性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	男性	60歳代
・保育所や学校の欠席連絡ができる様にする。 ・病院（薬局）のオンライン予約。	男性	60歳代
・高齢者でもできるインターネットの実現。	男性	60歳代
・危険な場所（川や堀）や夜間の人あまり通らない場所、公園、神社などをセンサーを付けてインターネット上で警察や役所で常に注意や指導。 ・安全を確認できる町にしてほしい。	男性	60歳代
・まずはデジタル化に対するインフラが整っていない状態で前のめりするのは自分の考えではないと思っています。ICTを利用するリスクが大きすぎる（現状では）と思います。	男性	60歳代
・市報は月1で良いと思う。	男性	60歳代
・証明書や家図、謄本などをインターネット上でとれるように。	男性	60歳代
・道路の状況。	男性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。実現してほしい。	男性	60歳代
・コロナ禍で市民の現状をもう少し考えていただき、生活面、教育面等で今後、市でできる対策及び、アドバイス等を市の市報として送信してほしい。	男性	60歳代
・災害時のきめ細やかな情報提供（避難時等）ゴミ収集車の位置情報。	男性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	女性	60歳代
・現在、柳川市がどのようなサービスを実施されているのかよく知りません。	女性	60歳代
・市に依頼することができるので。	女性	60歳代
・土、日、祭日の行政の対応を望む。	女性	60歳代
・やや大きな地震の時など、市の動きがわかりにくいので、早めに知りたい。	女性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	女性	60歳代
・被災等の状況をアプリ等での情報共有化。	女性	60歳代

ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・行政の申請、届出サービスをしてほしい。市報などの電子化。 ・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認は、しなくてよい。	女性	60歳代
・ICTで選挙ができるようになる。	女性	60歳代
・コミュニティバスの運行状況。	女性	60歳代
・災害に対し、すばやい情報がほしい。	女性	60歳代
・高齢者の保護、確認がすぐわかるようなシステムがほしい。	女性	60歳代
・既にいくつかサービスが提供されていると思うがそれが周知されていない。しかも、やり方さえわからない。今あるサービスをどのように利用できるのか学習会をしてほしい。役にたたなければ増やしても活用できない。	女性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	女性	60歳代
・個人情報の漏洩が心配。	女性	60歳代
・一長一短があるので、わからない。	女性	60歳代
・公共料金のクレジット払い。税金（車など）。	女性	60歳代
・わからない。	女性	60歳代
・クレジットカード、電子マネーを利用するのは便利なので、公共料金等の支払いはよいと思う。	女性	60歳代
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	男性	70歳以上
・市報等配布手段の低減。	男性	70歳以上
・守秘義務がともなう関係が多い行政項目を扱うなかで、なんでも機械化には、細心の注意を図り、システム構築を望みます。	男性	70歳以上
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	男性	70歳以上
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	男性	70歳以上
・災害時の情報伝達。	男性	70歳以上
・毎月の市からの配布物を減らすために、ICTで配信。	男性	70歳以上
・台風や水害の時、2人暮らしなので簡単スマートフォンで操作が簡単にできて情報を得ることができたらよい。	男性	70歳以上
・災害（水害、地震等）の際の避難情報の迅速な伝達が図られる。	男性	70歳以上
・災害時に災害の状況や避難等に関する情報を早く得られるようになること。	男性	70歳以上
・道路の破損、水害情報等を発信してほしい。	男性	70歳以上
・議会のやりとり。質問と答弁の要約。	男性	70歳以上
・従来のように、顔が見える行政であってほしい。	男性	70歳以上
・災害の危険度、予知をタイムリーに通報したい（情報を共有したい）。	男性	70歳以上
・わからない。	男性	70歳以上

ICTを利用したサービスの実現についての自由記述（問25）

主な記述内容	性別	年齢別
・公共料金の支払い。	男性	70歳以上
・介護施設の空状況等の情報がわかる事ができるようになる。適切な専門医の情報紹介等がほしいので。	女性	70歳以上
・機械的な事は理解しにくいです。TEL等で市の窓口で対応してほしいと思います。	女性	70歳以上
・あまり電子機器に頼るのは便利ではあるけど、問題も起きている。	女性	70歳以上
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	女性	70歳以上
・若い人が便利になればよい。その代わりに私たち高齢者が不便にならないようにしてほしい。	女性	70歳以上
・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようなること。	女性	70歳以上
・住宅周辺の気になる環境の通報。 ・下水、堀の土砂、ケンケイさん（ごみ、ネズミ、ゴキブリ、カラスなど）、土場の土盛りを通報しても改善されないから、やる気をなくしています。むなしい。	女性	70歳以上
・別になし。	女性	70歳以上
・ICTのように横文字、しかも頭文字の表現が多い昨今、上記のように日本語が記されますことを望みます。	女性	70歳以上
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。	女性	70歳以上
・自宅介護者の助けになること。	女性	70歳以上
・公園や公用地の整備状況の発言。	女性	70歳以上
・スマホでできるなら使いたい方を知りたい。 ・道路の破損や被災等の状況を通報すること等。	女性	70歳以上
・今のままで良い。	女性	70歳以上
・機械類をいじれないので、機械に関してはまったくわかりません。	女性	70歳以上
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で市に通報することができるようになること。保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子どもの様子をインターネット上で視認できるようになること。	女性	70歳以上
・高齢化が進む今、老人にITやパソコン技術は無理だと思う。若い人ならともかく高齢者ばかりの社会にそういうものを広めても税金の無駄。アナログ世代に対応すべき。何でもかんでも今の情報通信技術に高齢者はついていけない。もっと人と人のふれあい生活の方が温かいものがある。人間を機械でばかり操ろうとする考えは改めるべきである。利便性の危険あり。	女性	70歳以上
・クレジットカードで公共料金、税金の支払いができるようになること。	無回答	無回答
・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。 ・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。	無回答	無回答
・事例として、上げてあるのはよいですが、こんなことをしているなら、市報はいらないのでは。市報も税金などでやっているのだから、どちらかに統一しても、なにも無駄なことで、税金を使ってほしくない。今も、生活は厳しいので。	無回答	無回答
・どのようなサービス項目があるか、ひとつもわかりません。（例を上げて下さい。）。	無回答	無回答

### (3) 柳川市の今後の取組についての自由記述 (問 29)

問 29 問 28 で選択した取組で、具体的にどのような施策を行っていくことが、効果があると思いますか。簡潔にお書き下さい。(自由記述)

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年齢別
【問 28 推進していくべき取組「1. 柳川の歴史・文化に愛着を持つような施策」と回答した人の意見】		
■柳河		
・子どもたちへの教育(郷土愛)。	男性	40歳代
・おしゃれな店。メインになるような子どもが集まってくる公園。その周りにフード関係等。	女性	40歳代
・船頭さんの案内方法、内容を見直し、ある程度統一した案内にしてほしい。聞くに耐えないときもある。レンタルヘッドホンで、ポイントを通過する毎にその場所の案内が多言語で解説される仕組みが必要。	女性	50歳代
・柳川掘割物語の広松さんの決断、行動にフォーカスした演劇を上演してほしい。	女性	50歳代
・いろいろな世代の人たちが生活するなかで、楽しみや知識、体力などを身につけられるようなサークル、講座、施設等を安価で参加できるような場をたくさん作っていただきたい。	女性	60歳代
・柳川には工業団地の整備等は似つかわしくありません。柳川の歴史に基づいた町づくりが今後も必要だと思います。	女性	70歳以上
■東宮永		
・「水郷やながわ」だけでなく、「柳川城城下町」としての町並み整備にも力を入れることで歴史好きの人や若い世代にも柳川に興味を持ってもらえるのではないかと思います。	女性	50歳代
・子どもたちに柳川の歴史、文化にふれさせる(例:授業に取り入れる)。休日にも参加できる柳川の歴史の講座を増やす。	無回答	50歳代
・歴史文化を大切に、子ども達が愛着を持つような町づくり、学校教育の整備。	男性	60歳代
・文化施設の充実及び文化団体の育成。総合運動公園の整備。	男性	70歳以上
・掘割の水をもう少しきれいに、昔よりはきれいになったが、水郷を名乗るなら、もう少し真剣に考えるべき。川下りコース、周辺のバスの駆除。	男性	70歳以上
■昭代第一		
・観光、おもてなしを考え西鉄電車下車～の川下り乗り場直結、それにともない、うなぎ屋や新しい飲食店、お店の持ち帰りをしたくなるお店を繋げ、住んでいる人が誇れるような町づくりをしてほしい。	女性	30歳代
■昭代第二		
・柳川市民への歴史・文化の教育	女性	50歳代
・企業誘致と市場の様な所を作ってほしい。	女性	70歳以上
■蒲池		
・歴史・文化の伝承の為に各種講座	男性	60歳代
■矢留		
・柳川市民半額で川下り。	女性	50歳代



柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■中島</b>		
・芸能や音楽のイベント（定期的に）。	男性	50 歳代
・観光地としてもっと全国各地で PR（テレビ、ラジオ、雑誌）をしてもらいたい。また過疎対策として、この町に移住しやすいような補助金をつくって、子どもを育てやすく住みやすい手立てを考えてほしい（土地を安くする。税金も〇年間免除や仕事先の斡旋など）。	男性	60 歳代
<b>■六合</b>		
・景観の良い場所を活かして、コスプレイベント開催とか。新しい層へのアピールになるかもです。	女性	40 歳代
<b>■藤吉</b>		
・掘割や武将、城など歴史的なものや、まり、さげもんなど風情のある文化についての情報を SNS 上など多数の目にふれるようなところで発信する。	女性	10 歳代
・掘割をもっと綺麗に。うなぎをもっとアピール。	男性	30 歳代
・立花宗茂のグッズを増やしてほしい。立花宗茂を今以上に市のいたるところに PR してほしい。	男性	30 歳代
・水害対策の為の公共工事。	男性	50 歳代
<b>■二ッ河</b>		
・空家の有効利用。	女性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 28 推進していくべき取組「2. 子育て世代を中心にサポートする施策」と回答した人の意見】		
■柳河		
・子どもが遊べる場所・施設を作る。子どもの医療費の自己負担金を無償化もしくは軽減する。	男性	30 歳代
・現在ある産後ケアの充実。ウェブでの産後泊まるための予約、おっぱいマッサージの充実、精神面フォローの施設。1 か所あるだけでもありがたいと思う。	女性	30 歳代
・子どもの医療費無料化。	女性	40 歳代
・小中学校統合にともない、通学のためのサポート。ひとり親へのサポート。学童の充実。	女性	40 歳代
・市として子育ての世代への積極的なサポートが必要。人が市を育て、市が応援する仕組みが必要。それ以上減らないような市としての努力が見えない。	男性	50 歳代
・若者の給料が安いいため結婚に至らずに少子化になっているので、若い方の成長のために市が協力すべき取り組みだと思います。	男性	50 歳代
・三世代が同居でなく近居で暮らせるようにする。	男性	60 歳代
・子どもを育てやすい街でないと若い人は集まらない。	男性	60 歳代
・若い世代の支援。柳川市へ若い人が住みやすい環境を作る。若者を市内へ呼び込むような施策が必要。若い人の市外への流出を防ぐ。	男性	60 歳代
・ニューファミリー層の誘致だと思う。城内校区にマンションを、と耳にする。実現するため、景観条例の撤廃をお願いしたい。	男性	70 歳以上
■城内		
・具体的なサポートを示す。	女性	10 歳代
・以前あった、新婚さんへの家賃等の補助金を復活してみる。10 年ぐらいの施策だったと思いますが、その時は柳川市に住んでみようと思う新婚さんがいたので、よかったと思いました。新築の補助金は今も施策にあります。年齢制限は外した方が過疎対策になると思います。	女性	30 歳代
・子育て世代に負担が軽くなる施策。	男性	40 歳代
・よくはわかりませんが、移住ランキングの上の市町村などの取り組みを参考に柳川に合いそうなことを取り入れて進めていくのはよいのでは。	男性	40 歳代
・医療費控除の期間を高校卒業時まで延長。オンライン学習など今のニーズに合わせた対応や充実した学びの場。	女性	40 歳代
・問 28 の 2 のように、子育て世代の人たちが自ら活躍する場を企画してはどうか。私は高齢者であるが応援したい。図書館の充実、子ども達が楽しくいれるような。	女性	70 歳以上
■東宮永		
・妻が育休等で給料が下がる中、保育料や生活費支払い分があるため、住宅取得を判断する勇気がわかないため、できたら補助金を増やしてほしい。	男性	20 歳代
・子どもを連れて遊べる公園や施設（例：モッカランドみたいな室内で遊べる所）がほしい。公園が少ない。	女性	20 歳代
・手当をもう少し手厚くしてほしい。	男性	30 歳代
・人口増加のための企業誘致。	男性	60 歳代
・子どもから高齢者まで利用できるような公園の充実。安全、安心が確保されたウォーキングコースの設置。	男性	70 歳以上
・孫たちの成長を願っています。	女性	70 歳以上

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■昭代第一</b>		
・少子化しているので子育てしやすいよう保育園、幼稚園や公園など設備を整え金銭的サポートがあってほしい。	女性	20 歳代
・地域の行事を減らす、又はなくす。町内会の行事が負担でしかない。田舎であればあるほど子育て世代は暮らしにくさを感じる。	女性	30 歳代
・子育てするに当たっての児童手当をもっとあげてほしい。もっと子育てしやすい環境を作ってほしい。他の市町村では子育てに対して手厚い支援が行われていると思います。それに対し柳川市は少ないと感じます。	女性	30 歳代
・保育料、高校授業料の全額公費負担。小学校・中学校給食費の公費負担の実施。	女性	60 歳代
・若い子育て世代がいちばん助かるようなことをしてほしい。給食費無料、18 才までの医療費無料等。	女性	70 歳以上
<b>■昭代第二</b>		
・子育てに必要な消耗品の定期的な支給（オムツ、ミルクなど）。 ・子育て関連の支給金の増額。	女性	20 歳代
・小学校の給食費を無料。	女性	30 歳代
・子育て支援。（保育料・医療費・学費など）	女性	40 歳代
・育休取得（男性）しやすい環境。子どもたち医療費無料など。	女性	60 歳代
<b>■蒲池</b>		
・子育て世代が引越してきたいと思うような施策とその PR。リモートワークが増え、都会に住まなくてもよい今の時代に強化して人口を増やしてほしいです。	女性	20 歳代
・育休制度を充実させる。	女性	20 歳代
・18 歳まで医療費免除。	女性	20 歳代
・公園の整備。中学生までの医療費、給食費補助の拡大。	男性	30 歳代
・子育て支援。	男性	30 歳代
・子どもを持つ家庭への補助金の支援。	女性	30 歳代
・子育て世代を手厚くサポートすることによって、出生率が上がり、人口減少の歯止めにつながり、また、子どもの学力をあげて、柳川市の政策を日本国内に知らしめる。「子どもは国の宝です。」	男性	40 歳代
・出産、育児がやりやすいような金銭面の補助。空き家、空き地を減らし、宅地を増やす（環境の整備）。	女性	40 歳代
・大木町のように子育てをサポートしたり市民税を安くしたりして、住みたいと思うような町にする。子ども手当に変わって第3子の保育料を払わせるようになったときから子育て支援に目が向いていない	女性	50 歳代
・回覧板の月2回を1回や2か月に1回等に減らし、減った費用で子育て世代へサポートしてほしい。	男性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■矢留</b>		
・医療費支援金等の充実。	女性	20 歳代
・子育て世帯が遊べるような遊具を増やしたり、公園の整備。 ・18才まで医療費等を無償化。	女性	30 歳代
・両親だけでなく、地域住民で子どもの面倒を見ることができる制度がほしい。	女性	30 歳代
・子どものための医療費、学費、全て免除。高校卒業までのサポート。プール。	女性	40 歳代
・子どもの医療費の無償化。	女性	40 歳代
・地域毎に子どもの見守りや公園整備。	男性	50 歳代
・子育てしやすい環境にするには。	男性	60 歳代
・子どもたちの教育、給食、医療の無料化。（全ての子ども）。	男性	60 歳代
・子育てしやすい町。明石市のように、子どもを中心に、施策をする。若者が集まり、そのための経済が動き出す。	女性	60 歳代
・子育て支援で、大木町はよいから若い夫婦は他の市からも大木町に転入していると聞いた。内容まではよく知らないが、柳川は 40 代 50 代の結婚していない若者がいっぱいいる。みんな老人になっていきどんどん減っていくばかり。空き家ばかり増える。（給料、子育てに不安があるから）市の税収も減ってくる。不安。	女性	60 歳代
<b>■両開</b>		
・医療費無料・学費無料。 ・子ども会援助（ドッジボール大会などイベント開催）	男性	30 歳代
・子育てしやすい環境づくり、サポート体制作りはもとより補助金等の充実した街づくりをめざし、新しい移住者、人口増加につなげてほしい。	男性	40 歳代
・子育て支援策をされているのはわかるが、対応が遅く、悪いと感じる。担当者だけの問題ではなく、全体的なフォローができておらず上手く機能していない。	男性	50 歳代
・住宅取得の補助金 ・子育て世代へのサポート（医療費の助成、公的教育機関の金銭面の補助など）	男性	60 歳代
・他の市の方が子育てしやすいということで、他市に住んでいる若夫婦が多数いると思う。	女性	60 歳代
・近くで子どもたちが遊べる施設の充実。若者世代を呼び込むための働く場所の創設及び住民税等の軽減、また住宅手当の拡充。	男性	70 歳以上
<b>■皿垣</b>		
・結婚や出産、住宅取得の補助などの支援。	女性	60 歳代
・子ども医療費を無料にする。出産祝金を出産度に 1 人当たり 20 万程度支給する。	男性	70 歳以上
・学校の再編成を軸に、子どもを育てやすい施策を取り入れて若い人たちに希望を与えてほしいです（システムや助成等）。	男性	70 歳以上
<b>■有明</b>		
・福岡県を代表する工業地帯をつくって人口を集める。 ・10 年先よりも 20 年から 30 年先を見据えたことを考える。	女性	30 歳代
・柳川独自の出産祝金やクーポンなどの配付。 ・子どもを遊ばせるための公園（遊具あり）づくり。 ・給食費無料化など。	男性	50 歳代
・教育費の無料化や高度教育の推進。	男性	50 歳代
・子供は皆平等に支援する。所得制限なしとする。	女性	70 歳以上

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■中島</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市のような子どもを核としたまちづくり。</li> <li>・子ども支援の強化、保育料、医療費の無償化。</li> <li>・経済的にも負担を減らし、子どもを育てやすい環境を作ってほしいです。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの医療費の助成が、もう少しよくなると助かります。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい環境を整える。医療費助成（高校生までは）子どもが遊べる無料の施設、公園等の充実など。</li> </ul>	女性	30 歳代
<b>■六合</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住してきた方への特典や補助、若い世代や子育てしている世代へのサポート。</li> </ul>	男性	10 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学（専門学校等も含む）まで学費を無料にする。</li> </ul>	女性	20 歳代
<b>■大和</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代への支援活動。</li> </ul>	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもがいる世帯にサービスがあるならば、情報として広める。</li> </ul>	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の親をフォローできる様な環境の整備。</li> </ul>	男性	50 歳代
<b>■豊原</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で使う教材、給食費の無償化。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自由に遊べるような場所がほしい。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代が柳川市へ移住したくなるような施策を行っていく。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代に魅力ある町づくり。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子参加イベントや子ども向け図書館の充実。公園や子どもを遊びに連れて行ける場所を作ってほしい。</li> </ul>	女性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■藤吉</b>		
・若い人が住みやすい地域にすべきだと思う。明石市などの子育て支援をまねるべきであると思う。	男性	10 歳代
・子育てしやすい市にしてほしい。保育料が高い。	女性	20 歳代
・市民に制限ばかりを求めず、市全体での節約や住みやすくなるような取り組みをもっと考えるべき。	男性	30 歳代
・補助金に幅を増やす等。	男性	30 歳代
・子育て世代が住みたいと思うような支援。（オムツやミルクなどの支援、スーパーや地域のお店の駐車場に屋根をつける、平日だけでなく土日などに家族で参加しやすいイベントフリーマーケットやおまつりなどの開催）。	女性	30 歳代
・保育料を安くするなど。	女性	30 歳代
・遊具がたくさんある公園がほしい。 ・小学校の学童に入れず困っている人が多いので、そういう子どもたちをサポートしてもらえる施設があるとよいと思う。	女性	40 歳代
・制服購入時の補助。学童保育の充実。	女性	40 歳代
・子ども医療費無料対象年齢の引き上げ（小学生まで、など）。	女性	40 歳代
・住みやすい住宅の区画整備。子育てしやすい環境整備。	女性	50 歳代
・高校生まで医療費月 1,200 円にする。	女性	50 歳代
・校区を見直すべき。今の取り組みも旧柳川市、旧三橋町、旧大和町の枠をこわしていないのが残念。	女性	50 歳代
・もっと子育て世代の欠勤の融通を進めてほしい。特に休校など。職場を休んだら子どもはきちんと見る。条件付きで。	女性	50 歳代
・教育にかかる費用の軽減策の強化。	男性	60 歳代
・子育て世代を中心に助成し、生活しやすい環境作りと医療費補助金の拡大を希望。	男性	60 歳代
・安価に借りられる住宅の建設。企業誘致で雇用を増やす。	女性	60 歳代
・子育て中の保護者の小さな困りごとが、近所で助け合えるような環境づくり。かといって、具体策は難しい。自由参加の困りごと集会、その際、何かささやかなお土産があればよい。	女性	60 歳代
・人口の増加、次世代のための安心安全なまちづくり。耳を傾けること。必要なアドバイスをできること。市役所の人は、よいところを市民に広げてください。	女性	60 歳代
・教育費、特に塾代等の負担が大。市において「アフタースクール」を実施し、退職教員等を活用して、塾の代替を行う。	男性	70 歳以上
<b>■矢ヶ部</b>		
・独自の補助金や手当の支給。赤ちゃん用品支給（おむつなど）。男性の育児参加を目的としたサービス、親子で参加できるイベント（教室や体験）	女性	20 歳代
・小さな子どもを連れて行くときには車の移動が多いので、やなほ加盟店を利用しやすいように、もう少し駐車場があればよいと思います。ベビーカー、荷物、子どもを連れての公共交通の利用は思っているより大変です。	女性	30 歳代
・今後進むであろう高齢化による、空き家問題と戸建てを希望する世代とのマッチングのあり方。	男性	70 歳以上
・企業誘致をしてもらい、子育て世代の方が安心して働けて子育てができる環境を作ってもらいたい。ある程度の収入を上げて安心して子育てができますように。	男性	70 歳以上

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■ニッ河</b>		
・私の実家の佐賀県みやき町は、給食費が無料とか子育てのいろいろな補助があるみたいで、住宅もたくさん建って、そこに住む人たちがたくさん増えたみたいです。子育てするならよい環境だと思います。人口もそのおかげで増えたようです。	女性	40 歳代
・住宅取得の補助金。移住、定住のため、所得制限は設けない。夫婦の所得 400 万未満（納税者が増えることはプラス）新婚世帯マイホーム取得支援。	女性	50 歳代
・小中共に 30 人学級の現実を。昔とは違う現代に合った体制で子育てを。教育委員会の体質が古い。子育てをしている女性たちから幅広く意見を聞く場を設け、柔軟に取り入れる体制づくりが必要。子どもたちや子育てしている家庭が安心して生活できる金銭的・場の提供を。女性議員を増やす取り組みを。男性議員ばかりで偏った施策が多い（女性の視点をもっと必要）	女性	60 歳代
<b>■垂見</b>		
・1 個でいいから、とがった政策をして、SNS でバズらせる。①人がいないからする。②人がいないとできない。③人がいないとできない。明石市がバズってました。この話し合いをする人が、SNS をしたことがない、見たことなければ絶対わからないと思う。	女性	30 歳代
・子どもが多いほど支援を受けられるような施策。大木町が良い例。	男性	50 歳代
・住宅取得の補助金	女性	50 歳代
・子育て世代の経済的支援。特に母子父子家庭。地域ぐるみでの子育てで過疎化を防ぐ。	男性	60 歳代
<b>■中山</b>		
・子育て世代に対して、補助金や施設等の利用無料など。	男性	50 歳代
・子どもを産んだら 1 人 100 万お祝い金など。	男性	70 歳以上
<b>■わからない</b>		
・移住サポート体制を整える。	女性	30 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>【問 28 推進していくべき取組「3. 犯罪や災害のない安心安全なまちづくり」と回答した人の意見】</b>		
<b>■柳河</b>		
・スマホを持っていない人向けに無償提供する。	女性	30 歳代
・防犯パトロール巡回の実施。	男性	40 歳代
・水害対策のための公共工事。	男性	40 歳代
・子どもに限らず、市民の文化・教育を受ける場が少ない。市が行う健康促進の場が少ないと感じる。もっと市民の教育の場、健康促進に予算を立ててほしい。	女性	40 歳代
<b>■城内</b>		
・ハザードマップの周知。	女性	30 歳代
<b>■東宮永</b>		
・夜間の騒音バイクの取締り。	女性	10 歳代
・とくにありません。	男性	70 歳以上
<b>■昭代第一</b>		
・安心、安全、パトロールなど。	女性	70 歳以上
<b>■昭代第二</b>		
・農道が多いところに街灯を増やしてほしい。コロナ禍でよく散歩している人を見かけるが、皆がライトを持ったり反射板を付けたっている。	女性	30 歳代
・近隣どうしにつながりができ、お互い協力しあい助け合える環境になればと思いますが、その施策は難しい。	男性	40 歳代
・薬物のないようなまちづくり。護岸工事（沖ノ端川にヨシ原があってこそ、自然な豊かな海となると思います）。	女性	70 歳以上
<b>■蒲池</b>		
・自然災害は防げないので近所や地域とのつながりが大切だと思います。	男性	70 歳以上
・今まででよい。	女性	70 歳以上
<b>■矢留</b>		
・子どもの登校時の見守り強化。	女性	20 歳代
・毎年、水害が多く、うちの道路はここ何年も毎年つかっています。6月以降は、雨がひどい日は、また家の前がつかって車は大丈夫かと心配します。水がたまらないようにしてほしいです。（夜に雨がひどいと眠れません。）	女性	50 歳代
・津波などについて、また川が多いのにそれに対する対策について。具体的方法等の話、又は方向性に対する話が全くなく、もっと緊迫感を持って新しい考えを取り入れるようにする必要がある。	女性	70 歳以上
・鎮字の杜、小路、水路等の街灯を、増水の夜道の安全を守るためにも点検を増やしていただきたい。	女性	70 歳以上
<b>■両開</b>		
・水都柳川に似合ったまちづくり。水のきれいな。	男性	60 歳代
・市からの要請でお宮等にある大木の伐採。うす暗く、子どもたちが何をしているか、わからない。	女性	60 歳代
・空き家が増加し、若者の非行が増加しています。これらの住宅を低価格で貸与することを、行政がバックアップする。	男性	70 歳以上
・農業後継者の育成を図るなど県とタイアップする。		
・見回りを強化してほしい。	女性	70 歳以上



柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■有明</b>		
・犯罪を防ぐために、子育て世代のサポート。川にガードがないところが、まだまだたくさんあります。うちの家の隣の川も何もなく、街灯もないので、子どもが川に落ちないか心配です。	女性	40 歳代
・水路に落ちないように整備をしてほしい。	女性	60 歳代
<b>■中島</b>		
・昭和 28 年以来、柳川市は全市が被災する自然災害は発生していない。柳川市は人災、自然災害の少ない町である。もっともっと安心して住める町であるために防犯防災の施策、生活のための利便を高める交通体系の整備に努めることである。小中学校合併に伴う登校対応と共に住民の生活にも活用できるはずだ。	男性	70 歳以上
<b>■六合</b>		
・防犯カメラの設置、水害対策のための工事。	女性	50 歳代
・街灯の取り付け。 ・子どもを 1 人にしない。 ・民生委員さんを増員して、区域をよく知る（個人に干渉せずに）。	女性	70 歳以上
<b>■大和</b>		
・街灯。	女性	40 歳代
・水害対策のための公共工事。	女性	60 歳代
<b>■豊原</b>		
・水害対策のための公共工事。ただし、水辺等の景観性を重視したまちづくりが基本。	女性	40 歳代
・暴走バイクの騒音防止。	女性	60 歳代
<b>■藤吉</b>		
・水害対策のための公共工事。	女性	60 歳代
・市会議員の定数を 2 割くらい少なくしたら。	男性	70 歳以上
<b>■矢ヶ部</b>		
・生活が楽になるような対策を取ってほしいと思う。将来もですが、今の生活も。	男性	40 歳代
・水害対策として先行排水や排水ポンプの稼働、また遊水地の確保など。家の近所の川は大雨の時は、道路が浸水して困ります。	女性	70 歳以上
<b>■ニッ河</b>		
・住民同士のコミュニケーション。付き合いの行事や時間を設け、行政、住民の一体感、安全・安心感を持たせる活動をマスコミを利用し情報を発信すれば、若い住民が興味を持って増えると考えます。	男性	70 歳以上
・年よりが今さらいろいろ言っても、言ったことに対して「なる程ね」と言われれば話はわかりますが、何の参考にもならないと思います。	女性	70 歳以上
<b>■垂見</b>		
・最近暴走行為が多く見受けられるため、警察のパトロールが必要である。	男性	60 歳代
・定期的なパトロールなど。	女性	60 歳代
<b>■中山</b>		
・水害の時にもう少し補助金整備をしてほしい。	女性	60 歳代
・パトカーによる見回り。災害については、洪水対策、特に堤防など。	女性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
【問 28 推進していくべき取組「4. 雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり」と回答した人の意見】		
■柳河		
・観光業が不安定なものだということがコロナ禍で感じた。農業や漁業以外の産業の誘致を行わないと人口が減る一方だと思う。	男性	20 歳代
・企業誘致。	男性	30 歳代
・企業全体で、柳川を盛り上げる様な活動に参加したり、（就業時間内に月 1 回等）参加をリレー形式にし、様々な職種の方が何かしらの活動に携わることができるような取組みがあればよいと思う。（例えば、ひなまつりの時期なら、市内のひな壇飾りを行う。まりの飾りを行うなど、だれでもできるようなことです）。	女性	30 歳代
・企業誘致のために整備する。そのためには、交通機関の整備も必要。西鉄電車で通勤する人にとっても、駅の整備やバスなどもっと増やした方がよい。	女性	30 歳代
・企業誘致のための工業団地整備。	女性	30 歳代
・企業誘致をして、人流を活性化することで、柳川の経済発展を促す。	男性	40 歳代
・旧福岡銀行の跡地が、何十年もそのままになっている。町中になぜそのままなのか不思議。もっと空地等に誘致できるようにしてもらいたい。 ・柳川の旧線路跡も草が茂って何の役にも立っていない。佐賀県は、サイクリングロードにしている。高架下等も有効に使ってもらいたい。	男性	40 歳代
・補助金を出すと起業しやすい。	女性	40 歳代
・柳川市に住んでいる方は勿論のこと、市外から有能な人材を多く受け入れ、多様性豊かな仕事を誘致してほしい。水都やながわとは、別のイメージを生み出す施策を。	女性	50 歳代
・情報発信は SNS を活用していく方が若い方には見てもらえると思います。雇用がなければ子育て時代も若い人も生活できない住み続けたいと思ってもらえません。	女性	50 歳代
・企業誘致。	女性	50 歳代
・数年後に小中学校が統合すると聞いている。閉校となった学校の敷地に企業を誘致する。（コロナ禍でリモートも進み企業の本部も地方に移しているところもある）。	男性	60 歳代
・年寄り、長く住んでいる人、実力者だけに便利な町からの脱却がない。マナーもモラルもない閉鎖的な町に未来はない。	男性	60 歳代
・企業誘致のための工業団地整備など。	女性	60 歳代
・高齢者でも働く場所を増やしてほしい。	女性	60 歳代
・若者が地元で就職し次世代へと繋いでいけるような魅力ある街づくりの施策。	女性	60 歳代
・工業団地地域。沖端川、塩津川沿線地帯、商業地域、住宅地域。西鉄電車沿線。	男性	70 歳以上
・住宅の家賃が非常に高い。高齢者や若い人たちが住みやすい住宅づくりが必要かと思えます。年金生活者や一人住まいの人にとって安心できる住宅が必要かと思えます。	女性	70 歳以上

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■城内</b>		
・企業誘致。都市部との賃金格差是正。	男性	20 歳代
・わからない。	男性	30 歳代
・起業の場、小学生以下への医療費の無料化。	男性	50 歳代
・柳川商店街の再開発をして、起業の場ができて、その場で住み、子育てができるような一角に整備。	男性	50 歳代
・企業誘致につきる。	男性	50 歳代
・企業誘致と工業団地整備。	男性	60 歳代
・柳川の静かな環境の中で、リモートワークが最適な事をアピールし、県外からの企業を誘致する。	女性	60 歳代
・①柳川の特産品をもっと広域にアピール。②ぶどうなど評価は高いのに、収穫量が少なく出回らないので、もっと力を入れるべきではないでしょうか。広大な土地を利用できれば、そして人に投資する。それができれば、柳川に新たな魅力が生まれる。将来を見据えた計画がないように思います。現状維持や受け身では変化は生まれませんと思います。	女性	60 歳代
<b>■東宮永</b>		
・少子高齢化対策として有効だと思う。	女性	20 歳代
・企業誘致。	男性	40 歳代
・仕事がなければ子育て世代も集まらないと思う。	男性	40 歳代
・70 代でも活躍できる職場がほしい。	女性	40 歳代
・活用されていないコミセンを作ってしまう、各校区を市民に植え付けた後に、校区再編はありえない。中長期計画がない。雇用がなく、子育てできないので、住所は柳川にあるが、県外で生活しなければならない。	男性	50 歳代
・雇用を増やすあらゆる政策の推進。	男性	50 歳代
・企業誘致のための工業団地整備（若い人の流出を防ぐ）。柳川の観光業、産業（伝統）を発展させた総合的な起業を行う。	男性	60 歳代
・若い人は、高校を卒業したら、大学や専門学校へ行くため、市外に出ていき、ほとんどの人がそのまま都市に残るため、高齢者だけになり、人口減少。若い人が働ける場所を。	女性	60 歳代
・企業を誘致してそこで働く人を増やす。会社の事業税収入を増やし、個人の税金を減らす。	女性	60 歳代
・空家の有効活用等。	女性	60 歳代
・企業誘致しないと若い人は地元を離れていくと思います。市民税も高く柳川に住むメリットがない。自宅がある人は仕方なく通勤しているが、新居としては選ばない。空き家等を安く購入できる（条件付き）等の国、県、市で対策を考えないと人口は減るばかりです。	女性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■昭代第一</b>		
・雇用や起業ができる場を市報などを使用してアピールする。	女性	10 歳代
・あまり知られていないが特色のある事業・企業に関する情報発信。地域活性化に最も貢献している団体に関する金銭的援助。	男性	20 歳代
・企業誘致をがんばってほしいです。	女性	50 歳代
・柳川駅から続く商店街が活気がないので、観光客があちこちの店に顔を出したくなるような商店街になるとよいと思う。	女性	50 歳代
・雇用があつての移住だと思うので、人口を増やす取り組みが必要ではないか。	男性	60 歳代
・企業誘致のための工業団地整備。	男性	60 歳代
・広い土地があり、もっといろいろな業種の会社ができればよいと思う。	女性	60 歳代
・まず人口を増やす事。子どもの出産につき援助額を増やすこと。	男性	70 歳以上
・企業誘致のための土地整備、何社も誘致は望まず、1 社 2 社に集中して優遇策を検討する。	男性	70 歳以上
・空家の低賃金での活用。	男性	70 歳以上
・6 次産業を行政が支援して向上させていく。	女性	70 歳以上
<b>■昭代第二</b>		
・雇用を増やす為の企業誘致活動。	女性	20 歳代
・今までのキャリアを活かし、定年後にいきいきと働ける場所などがあれば。	女性	40 歳代
・雇用が増えるような企業が柳川に増えればよい。	女性	50 歳代
・子育て世代が住み着くようになるための企業誘致。	女性	50 歳代
・子どもが地元で働けるようなまちづくり。実家から職場に通えるようなまちづくり。	男性	60 歳代
・若者が居住する村をつくる。	男性	60 歳代
・企業誘致のための工業団地整備など。	男性	60 歳代
・商業施設を増やす。（仕事場を増やす）。	女性	60 歳代
・雇用者への空家利用の提供、団地空家の提供等、他。	女性	70 歳以上
・貧富の差をなくす。失業者がいない街。高齢者でも元気な方を雇用する。会社を少しでも増やす。怠け癖を付けないために生活保護者にも 1 日 2 時間位アルバイトさせる。無駄な税金を使わず有効に。	女性	70 歳以上
・企業誘致を積極的に行う。	女性	70 歳以上

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■蒲池</b>		
・若い人が働ける場を作る。	男性	20 歳代
・企業誘致のための工業団地整備など。	男性	20 歳代
・メーカーの製造工場や、陸上貨物会社の流通基地等の誘致を行う事が活性化につながる。	男性	40 歳代
・我々が考えることではない。それは市の仕事では。	男性	40 歳代
・企業誘致、水害対策のための公共工事。	男性	40 歳代
・フリーターや就職氷河期世代の人たちが活躍できるようにする。	女性	40 歳代
・企業誘致、農業・漁業の制度改革、公園整備。	女性	40 歳代
・高齢者の仕事の場を増やしてほしい。	男性	50 歳代
・企業誘致、大学・専門学校誘致。潟を砂にかえて、海水浴場を作る。	男性	60 歳代
・水郷柳川を利用した情報発信。住宅取得の補助金、水害対策のための公共工事、企業誘致のための工業団地整備。	男性	60 歳代
・工業団地をつくる。沿岸道路をみやまインターまで延長、沿岸道路を 2 車線にして拡大する。	男性	60 歳代
・子育て世代への活性化。企業誘致。	男性	60 歳代
・水都やながわを活用した情報発信、住宅取得の補助金、水害対策のための公共工事、企業誘致のための工業団地整備など。	女性	60 歳代
・企業誘致のための工業団地を整備し、柳川市の発展につなげること。	男性	70 歳以上
・今後の小中学校統合により使用しなくなる学校を有効活用する。例えば通信機器を整備し新規起業する法人を招く。そのために法人税を減税する（五年間）。	男性	70 歳以上
・企業誘致。	女性	70 歳以上
<b>■矢留</b>		
・税金が高く、物価の値上げもあり、給料は低く上がらず、生活するうえで生活苦で結婚もできず、子どもをつくと子育て苦になり、過疎化になるのは当たり前でしょう。給料を上げ、潤わせて支援サポートし、住みよい町にすれば子どもも増え活気が出るのではないのでしょうか。	男性	20 歳代
・空き地や空き家を安く提供する。	男性	30 歳代
・今後の高齢化社会（コミュニティバス、コミュニティタクシー）や子どもたちの遊べる環境づくり。	男性	40 歳代
・交通機関の整備及び利便性を向上させ、若い世代の人々が都市圏へ移動しつつも定住できる街づくりを行ってほしい。	男性	60 歳代
・企業誘致してください。	男性	70 歳以上
・若者が定着できるような企業の誘致、および地元企業の育成による若者が住みよいまちづくり。	男性	70 歳以上
・若い人等が市内にとどまるように市内に企業を誘致してほしい。	女性	70 歳以上

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■両開</b>		
・企業誘致。	男性	40 歳代
・具体的な施策は思いつきません。とにかく、ここ 2、3 年は、コロナのため、川下りや他の行事もほとんどなく、柳川市は静まりかえっていました。	女性	50 歳代
・水都やながわを活用した情報発信、住宅取得の補助金、水害対策のための公共工事、企業誘致のための工業団地整備など。まさにその通りの意見と思います。	女性	50 歳代
・私たちの若い頃は何とも思っていなかったが、今、周りをみていると、空き家が多く、残念です。	女性	60 歳代
・若い人、老人でも共にできる仕事の立案。	女性	60 歳代
・企業誘致。	男性	70 歳以上
・企業を誘致し、雇用を計り、市内定住者を増やす。	女性	70 歳以上
<b>■皿垣</b>		
・魅力のある仕事場。	女性	40 歳代
・若い人の働く場所がない。	男性	60 歳代
・統廃合後の小学校舎を起業の場所にして、利用しては。	男性	60 歳代
・有明海での海産物の養殖の事業化（魚、あさりなど）。	男性	60 歳代
・企業誘致のため、工業団地を用意する。企業誘致をアピールしてほしい。	男性	70 歳以上
・企業誘致。	男性	70 歳以上
<b>■有明</b>		
・企業が増えれば人口が増える。	男性	30 歳代
・知名度の高い企業の誘致。	男性	70 歳以上
<b>■中島</b>		
・店を増やす（若い世代向け）。	女性	30 歳代
・干拓など土地の有効活用。企業誘致、工業団地整備。	男性	40 歳代
・有効な企業誘致を行う。雇用を伴わない誘致等はしない方がよい。	男性	60 歳代
・企業誘致して雇用する。	女性	70 歳以上
・水害対策のための公共工事。	女性	70 歳以上
<b>■六合</b>		
・農地転用の推進による企業誘致、税金の減免など。	男性	50 歳代
・水害対策のための公共工事。企業誘致のための工業団地整備など。	女性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
■大和		
・ 公共事業を増やして雇用を増やす、起業しやすい環境づくり。	女性	10 歳代
・ 雇用できるような起業が少ない。又、年齢が高くなるにつれ、雇用する所が少なくなる。市等で、積極的に臨時年齢制限を考えて雇用してほしい。	男性	40 歳代
・ 若い人の雇用場所、近場や地元でと考えていてもなかなか仕事がない。若い人たちが興味を持ってもらえるような地域や仕事や行事など若い人たちを取り入れて行っていく。	女性	50 歳代
・ ポンプ場のポンプを馬力の大きな物にしてもらいたい（中島、浦島通りのポンプ場）。	男性	60 歳代
・ 今後成長が見込める企業の誘致。	男性	60 歳代
・ 住宅取得の補助金雇用や企業の場合があれば子育て世代が集まるのでは。簡単ではないが。	女性	60 歳代
■豊原		
・ 若い人たちが起業しやすいよう、市が協力したり補助金を出す。	男性	20 歳代
・ 時給が安い会社が多く、雇用条件のよい企業が多く誘致できれば人材が流れてくると思う。柳川市及び近郊の市町村の会社も賃金をあげざるを得なくなる	女性	40 歳代
・ 記述例にも書いてあるようですが、企業誘致のための工業団地の整備も必要だし、大企業の柳川への進出要請など、例えば食品会社誘致。その関連会社なども有効では。	男性	50 歳代
・ 雇用の場と賃金の値上げができれば。ただし、環境の維持（水都として）。	女性	50 歳代
・ 企業誘致のための工業団地整備。	男性	60 歳代

柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
■藤吉		
・ 問 25 で答えた事と同じです。	男性	40 歳代
・ IT 企業のランチを誘致し、IT が強い柳川を作ること。	男性	40 歳代
・ 空き家などを使用した場所による企業誘致や雇用の受け入れ。	男性	50 歳代
・ 大企業の誘致。	男性	50 歳代
・ 企業の誘致、西鉄駅東側に飲食店を誘致。道路の整備（電線を地下に埋め、景観を整備する）。	男性	50 歳代
・ ネット環境を整備して、市内に居住して仕事をできやすくすることで、都市部からの移住を促進する。	女性	50 歳代
・ 企業誘致、工場誘致、大型商業施設誘致。	女性	50 歳代
・ 大企業の誘致。	女性	50 歳代
・ 若者が定着できるように、安定した所得の提供が得られる職場を多く誘致する。	男性	60 歳代
・ 現在コロナ等で職を無くした大人が数多くいることで、今までの生活ができない家庭が多すぎます。そういう方にもっと仕事ができるよう、市が企業に補助を行い、職を与えてほしい。	男性	60 歳代
・ 企業誘致を行い、雇用の拡大を図る。	男性	60 歳代
・ 工場などの誘致。	女性	60 歳代
・ うなぎと川下りの観光プラス農業。	女性	60 歳代
・ 若い人たちが定着するような施策を考えてほしい。柳川駅から御花までの道のりに魅力的なお店、土産屋などほしい。スケールの小さい店が多いので中途半端。	女性	60 歳代
・ 観光地でありながら、宿泊場、ホテル等もっとたくさん増やして建ててほしい。そして、楽しい明るい活気あふれるまちづくりをしてほしい。	女性	60 歳代
・ 企業の誘致活動をし、雇用へとつなげてほしい。大企業が来れば雇用も増え人口も増え、それに付随して地域の活性化にもつながっていくと思う。ゆりかごから墓場まで恩恵を受けられる柳川にしてほしい。	女性	60 歳代
・ 企業誘致のための工業団地整備など。	男性	70 歳以上
・ 賃金の引き上げ。	男性	70 歳以上
・ 企業誘致と歴史、文化が両立して、働く世代が柳川市にとどまれるようになればと思う。	女性	70 歳以上
・ 若い人たちが働ける職場が増えたらよいと思う。大きい会社を作ってほしい。	女性	70 歳以上
・ 住宅取得の補助金や働く場所を確保。	女性	70 歳以上
・ 大手の企業誘致。	女性	70 歳以上



柳川市の今後の取組についての自由記述（問 29）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>■矢ヶ部</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客を誘致して消費や税収を上げる。</li> <li>・大河ドラマの誘致（立花宗茂）。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大手企業の工場等を誘致する。柳川市の歴史としては、外部から人を歓迎しない風土があったと聞いたことがあるし、現在も他からの移住者を嫌がる雰囲気は感じるのので、この土地で外部からの移住者を受け入れる教育等をした方がいい。外からの移住者を拒否してたら、市は衰退する。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川の町は意外と住みよいが、人口が減り、若い人が住みやすくてきたらと思う。企業誘致の方にも力を入れてほしい。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<b>■ニッ河</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の誘致をして働く場所をふやしてもらいたい。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗の活用、補助金などで安く借りられるようにすれば、貸主も助かるし借りる方も決断しやすくなる。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に企業誘致に取り組んでほしいです。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<b>■垂見</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄な事業をやめる（各地区にあるコミュニティセンターや駅前にある船乗り場を作る予定など）。街を観光エリアと住居エリアに区別しておく。維持管理に金がかかっている。</li> <li>・人が集まる中心となるまちづくり（ショッピングセンター等）。立地がバラバラで車がなければ行けません。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs に関する雇用、起業促進。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業団地で働く場を多くする。子どもたちが遊べるような自然を活かした公園等をつくる。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害対策のための公共工事。企業誘致。起業の場を創造するための場所の提供（起業カフェ）。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎指定になれば財源も減る。コミセンなどの公的機関に従事している方はボランティアで地域の清掃も子どもも学生も年寄りも元気な人は参加する。何でも市役所におんぶにだっこでは市の財源は持たない。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<b>■わからない</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の整備</li> </ul>	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事やショッピング街などで雇用が増えれば、そこに住む人も増えるし、税収も増えていき、一つの町ができる。コストコなど誘致してほしかった。</li> </ul>	女性	40 歳代

#### (4) 柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

問 30 柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご記入ください。

記述内容は以下の通り。

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】		
・交通機関が便利で、生活しやすく住みよい子育て世代を中心に老若男女の安全の支援、援助のある活力ある町づくりを願います。	男性	20 歳代
・市長トップの交代を強く要望。このままでは衰退が加速する。笑うだけの市長はいらない。	男性	20 歳代
・少子高齢化を若い人が無くしていく。柳川をもっと明るい町にしていく。	男性	20 歳代
・人々が集まる町にしてほしい。	男性	20 歳代
・まちづくりに関しては、どのような取り組みにしても地域の人が行動を起こす。人々を巻き込む仕組みが必要。行動を起こすには関心を持ってもらうことが重要。長い期間で考えると 10 代から 20 代を目標にするべきだと思います。私は佐賀市の公式インスタグラムアカウントをフォローしていますが、関心を集めるような投稿が多いように感じます。例えば「aruko-saga」。柳川は魅力ある街だと思うのでさらに活気づいてほしい。これからもよろしく願いいたします。	男性	20 歳代
・柳川市は水道代が高いと聞くので、安くしてください。	男性	20 歳代
・若い世代が定住できるような魅力あるまちづくりをしてもらいたいです。	男性	20 歳代
・私は以前、昭代地区に住んでいましたが、環境や景観に力が入っているのは柳河地区などの中心部のみで、昭代地区は以下の住環境に非常に住みづらさを感じました。掘割（クレーク）の汚れ、海苔の廃水による悪臭、下水が無い。佐賀空港の騒音、海苔の漁船による騒音。あと掘割の整備について、護岸工事の必要性は理解できるのですが、ただコンクリートで固めているところばかりです。生き物が共生できるようなタイプのもものが少ない（ほぼない）。水のまちを PR しているわりに、そういった環境保全の意識が低すぎると感じる。	男性	20 歳代
・近年、商業施設や住宅の建設をよく目にするようになり、嬉しく思います。しかし、子どものいる家庭が休日に楽しむことのできる場所があまりないと思っています。	女性	20 歳代
・周辺の市のようにコロナの感染状況が LINE で見られるようになると便利です。マイナンバーカードを作成する手続きを、大牟田市はイオンモールで、久留米はゆめタウンでやっていたので柳川もやってほしいと思いました。 ・川下りコースだけでも、もっと川の清掃の回数を増やしてもらってキレイになってほしいです。御花周辺が観光地とは思えないくらいに寂しい雰囲気だと感じたので、活気のあるような対策を考えてもらえたら嬉しいです。	女性	20 歳代
・職員の皆様には柳川市のためにいろいろな活動をしてくださり感謝しています。これからもよりよい町になるように期待しています。	女性	20 歳代
・福岡市のように夜間のゴミ収集。市営でドッグランをつくってほしい。ペットと観光を楽しみたい。昨年県外から引越してきて、もっと柳川市を好きになりたいです。よろしく願いします。	女性	20 歳代
・回覧板と市報の電子化。この書類（アンケート）その他にも電子化できるものは推進してほしい。	男性	30 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光業に頼りすぎ。生活が成り立たなければ土地には住めない。子育て支援はもっと細やかにできればよい。三世帯同居の世帯には税金の軽減又は給付金等があればよい（イギリスでは三世帯同居は優遇させている）。観光地を整備するのはよいが風情がなくなるのでほどほどがよい。若い方が働ける場所。企業は勿論、農業従事者に健全な業務運営ができる様勉強会やセミナーを開く。柳川の良いところは静かで落ち着いたときを過ごせる所。他の観光地のまねごとばかりしないように望む。もっと先を見据えてほしい。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園はいくつかあるが遊具が少なく古かったりして利用していない。公園で遊ぶとなったら大抵市外か県外へ行っています。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多すぎて困っています。私たちが今後担っていくには、心配です。子どもの数が少なすぎます。給料も少なく、生活が大変です。子ども 3 人 4 人育てるの大変です。空き家も多くなってきています。猫、犬、たぬきが住み、白アリ被害もあります。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が市に定住したいと思うようなまちづくりを希望します。また、市外者がリピートして柳川に来たいと思うようなまちづくりを希望します。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の立地や機能が悪いように感じる。利用者の意見は聞いているのか。ゴミの収集は、福岡市のように、夜間に行ってはどうか。畑焼きせずに済む方法を、例えば企業と提携して探してほしい。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定ゴミ袋の大きさを少し大きくしてもらいたい。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人になった子供が柳川に住みつづける施策。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野良猫や雀などの対策（かなり困っています）アスレチック場や公園子育て施設を増やす。柳川での仕事が少ない。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の金子市長がいる限り、絶対何も変わらない。今すぐにもやめてほしい。子育てというが他の市に比べ柳川の評判は、悪すぎる。保育料が高い。給食も所得に応じて変える必要がわからない。みんな平等でよい。何に対してそんな自信を持って「子育て充実」みたいなことを言っているのかわからない。全く思わない。コロナ陽性者の支援も自費で買物代行とか意味不明。ケチるな。こっちが真剣に書いても何をどう書いても、市長が代わらないなら私たち声は届かないアンケートにかかったお金も無駄です。こちらは仕方なく柳川市民だけです。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市にワクワクするような公園（子どもと一緒に楽しめる施設）を作してほしい。高畑公園や物産公園の遊具をもっと充実してほしい。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活気のあるまちづくりを本気で考えているのならば高齢者の優遇はほどほどにして若い世代が住みたい住み続けたいと思う街にしなければいけないと思う。子育て世帯限定の市営住宅を用意するとか、出産祝い金がやなほ 1000 ポイントなど、ふざけているのかと思います。出産して祝うなら現金を給付する方がありがたい。これから作っていくのは高齢者ではなく若い人、子どもたちです。口うるさいだけの先人方を大切にしているだけでは先はないと思います。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代～お年寄りまですごく優しい町だと思います。子どもたちが愛着を持てる町になっていけるようなサービス、イベントの企画などをこれからプラスでやってほしいです。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが遊べる場所。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの分別がしやすいように、アパート等の狭い所でも、ゴミ袋を何個も設置できるようなアイデアやオシャレな製品があれば取り組みやすい。①燃やすしかないゴミ、②プラ、③ペット、④ビン、⑤カン（アルミ）、⑥カン（スチール）、⑦電池、⑧割れと、何個も袋を用意しないとイケない。スペースがない所では分別しにくいです。</li> </ul>	女性	30 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後児童手当の取り扱いが変更になるという通知が来ました。共働きのため減額又はもらえなくなるのではと思い残念です。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もうすぐ転勤で柳川を離れるけど、3 年住んでみて柳川がとても好きになったから、がんばってほしくていっぱい書きました。こういうアンケートはいつもマルだけですが、観光で呼ぶには限度があるし、郷土の歴史はすてきなことだけど、それは柳川に住んだら勉強したくなるし、水郷だから柳川に移住しようとはならないので、先にごこの市もやったことないびつくり政策をして目立ってほしい。都会を離れたい人はいっぱいいる。仕事があれば住める。そんな話し合いを若い人もたくさん入れて話すべきだと思います。がんばれ柳川。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市に古い家が多いように感じる。若い子育て世帯が新築したくても場所がない。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大和町など広い土地に道の駅と子どもの遊び場などが一緒になった施設があると嬉しい。駐車場は広く止めやすくしてほしい。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT 企業誘致し IT に強くなる。もっと子育てしやすくする。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 川下り等の観光を中心としたまちづくりもよいが、柳川の新しい目玉となるような物を常に発信し続けられるようなまちづくりをしてもらいたい。大川、大木町のような、子どもを育てやすい環境に魅力を感じる。新しい市民、移住者を増やし人口増加、税収増につなげて行かないと柳川は過疎化が進むと考える。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て等で支援されているが、年収に応じて金額の支給等を考えてほしい。支援の必要ない家庭への給付は必要ないと思います。また、支援の必要な家庭は高校生まで医療保証する等、父・母子家庭だけでなく、年収によって区別してほしい。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市議員の定数を 4 人から 5 人減らしてその分給料を上げて仕事をしてもらうようにしていただきたい。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に子どものいる家庭の手当て、遊ぶ施設、クーポンなどあれば、地元に残りたいと思うのでは。店も少ないし、食事するところも少ない。家族で遊べる所などあればもっとよいと思います。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ また、子育て世代をサポートすることも大事だと思うが、お年寄りの人口が増えるので、お年寄りのサポートをしっかりと行う町として柳川を宣伝し、老後は柳川に住みたいと思ってもらうことも必要だと思う。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安心、安全な町づくり。隣近所の声かけ。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うきは市を見習ってほしい。すべてにおいてすばらしい（取り組みなど）。視察に行くべきだ。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生まれ育った大好きな柳川が今後よりよく発展することを期待します。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者が運転免許証返納と言われているなかで、近所にスーパーがないところには移動販売やあいのりタクシーなどの利用はできないでしょうか。コミュニティバスでは、時間や日時指定がありほとんど利用できず、逆にもったいない気がします。子どもがいる家庭ばかりに目がいきがちですが、働きざかりの 30~40 代にも目をむけてほしい。近所に身体障害手帳 1 級を自慢されている方がいますが、普通に車を運転され出かけています。障害や生保認定などもう少ししっかりしてほしい。自分たちに負担ばかりしいられると柳川に住みたいと思わなくなります。</li> </ul>	女性	40 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅など綺麗に建て変わり、初めて訪れた人は良い印象を与えたいと思います。大和庁舎は古く、駅との差に驚かされる。観光客に意識を向けるより現在の住人の方が大事だと思います。観光業に頼るより別の方向へ舵を切ってもらいたい。図書館も民営化でなく利用者の少ない所は閉鎖してよいと思います。人件費もありますが空調代、電気代など結構かかっているのでは。特に水の郷、両開、雲龍（代わりに本を載せたバスを巡回させ貸し出しできる）。職員の方の方が問題点、良いところをよくご存じだと思うので職員の方全員にアンケートとしてはどうですか。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光ばかりに力が入っているが、コロナ対策や道路整備等もう少し市民の目線にたった行政を行ってほしい。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 危機感を持ってまちづくりに臨んでいただきたい。駅前からの川下り水路の建設には首をかしげます。将来的には負の遺産となってしまうと思います。そうなった場合、子や孫が税金として負担していかなければならないと思います。子育てがしやすいまちづくり。いろいろな県や市の義務教育の間の医療費無償化や教育費の補助など、もっと実際に成功している地域のやり方等を勉強しては。川下りだけ取り組んでも宿の問題や観光等に力を入れない限り柳川にお金は落ちません。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このアンケートでは「問い」のみですが、「なぜ」そう思うのか、理由を聞くべきではないでしょうか。理由がわからないのに何か改善策がでてくとは思えません。せっかくのアンケートなのに。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民プールを持っていないのは残念です。暑い夏場に、子ども達が気軽に安心して過ごせる環境の一つとして、あれば嬉しいです。一年中楽しい行事（文化的、運動系）が行われ、多くの人が集う機会が大切かと思えます。財政的に難しいとも思いますが、よろしく願います。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化問題についての取組みが大切だと思います。海外からでも人の移住を増やすべく何かしないと過疎の一途をたどると思えます。グローバル化。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少しずつ教育や子育てに力を入れ始めてくださっていることが伝わってきました。ぜひ未来を担う子どもへの投資をよろしく願います。子どもたちが「ふるさと柳川」を大切にできるよう、私たちも今できることを協力していきたいと思えます。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西鉄柳川駅周辺に有料の駐車場を増やしてほしい（西口が少ない）家族で外食できる飲食店（チェーン店）を誘致してほしい。共働き世帯には助かります。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市は観光に力を入れています、町民からすると、観光で利益を得られているようには感じません。結局、海苔、農業が多いのが現状のように感じます。それなのに、道の駅などはなく、もう少し観光だけでなく、市民がどうやって生活をしているのかをよくみてもらい、それを助けていただければ、人も増えてくると思います。それでなくても、会社など企業も少ないので、生活スタイルは農業などになります。大木町、大川などと比べると、市民税も高く、農業支援も少ない。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川はとても美しいまちだと思います。しかし、公園などが少なく、子どもがもっと公園がいろんなところにあったらよいといっていました。もっと親子が健全に遊べる環境（場所）があればうれしいです。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりよいまちづくりのために意見を出し合う場を設けてくださりありがとうございます。温かい、大好きなまちです。様々な取り組み対応などいつもありがとうございます。いろいろな立場の方の意見に耳を傾け、手を取り合っていける明るい街であり続けてほしいです。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部地域だけが、人口が増えているので、分散して開発してほしい。駅前の川下りの工事はやめてほしい。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市の中心に子どもが遊べる公園を整備。例えば、小学校の統廃合で使用されなくなった学校跡地を公園に整備するなど。</li> </ul>	男性	50 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・①上記と同様。②市としての活動、市議会等の内容がひどい。暴力団まがいの議員等排除し、クリーンなイメージを出すこと。③周辺市町村から「柳川は」と言った話をよく聞く。もっとまじな市政を望む。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT を使い、人・金・物を有効に利用する。個々の住民に対する公平なサービスの提供。過疎に対する中長期的な計画の策定と予実開示をしてほしい。市民を公募活用した各種取り組みのレベルアップ。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政手続きがほとんどスマホで完結できるようにしてほしい。市税等を楽天銀行で引き落としできるようにお願いします。有能な人材が柳川市で働くことができるような雇用機会の創出。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の住みやすい町づくりを検討してほしい。例えば、高齢者が徘徊した場合など、市全体に情報を流して早急に発見できる体制をつくる。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てで支援で子育て世帯に選ばれる町づくりを期待します。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもを増やすシステムを構築してほしい。子どもに対する助成金等をもっと充実させてほしい。柳川は住みやすい市だと思うので、これらを充実させれば柳川に転入する人もいるのではと思う。現に日本国内で成功している市町村があると聞いたことがある。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政赤字をなくして下さい。未来のために。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所の各課の対応が悪い。以前、自宅の水圧低下の原因を調べるため、水道課に水圧の確認を依頼したが断られた。担当者から水圧は確認済の一点張り、各地点の水圧データ記録表を見せてもらえなかった。市民への対応が悪く、柳川市は住みにくくなってきている。このままでは、人口は減るばかりではないか。市民の満足度をどのように上げるか、職員（管理職を含む）の教育を含め考えるべきではないのか。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員が多すぎます。何もしていません。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口が増えてほしいです。若い人たちは、柳川は何もメリットがないと言います。子育て世代を中心に考えてほしいです。安全なまちづくりも大きな建物は必要ない。柳川はゆとりがないのに建物や必要がない物にお金がかかる。今柳川に住んでいる人たちが住みやすい町にしてほしい。コロナ禍でも柳川は何もなかった。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次産業の法人化。雇用の場の確保。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 働きやすい環境を。職がなければ住めない。職員教育をしてください。市役所へ行っても不愉快になって帰ってくる人が多いです。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プールや公共グラウンド（野球やサッカーができる）がなく、子どもの可能性を引き出せる環境が乏しいと思う。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市に住んで 30 年知人に川下りを進めたことはありません。遊歩道を歩いても川下りコースが美しいとは思いません。駅前開発が実行されていますが観光の目玉でもある川下りコースを素晴らしい景観にし、市内の京町通りの電柱を取り除き美しい街並みを数年かけて作り上げ柳川にまた行きたいと思われるまちづくりを真剣にやらなければならないと思います。市民が喜ぶ行動をお願いします。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市に長期間、住むには自然が豊かでよいところですが、若者が住むには、大都市圏に比べれば、交通網は悪いし、雇用の場が少なく、皆県外に出て行っているのが現状だと思います。家の子ども 5 人中 3 人は、残念ながら県外に雇用の関係で柳川市より転出しているのが現状です。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市民が柳川でお金を落とすようになるようなまちづくり。例えば柳川の名産を観光客が買うだけでなく市民が他県に出て行った人に贈りたくなるようなシステムづくり。</li> </ul>	男性	50 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代から30代の若者世代が住みたいまちづくり（若者の意見も取り入れる）。福岡まで1時間で通える立地を活かす。起業のための支援（古民家、空き店舗の改修、補修）。縦割り行政ではなく、各課が連携した取組みが必要。仕事をしながら子育てできる環境の整備。実現は難しいかもしれませんが、一つ一つ変化していけば「住み続けたい柳川市」になれると思います。期待しています。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型スーパーなどの店舗がほしい。大きなスーパーがないため大牟田や久留米、佐賀へ行くことが多い。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・害鳥、カラス、スズメの駆除をしてもらいたい。田んぼの野焼きを禁止してもらいたい（ぜんそくがでます）。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみの有明ひまわりセンターが新しくなったのはよかったです。前は月に1日第3日曜日に持って行けたのに、日曜日が受け入れできなくなり、日曜日しか休みが取れない働く世代は大変困っています。とても住みよい町とは。行政の総合手続きなど毎2から3月に1度でもいい（日曜日）ので働く人が住みやすいと思えるように（今は3月はあると思うのですが）なればありがたいと思いました。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下り観光は必要ですがそれだけに頼らない産業（地域や同業種で連携できる）があればよい。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧北公民館のそばにいいの場みたいなのがありますが、老人がたむろして、自分たちのもののようにたばこを吸ったり、イスを置いたりしているのをどうかしてほしい。（マスクはしていないし）</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンセンターのおじさんたちの対応が悪すぎる。クリーンセンターで大型家具を分解せずに出せるシステムにしてほしいです。（例）ベッドのマット、タンス、ソファなど。金具などをはずす人を雇ってほしい。無選別で引き取ってほしいです。お金はちゃんと払います。市役所に対応の悪い人がいます。教育を徹底してほしいです。よろしくお願いします。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは、高齢になるので、高齢者にやさしい町にしてほしいです。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近NHK大河ドラマへの誘致や観光などは活発化しているように思えます。駅周辺はかなり街化していると思う。マンションやアパートが多くなったが、固定して住み続ける人がいなければ、空き家もまた増え活力がなくなってしまうので、職場が、少々遠くても柳川に住みたいと思わせるようにしなければならぬと思う（そのためのアンケートでしょうか。）。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外からの来訪者の目にふれる観光エリア以外にも街の景観がよくなるような整備をしてほしい。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分さえよければよいと思う人が多い世の中、地域のつながりがよくなると、よい街、市になっていくと思います。難しい問題ですが。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校跡地の活用が気になる。</li> </ul>	女性	50歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問28にあるように、子育て世代へのサポート、雇用や起業の場の創出などで他地域から流入しやすい環境づくりに努めていただきたい。私の地域では地域の方の通夜、葬儀の際に、葬儀場での受付に出なければなりません。何のためにお金を出して葬儀場でやっているんでしょう。仕事を休んで出かけなければなりません。こんなことはもうやめませんか。地域のしがらみや慣行を無くし、他地域から流入しやすい環境づくりができないものではないのでしょうか。そうでなければ、もう考えの違う若い世代を呼び込むことができないのではないのでしょうか。「スマートな地域社会」を目指してみてもどうでしょうか。</li> </ul>	女性	50歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が一番。車社会なので大きい道だけではなく奥にまで目を向けてほしい。早く対応しているのは力がある街、区だけではないか。皆税金を払っている。均一に対応してほしい。役所など、平日だけでなく土日祝も対応してほしい。土日祝しか利用できない人も多くなってきている。できないのであれば平日を長めに。5時までには仕事で行けるはずない。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック類を分別するようになり「燃やすしかないゴミ」が減りました。プラスチック類の回収が月 2 回しかないのももう少し回数を増やしてほしい。収集車の方々は「おはようございます」と挨拶してくださり気持ちいいです。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりとは関係ないかもしれませんが、婦人会の強制加入にとっても困っております。子ども会をやってやっと卒業できたと思ったら次は婦人会。65 歳になると部長、副部長と役もまわってきます。災害などを考えると必要なかもしれませんが、個人個人で事情（体のことや家庭のことは話をしたくありません）も違うので「強制」はやめてほしいと思っております。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水が美味しくない。黒い物が混入している。柳川に住んでいる人たちの平均年収が少ない、大企業もない。これでは若者は都会に出て行くばかりで過疎化は避けられない。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の子どもたちにもっと支援する対策をとってほしいと思います。保育園にもっと補助金等もつけて、保育士もギリギリの定数でなく余裕のある人数で保育をしないと安全が保てません。若い世代がここで子育てしたいと思うような町でないと過疎化すると思います。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市内の工事関係は市内業者へ受注していただきたいです。工事関係の車のナンバー等を見ると他市、他県が多く感じられます。と他の方々によく話しております。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川には学校があるので市で学生会館のような（家庭的な）寮を運営し都会から生徒・学生を呼び込めるようにし、柳川周辺や福岡県に就職できるように住みやすさを感じられるように若者へ発信できる企画を考える。また、空き商店街に学習室を作り元教員や学生の力を借りて小学生・中学生向けに学習サポート教室を開催して教育の底上げと人とのふれあいつながりの場としてはどうだろうか。さらに、干拓地（ムツゴロウランド以外の）整備をし、キャンプ場（グランピング含む）にしてはどうだろうか。有明海に沈む夕日は心を癒やす風景だと思います。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川町おこし隊とその事務所をつくってほしい。ボランティアのアクセスをわかりやすくしてほしい。参加しやすくしてほしい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は生まれたときから高校まで柳川で過ごし、東京へ行きました。大人になり子どもが生まれ柳川の魅力を感じ引っ越してきました。子どもたちがそうではなく、柳川を愛し、地元（小学校）愛があり、地域に残り就職をしています。現在子どもたちがコロナ禍で閉鎖的な中で生活しているので、開放感ができ、楽しく過ごせることが柳川の将来になるのではないのかなと思います。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こっちは節約生活しているのに文化会館に夜明々と電気ライトアップされているともったいない。誰があ場所を夜歩いて集まっているのですか。私たちはなるべく消して生活しています。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のゴミ袋が高い。物価高袋で利益を出しているしか思えない。ゴミ収集に関して行政は他市に遅れている。サービス最悪です。業者が上を向いて市民対応の目線まで降りていない。業者を改めて選び直してください。税金をもらっているのに、今の業者はよくない。ゴミ回収の後は、カラスが荒らしたゴミはそのまま、全く拾っていかない。他市はほうきとチリ取りで、どんなに小さなクズでもきれいにしている。格段の差。車が発車してすぐ、まだ 1m 位しか進んでいないが、止まってくれない。ひどい。市で指導はできないのか。</li> </ul>	男性	60 歳代



柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空家対策として、高齢のため住まなくなった家の解体を市が補助して、移住者への土地の活用をしてもらいたい。又は市へ譲渡できるような対策も考えてほしい。最近、空家が多く、不審な火事などが心配です。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家対策の更なる推進。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>今の生活は本当に厳しいものです。行政がもっと我々のほうに力をそそいでほしい。それにより、柳川市全体も元気が出るのではないかと思います。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>役（宮総代・納骨堂・公民館等）になる方が少なくなっています。（年寄りばかり）なので市外から柳川市への移住者が増えるような施策、例えば上記、問 28、29 の子育てしやすいような柳川市になってほしい。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな変化を見せつつある世界そして日本。長期的ビジョンが必要と感じます。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>外観的な整備だけでなく、実質的、実効的なまちづくり施策を行ってほしい。目先だけでなく将来を展望した施策を行うべきではないでしょうか。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>川下りのコース等で、ゴミを見受けるときがあるので、清掃を徹底した方がよいと思います。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に優しい、人に優しい、柳川市が末永く続いてほしいと心から願います。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ばかりに力を入れるのではなく、地域住民の為の政策も考えていく必要があると思う。若い世代が都市部に行く現状を把握してほしい。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>干拓地、及び有明海での発電事業（太陽光発電、干満差による潮流発電）。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧柳川市、旧三橋町、旧大和町にとらわれた校区割りの解消が必要ではないかと思う。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用や企業の誘致等働く場がないと人は集まらないと思う。子育て世代のサポート（実際行われているかもしれませんが 15 歳まで医療費や給食費無料）を行い若い人が子育てしやすいようにする。財源としては議員や市職員の定数の見直しをするなど予算の使い方をしっかり考えてほしい。旧柳川市内の商店街もシャッターが下ろされ閉店している所も多く寂しく感じる。街の所々の史跡に説明が書かれているところはよいと思う。テレビで関西の街であったと思うが議員などの定数を 120 人から 90 人に減らし財源で子育てに当てている事例を紹介していた。いろいろな情報を精査し柳川に住みたいと思う人を増やして行けたらと思う。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>市が農業漁業と協力して、環境改善に取り組んでほしい。特に水関係の環境は、年々悪化しており、有明海や喫水域の生物はほとんどいなくなっています。もはや有明海の干潟は潟ではなく、ドブになってしまっています。トビハゼやムツゴロウ、いろいろなカニなどの生き物を取りもどしてほしいものです。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の町並みや道路整備、河川の堤防の整備を進めてください。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民性があまりに閉鎖的で暗い。いばって恥ずかしがり。なめるかなめられるか。一事が万事で「よかつさん。どうあろうかん」ばかり言うことは、一時的自己幸福なわがままであり「おもてなし」なんてない。未来的思考や思いやりがない証。マナーやモラルは悪いと言うより無いに等しい。車社会は中央線はみ出し運転、スーパーの通路は中央を歩く、最初から 50、50 で行けばよいのに、スムーズを考えていない民族。道路や花壇の保全活動がまるでなく善人任せ。雨の日や風の日、障害者、荷物過多の人を考えない駅。切り通しの西口車社会の人が考えた構造。最初からわかっていたはずの図書館の異常な多さ。統合でよい。若者が残らないから未来はない。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが住みなれたところで働く。長く元気で暮らす。安全・安心な暮らしができる、これにつきますと思います。</li> </ul>	男性	60 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土木工事は本当に必要なことだけやってほしい。無駄な工事は業者のためにやっているとしたか思えない。高齢者へのサービスにお金を使いすぎていると思う。それよりこれから子どもや若い人のためにお金を使うべきだと思う。若い人が安心して生活できる施策をやってほしい。今回のアンケートが活かされて柳川市が変わった。と思えるようになることを願っています。本気でやってください。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水のきれいなまちづくり。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 柳川市から出なくても、仕事、子育てなどが快適にできるようにする。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化で、病院、介護医院、葬儀場が多く、高齢者の年金により、老人大将の町になり、若者には魅力がなくなり、通勤等、すべてにおいて福岡市に劣る。地域の清掃、ゴミの回収の役割において 20 年以上遅れている。久留米市、大牟田市においても、市職員が市外のこと、行政システムを知らないから、広域人事交流をするべき。県外へ。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代の生活しやすいまちづくり。医療費、教育費、住宅支援等。専門学校、大学等の誘致。若い世代の人口が増加しないことには街の活性化は厳しいと思う。若い世代が増加すれば子どもも増えるし人口増加になれば大型ショッピングセンター等が進出してくると思う。特に大学等ができればより早く実現できると思う。空き店舗も若い世代が増加すれば若い人たちが起業のきっかけの場になり商店街等が活性化できてくると思う。その補助の支援等、川下り一本では限界があり一部の活性化しか望めない。又、国営水路等でのイベント企画で昼間から夜の他の街からの参加によりいろいろな商業チャンスを提供できる場となると思います。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者が住みやすいまちづくり。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い人が働く場がない。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家の利用。最低何年かは住んでもらいたい。家賃無料等。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今現在、核家庭が多くなり、親子で住む所が少なくなったため、空家が多くなった。高齢者の家が多くなって、家の手入れができないでいる。家の廻りは草々、木々などのび放題。この為、若い人たちが引っ越して生活することは考えられない。この柳川は空家が多いため、これを第一に考えるべきだと思う。柳川市はこの空家に取り組んでほしい。安全、安心でも住めない。子育てどころか子どもも減っていく。考えている場合ではない、行動してほしい。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今住んでいる人たちが柳川に住んでよかったと思える支援を。ゴミの減量について、分別がわからない。面倒くさいという人のために地域の公民館単位で（足を運びやすい地域で共に取り組めるメリット）学習会を行う。生ごみ処理機の無料貸出をもっとたくさん（環境問題は特に大切）。以前話題になった他地域の「すぐやる課」など市民の声に耳を傾けすぐに行動できる人材と予算を確保する。多様化する子どもや家庭の実態から今の 40 人学級は問題に対応できず子どもが置き去りになってしまっている。30 人学級を。柳川市民が過ごしやすければ自然と移住者も増え、活気も生まれてくる。「燃やすしかないゴミ袋」のネーミングは素晴らしい。未来のために今できることを独自に個性的に取り組んでいけば柳川はもっともっと住みやすくなると思う。市役所職員の方々の「本当に柳川をよくしたい」という思いを信じます。共にがんばりましょう。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美しい町にしてほしい。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お年寄り中心の行事や施設は多いが若い世代や子ども向けの施設が少なすぎると思います。公園を増やす、プール等の施設を作る。スポーツ施設を作る。もう少し子どもの声がするまちづくりをしてほしい。</li> </ul>	女性	60 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>川下りコースは、毎年清掃されていますが、その他の川など汚く臭いもします。川下り観光も大切ですが、観光地としては廃れていくだけです。柳川市に小学生が集える、中学生、高校生が学びを深める場があれば。子どもたちが生き生きとできれば、せっかく柳川市には名門校がそろっているのを考えると、これからの人たちの環境に、特化した魅力が生まれれば、人の流れは変わってくるものと思います。ハリボテのお城などいりません。その税金を生きたお金に使ってほしいと思います。乱筆乱文をお許してください。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光に力を加えているところがよい。まずは1人1人がひとつでも柳川の良いところを探して認めること。無駄な経費を使わないようにする。今回のアンケートも経費がかかりすぎと思う。ハガキはいらないと思います。まずは節約。市が無駄をなくして、アンケートをとるならば広報誌に掲載すればよいと思います。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、雇用や企業が後回しになり、観光にふり回されているような気がします。もう少し若者が働きやすい場所を、お考えいただきたいと思います。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自由に安全に遊べる施設や公園を作ってほしい。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者も共有できるコミュニケーションスペースができれば良いと考えます。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>婚活の取り組み。以前、市報に載ってきていたので、再び取り組んでいただきたい。柳川で生活したいと思う人が増えるのではないのでしょうか。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、柳川市の校区の再編成が計画されているとの話を聞きます。常識的にみてもとても信じがたい内容でした。声の大きい人の意見だけでなく、小さな声にも耳を傾けて、不公平を無くす。その為にも計画を白紙に戻し、作り直すべきだと思います。アンケートの趣旨とは違うかもしれませんが、書かせていただきました。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>全国をさがせば、似た環境で「成功したまちづくり」の市町村があると思う。よいところを学び、税金を使って出張してでもその市町村がどのような対策を取ってきたか勉強してきてほしい。観光ではそれなりの成果はあるかもしれないが、コロナになり、観光だけではたちいかない。二本柱、三本柱で未来のやながわ目指して幸福度 No1 の市町村にしてほしい。ぜひがんばってください。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止の一例として麦のワラを燃やさず、トラクターですき込んだりして処理しています。佐賀県と比べ助成金が三分の一位と聞いています。もっと上げてもらえれば、もっと燃やさない農家が増えると思う。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン、インターネットの講習会など（簡単に）60歳以上の参加。勉強できたらデジタル化に興味を持つような気がする。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>不必要な建物など建設しないこと。建設費用も維持費もかかる。歩行アプリなどをつくり、一定以上歩いた人にはポイントを与えて、何かもらえるようにする（医療費の削減）。駅前に船乗り場などつくる必要はないと思う。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>保育料、2人目以降、所得に関係なく無料。医療費、18歳まで無料。給食費は中学まで無料。子どもが安心して遊べる場所を作る。地域で見守る。教員を増やす。スクールソーシャルワーカーを増やす。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なことから始まり老若男女ふれあいから子育て世代にも関われると思う。できた物は商品として販売すると財布にもやさしいと思う。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>柳川市内ばかり発展させず、三橋町、大和町の不便さも、今後高齢化するばかりで不自由な思いをする人が増えることを改善してもらいたい。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>柳川の町は好きですが、観光に来てくれている人は、本当に魅力的に映っているのかと思います。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>若い世代や女性の意見を聞き取り入れていく姿勢が見られない。議員の年齢があまりに高く新しい事に挑戦していく活力がみられない。議員の定年制を望みます。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>若者や高齢者が一緒に楽しく働ける場所を作ってほしい。</li> </ul>	女性	60 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
・おもてなしよりコロナの現実の解決法を知りたいです。	男性	70 歳以上
・よその町の事例が、柳川に合う形にできるものはないか。市民運動公園がほしい。若い人が働ける場がある事（企業誘致を急ぐ）。観光はほどほどで良い（中心部だけの利益）。子どもが暮らしやすいような企画。犯罪の少ない町のアピール（良い点をアピール）。	男性	70 歳以上
・親子で遊べる公園等を充実してほしい。	男性	70 歳以上
・学校跡地利用の問題、クリーンセンター跡地の問題	男性	70 歳以上
・学校再編計画を説明中であるが、現状再編計画は妥当であると思われるが、学校教育課だけでなく、柳川市としてどうあるべきか総合的に考えてほしい面もある。	男性	70 歳以上
・学校統合等大変な時代と思いますが、がんばってください。人口減について取り組むのが遅すぎると思います。現在の状況はもっと早くわかっていたはずですが。	男性	70 歳以上
・観光だけに頼らないまちづくりをしてほしい。子どもや孫を連れて他の街まで行かなくてよいような施設がほしい。もっとたくさん遊び道具等のある、楽しい場所があったら、子育て世代の人たちも喜ぶし、若い人が柳川に住みたくなると思います。	男性	70 歳以上
・個人的な意見ではありますが、区長（役員）の後任者選別に苦慮している。	男性	70 歳以上
・指導する人、何もしない人、いろいろいる中でボランティアとか各関係団体などの輪の広がりなど進めていき、だんだん大きな輪になるようにしたらよいと思う。	男性	70 歳以上
・人口減少について、市の活動、及び議員様、多大な活動をお願いいたします。また、婚活イベント等を多くして。	男性	70 歳以上
・スクールバスの無料化。	男性	70 歳以上
・総合計画の 4 つの目標には同意するが、特に 4 の地域資源や産物を誇れる仕事づくりが大事であるとする。地元産業があつてのことであり基幹を失えばすべてを失う。	男性	70 歳以上
・長い間住み慣れた柳川です。柳川に住みたいという柳川にしていきたいと思えます。	男性	70 歳以上
・三橋町、大和町等、柳川市であっても田舎過ぎる。柳川市のお祭ばかりして町のまつりもやってほしい。川下りも駅前乗船などしないで町の散策をしてほしい。川の藻ばかり切っても川は浅くなるばかり。たまに水門を開けて水の勢いで川底を深く掘り下げればよい。田舎で自然があるから公園はいらないというのはおかしい。公園がないからお祭りするところもない。役所の近くに行っても子連れで休むところもない。憩いの場所がほしい。散歩に行ってもベンチもない。三橋町に愛をください。	男性	70 歳以上
・柳川市の観光の方にばかり力を入れなくて、大和町の事を考えて、少しはよくしてほしい。	男性	70 歳以上
・柳川市の高齢化率は資料によると 34.7 パーセントとか。収入は年金。これから先を考えると不安だらけ。高齢者が安心して暮らせるまちづくりを大切をお願いする。	男性	70 歳以上
・若者が生活しやすい税金、子育てに十分な補助、老人の孤独化を取り除き、周りの人々との話し合いの場の確保と若者との交流の場を設けることの必要がある。	男性	70 歳以上
・若者の減少が著しく、将来像がなかなか描けないなか、問 29 で答えた施策が必要と思う。空き家が多く、観光の景観もよくないように思えるので、難しい面も多々あると思うが、条例等を絡めて問題解決を図ってほしい。	男性	70 歳以上
・市議会議員にはさらに勉強してまちづくりに真剣に努力していただきたい。議会で質問もしない議員や建設的な意見も発表もできない議員は柳川市のために働いているとは思えない。	男性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
・空家、廃家が目立つので、市が管理し、若い方を誘致し、住宅管理させる。あるいは、取り壊し、市民畑として貸し出す。	女性	70歳以上
・リノベーションして、お店、宿泊所として売り出す。	女性	70歳以上
・広い場所は、お年寄りのいこいの場所、公園として利用する人に管理させる。	女性	70歳以上
・京町通りをアーケードにして観光客が歩いて、魅力的なお店作りをする。 ・船下りの船頭さんのマナー向上。 ・お店の大きな宣伝の看板、旗等見苦しい。	女性	70歳以上
・明るい商店街を築いてほしいです。	女性	70歳以上
・安心安全で人に優しいまちづくり。	女性	70歳以上
・学校の集約があるようですが、もっともっと集約していかないと先が見えない。とりあえずではなく、10年、20年、30年先（＝子どもが親になる世代）にどんな地域になっているかを見据えてまちづくりをやってもらいたい。今のプランニングは数年後にすぐまたプランを練り直さなければならないのではないかと思う。	女性	70歳以上
・結婚していない人が多すぎる。市が何か力入れて良い方法を考えてほしい。	女性	70歳以上
・公民館費を隔月払っているが、銀行引落しにできないだろうか。地区の班長が市報など月2回配布しているが、75歳以上のひとり暮らしの家庭は班長の免除はないのだろうか。柳川市の職員で何とか配布してほしいと望む。	女性	70歳以上
・コロナ感染の影響もあるだろうが、コミュニケーションの場が極端に少ないと思います。公園や公用地の清掃、河川の清掃等の取組みをしてはどうでしょうか。	女性	70歳以上
・コンクリートの護岸が整いすぎますと城下町の堀割の風景が失われるように思います。所々、真菰の風情を残していただきたい。	女性	70歳以上
・市長さん議員さんにしても、選挙のときは町を回られますが、その後何回まわられるだろうか。道路はがたがた、高齢者はつまづく方が多く、子ども、高齢者のことを少しは考えてほしい。	女性	70歳以上
・カラスや野鳥が多く、野菜等まで食べられる。	女性	70歳以上
・市民会館の催し行事を市民全員が楽しめるような企画を、安価でお願いします。	女性	70歳以上
・市民税を安くする。空き家を改築して入居者を募る。	女性	70歳以上
・先祖が道を購入したのですが、時が経過し他人のものになりました。市役所の方で勝手にされてありました。	女性	70歳以上
・西鉄柳川駅へ水路を引いて観光客を寄せることで工事等が始まっていますが、議会で採決される前、いえ、話が出た時に市民への要望、意見等を求められたのでしょうか。離れてもない場所に立派な川があるでしょう。少しの距離を観光客の方々が町中を見学されたり、三柱神社にも参拝されてもよいんじゃないでしょうか。知っている限り、「ビックリ」「不要」と思っている人が多数います。とても残念です。	女性	70歳以上
・皆が集まってくるようなまち。企業誘致など観光もよいけど、そればかりに力をいれすぎても、それよりも柳川に住み続けたいと思うことをした方がよいのでは。私たちのところは買物、乗物も不便なところなので老いてからは住むのに不安がある。	女性	70歳以上
・柳川市は全国的にあこがれのある街並みだと思います。今、空家が非常に多く目につきます。持ち主と話し合いをして、整備する必要があるかと思っています。これも行政指導が多々必要だと思います。現在コロナ禍で大変な時ではありますが、がんばってください。よろしくお願いします。	女性	70歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【行政への意見要望】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市長に一言。観光にばかり力を入れすぎではないか。観光業よりの税収がどのくらいあるのか。柳川市が観光でもっているような町と勘違いしそうではないでしょうか。私は旧大和町ですが、何かが変わったかと思ってみても、市になってよかったとは何も思えない気がする。シギヤマ家具などではなく、もっと雇用につながるように。人口が減る一方ではないですか。何をしとるか、ですよ。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人たちが子育てしやすい町にしてほしいです。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のイベントが開催されていても駐車場が満杯で断られます。行く気がしません。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所周りの景観美化を。初めて訪れるとがっかり。自らに経費をかけないということかもしれないが、やりようはあるはず。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場をふやしてほしい（若者は都会へ行ってしまうから）</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・8 年前より週 3 日、沖端川堤防をランニングしています。走るたびに新しいゴミが捨てられています。ゴミは家庭ゴミ、コンビニ弁当容器、缶、ペットボトル、菓子袋、電気製品、タバコ、マスク、焼却灰など、いろいろな物が捨てられています。川下りの上流であり恥ずかしい行為です。車からポイ捨てする人や、一般道を通ればよいのに信号待ちしたくない人が近道としてスピードを上げて通ります。よく女学生が通学道として利用します。それを狙う不審者がいます。ポイ捨て対策、防犯対策、事故防止のため、一部堤防に車通行止めを行ってほしい。</li> </ul>	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄使いしないようにすること</li> </ul>	無回答	無回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市の職員が、まちづくりへ、良い方向に向かうよう考え実行してください。お願いします。がんばってください。</li> </ul>	無回答	無回答

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【観光地域振興について】		
・観光名所を増やし、呼び込んだ観光客を民泊などで泊ませる。リピーターを増やす工夫が必要だと思います。	女性	20 歳代
・柳川市、観光地は御花周辺ですが、白秋以外観光地といえる物が無い。若者が楽しめる観光地にしてほしいです。友だち（他県）が柳川へ来てもあまり楽しくないようです。	女性	20 歳代
・大河ドラマ誘致との観光客の集客。	男性	30 歳代
・柳川で生まれました。育ったのは久留米市で 3 年程前に柳川に戻りました。小さい頃に見ていた柳川市の景観はありませんが、道は整備され住みやすい環境になったと思います。しかし子どもの遊ぶ公園は少なく魅力的な施設は皆無だと思います。ですが、柳川市にも個人でやっている魅力的なカフェ洋服屋などあると思う。柳川市が率先してイベントを立ち上げ老若男女が集まれる場所の提供を行い地域活性、雇用の創造のサポートをお願いしたい。市役所の駐車場でイベントを行ってはどうでしょうか。	男性	30 歳代
・川下りの川が汚いから、乗りたいと思わない。観光地としては弱いので、新たな強みが必要だと思う。バイパス通り等のように、大通りに魅力的な施設があると良いと思う。うなぎを全面的に売り出したり、給食に取り入れたりするなど、食の面でも、まだ積極性がないと思う。	女性	30 歳代
・何か 1 つでも大型商業施設があれば若者が来る。柳川に来るきっかけがあれば、いろいろな他の魅力に気付くと思います。たまに旅行しに来る人はいっぱいいるけど、住みたいようになるにはショッピングモールが必要だと思います。	女性	30 歳代
・規模の大きな道の駅を作ってほしい。一日子どもを遊ばせる事ができる公園（大きめ）、又はテーマパーク（小さめ）を作ってほしい。	男性	40 歳代
・残念ながら、観光地として、他県の知人を誘いたくなるような景観ではなく、誇れない。柳川市の若い力を、活気を活かせる観光商業スペース。また出店したくなるような行政の支援がほしいところです。景観、施設が若い世代を引きつける魅力的な柳川になってほしいです。	男性	40 歳代
・民間企業より、都市計画の専門家を派遣してもらい。中長期的な企業誘致を中心とし、人の呼び込みや雇用の確保等により、町の活性化を図ることが重要。新しい考えを取り込み、地域づくりが必要。現状の市職員や議員の考え方は、閉鎖的で古い考えなので、独自の町づくりは不可能と感じる。	男性	40 歳代
・目玉になる施設（ショッピングセンター、アミューズメント等を誘致する）、自然を活かした施設をつくる（大きな公園）。昼食ができる、飲食店の充実。筑後広域公園みたいなどころ。サーキットをつくる。	男性	40 歳代
・ゆめモール拡大。	男性	40 歳代
・若い方が柳川に残る要素が少ないと思います。働く場所や子育て支援など。過疎に指定されましたが、I ターンや U ターン、また地元に残りたいと思われる魅力が少なく感じられます。住みたいランキングに入れる街になりたいですね。	男性	40 歳代
・今さらながら、柳川駅の所に川下り乗船場をつくる前に、市民を増やす方を先にすれば、人口が増え、おのずと街も活気あふれたと思う。	女性	40 歳代
・水天宮の商店街をもっと盛り上げてほしい。宿泊施設が少ない。川下りは来てくれるけど宿泊はない。	女性	40 歳代
・せっかく歴史、文化があるのにそれを一度見たら、また行こうと思われない。もう一度行きたいと思われるような、料理、店、川下りしている時の花等の雰囲気等を工夫した方がよい。歩いて行ける所も鳥のフンが目立っていて近寄りたくない。観光地の周りに駐車場があまりない。公園ではトトロ等の写真をとるスポットもある。人が集まってきたり、子連れだけでない人が増える。増えている所は食事も自然と集まってくる。	女性	40 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【観光地域振興について】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやま柳川インターから一本道の活性化に取り組んでいただきたい。筑後八女バイパスや久留米上津の道路みたいな商業施設が建ち並ぶことになれば、もっと観光客にアピールできるのではないのでしょうか。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川といえば「川下り」と思います。観光客も増えれば活性化すると思いますが、漁業（のり、海産物）農業など、もっとアピールし、コロナが収束したら、校区対抗大運動会、柳川市オリンピックなど、人と人の交流ができれば、活性する。様々な準備など大変ですが、最終的には人と人とのつながりではないかと思います。柳川市民の団結。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市の歴史を最大限に活かし、観光客が滞在できるまちづくりを目指す。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ等もっとお洒落なお店があったらよいと思う。（インスタ映えするような）。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市外の観光客がたくさん訪れるようなイベント、まつりの開催をし、お金を使ってもらうことで市が活性化するのではないのでしょうか。藤の季節だけ藤の花を見に来られる観光客もいるが、一年を通していろいろな花を季節毎に咲かせ、年中市外の人が柳川の街に訪れる事ができるように公園、施設の整備に力を入れてください。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設を増やしてほしい。観光客の増加、夜の飲食店の利用客の増加に繋がるのでは。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・立花宗茂の大河ドラマロケが実現すれば観光客も増えると思う。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川駅の船。川下り乗り場ができると、京町などに観光客の方が歩いて行かなくなるのではないかと。シャッターが閉まっているところばかり。活用していただきたいです。ひな祭りも今ひとつ。空いている店を市で借りて飾ってほしい。観光の方にも楽しんでもらいたい。柳川に来てよかったと思える町づくりをお願いします。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川といえば、うなぎのせいろ蒸しですが、何か新しいおいしい名物ができたらと思います。川下りと食の都、活気ある柳川になってほしいです。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市民は歴史を有する、素晴らしい環境、観光地であるにもかかわらず市民の意識が低く感じます。観光客への受け入れ対応の悪さ、「おもてなし」する気持ちの無さ等。市民の魅力もプラスしなければ、リピーターは難しいと思います。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校再編によって、ますます過疎化するのではと心配している。学校・病院・商業施設が中心のまちづくりにとって学校が中心から離れるので住みにくくなる。この点をよく考えてまちづくりを推進してほしい。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光の町ですが川下り等ばかりが目立つような気がします。体験型のレジャー、キャンプやバーベキューができる施設とか周りの市町と協力して滞在型のレジャープランを考える等。又、旧柳川商店街に活気がない。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人材を活かす場を設けることができれば地域の活性化につながると考える。例えば寺子屋のように、地域の子どもの学習を見るボランティア活動や子ども食堂の設置など、様々な世代の人が関わることのできる場を設けることで、町づくりにつながっていくと思う。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西鉄柳川駅利用客に対する観光インフラ。定期観光バス（川下りだけでなく、漁業・農業などを入れた体験など）または、夏は、浴衣を着た川下りなど若者が興味ある企画や大川市とコラボしたものづくり体験など。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史のある街なのでいろいろな観光資源があると思う。掘り起こしとプレゼンの方法など工夫を凝らしてもらえれば、10 代の人意見などが大事なのではないかと思います。</li> </ul>	男性	60 歳代



柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【観光地域振興について】（つづき）		
・観光客に商店街を歩いてもらうような工夫（商店街を古民家風な街並みにアレンジするなど）。	女性	60 歳代
・観光は景気に左右される。景気に左右されないものを基幹産業としてプラスしないと衰退していくと思う。うなぎを食べたいけど高価。安くなったらよい。	女性	60 歳代
・公園に花を植え、市外の人たちが来るような名所づくり。ひまわりは遠い（両開）。	女性	60 歳代
・小中学校の統合にともない、廃校になった校舎に（宿泊設備を備えた）道の駅を作り、観光客と周辺からの固定客を取り込み、活気を取り戻す。	女性	60 歳代
・特に西鉄柳川駅のまわりが発展しているようですが、大和町、三橋町も忘れず何か目玉になるような建物や催しなどがあればよいと思います。	女性	60 歳代
・掘割も毎年きれいに掃除されてあるのに、川下り会社で沖ノ端（水天宮）まで行ける会社と内堀に入れない会社があることを知っていますか。以前は内堀の沖ノ端や簡保の前まで行けたのに、今は行くことができない船会社があります。せっかく柳川まで来て川下りを楽しみにしている観光客の方が残念だと言っていました。	女性	60 歳代
・柳川市近郊の市町村には、どこにも立派な公園があります。安心して子どもが遊べたり、体力づくりのためにウォーキングができる。また、ほっとする緑の多い公園が柳川にできればと思います。観光地としての整備は大切なことだと思いますが、まず市民が気軽に利用できる場があってもよいのではないかと思います。高齢化が進む地域として、買い物する店がもう少しあればよいと思います。（日用品、食料品などの毎日の生活に必要な品を揃えた店）。	女性	60 歳代
・柳川観光と言っても沖端地区の店が少ない状況。市で対策をとっているのかと。若松屋だけです。長蛇の列です。柳川でウナギ食べて次の観光へ。この流れを止めるべき何かを作り出さないと柳川の繁栄はないように思います。	女性	60 歳代
・川下り業者が増えてきて、船頭のレベル低下が甚だしい。川下り船頭で川に弁当ガラ入りのビニール袋を投げ込む輩すらいる有様。魅力的な観光スポットが少ないので、もう少し有機的なつながりを考える。温泉はあるが、魅力が低いと感じる。	男性	70 歳以上
・気軽に楽しめるキャンプ場。車中泊も OK、家族で利用できる（テント）。風景（夜景なども）が楽しめる（（例）有明海沿岸、清水山周辺、甘木山公園（大牟田））。私は 4～5 年（九州、四国を除く）ごとに、日本海岸～北海道～大洋海岸経由（40～45 日）の車の旅（車中泊 20 日、他はビジネスホテル）を楽しんでいますが、コロナ以来延期。来年 4 月から楽しみです。ニュース等で家族連れのキャンプがありますが（市民割引）、柳川市民はもちろん、近県以外からも利用できる施設はどうでしょうか。問題は利用者のモラル（ゴミ問題）。有料のオートキャンプ場や、道の駅もモラル問題で、車中泊者を禁止の所が増えていて耳にしていますが、小学校、子ども会など利用できれば。	男性	70 歳以上
・町中を歩くコースの充実をしてもらいたい。柳高の野球部が弱くなって、柳川の話が出なく、早く強くなってほしい。	男性	70 歳以上
・むつごろうランド方面（橋本）の利用者が少ないみたいなので、競技場、サッカー場等はどうか。予算が掛かるが。	男性	70 歳以上
・柳川も旧城下町というだけでは、人は来ません。ちょっと見たぐらいでは、城下とは思えません。川下り（堀遊び）と鰻飯、お花、と散在する寺社では弱い。祭りも、おにぎえはしょぼい。温泉も簡保センターがなくなった。有明海も海岸は汚い。さて、柳川の魅力は何か。来訪者は何を求めて柳川に来ているのか。一度調査してみると見えてくるのでは。	男性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【観光地域振興について】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史と文化の薫る水郷の町柳川市の城内エリアを中心とした景観保全に注力してほしいです。特に、水と花と緑にあふれる自然豊かな掘割沿いの整備（まちづくり）に是非取り組んで下さい。それが、観光客に満足してもらい、又柳川市の次世代のためにもなると思います。詩情あふれる柳川の風情と由緒ある城下町、柳河の景観を大切に、後世に伝えたいものです。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光地になっているのに、宿泊施設や食事などする店が少ない。観光客を呼ぶために、いろいろな事を考えてほしい。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規模が大きい球場があれば大きい大会が行われ人が多く訪れる。サッカーもできる。まわりには公園があり桜の木を植えきれいなトイレもあり、市民の方たちの自慢になる。前日佐賀の田舎の山の上にある球場に行き、とても手入れされたところに感動しました。こんな球場が柳川にもあったらと思いました。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の柳川は、史跡も多くな（私の認識不足かも知れませんが）歴史をとっても、水郷にしても、何もかもが半端に思われます。もっと徹底して、城下町感や、歴史が感じられる落ち着いたまちづくりをすべきだと思っています。柳川弁の「めせ」を生かしたまちづくりを望んでいます。（一老人の世迷い事でした。）。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅のような大型店などはどうでしょうか。</li> </ul>	女性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【水路堀整備について】		
・柳川は、川下りで知られていることが多いので、水が綺麗になると自分から進んで人に言えるのにと考えることがあります。	女性	20 歳代
・生活排水が直接放流されるのを防ぐか、できれば自然に濾過する環境を水路の所々に構築してほしい。川下りの水路を綺麗にしたい。	男性	30 歳代
・市民文化会館の前の川が汚い。初めて行ったとき、川を見てガッカリした。流れている川だと思った。来客が増えるのもう少きれいにはできないか。しょうぶ等植えられないか。	男性	40 歳代
・とにかく掘割をきれいにしてください。無理かもしれませんが、蛍の住める川を目指してください。	男性	40 歳代
・昔に比べると、お堀の水が汚すぎて、川下りが残念に思う。きれいなお堀の水の景観に戻ると、より観光客にも来てもらえると思う。	女性	40 歳代
・夏場や雨が少ない時期でも、掘割の水位が変わらないようにして、いつでもきれいな水で川下りができるようになったら観光客の満足度が違ってくるのではないかな。	男性	50 歳代
・堀のヘドロが溜まっているので水落ちの際に取り除いてもらおうと、少しは水がきれいになるのでは。夏場の堀の水量の確保をしてもらいたい。内堀の家庭排水が流れていることで下流の沖端の堀の水に油が浮いている。取り除かれるだけでも客は増えると思う。	男性	50 歳代
・堀の周りの緑を増やした方がよいと思う。	男性	50 歳代
・水辺の保全。外来種の駆除（特にミシシippアカミミガメ）。	男性	50 歳代
・水郷柳川で川下りがありますが、もう少し川がきれいになったらよいと思います。あと、安全面でガードレールがあったらよいと思うところが何か所かあります。お雛様の時やこいのぼりのときは、水天宮のところにとても大きいお雛様を飾ってはどうか。あと、鯉のぼりも川下りの出発地（柳川橋の所）と最終地の水天宮の所にいっぱい鯉のぼりをさげてはいかがでしょうか。よく他県では見かけます。おそらく各家庭に眠っている鯉のぼりがあると思います。それを集めてはいかがですか。	女性	50 歳代
・水路の整備（水が汚く害虫が多い）。	女性	50 歳代
・問 7 で水辺の景観とありますが、堀の中の環境も大切だと思います。まず、外来のカメの駆除に取り組んでほしいです。	男性	60 歳代
・西鉄柳川駅周辺の水路工事が始まっていますが、近隣の水路はどう変わるかが心配です。	男性	60 歳代
・西鉄柳川駅は水郷柳川物語の始まり、川の水が少ないときのイメージが今ひとつわからないが駅前開発がどのようになされるのか心配もある。裏通りの水路や排水溝の匂いが気になる。	男性	60 歳代
・水の郷を PR しているが、川やクリークは排水やごみにまみれている。下水設備（合併浄化槽も含む）を充実させきれいな水と有明海の再生に繋げてほしい。ホテルが飛ぶクリークと川にしてほしい。護岸はコンクリートで固めず自然と共生できる護岸にするべきだ。	男性	60 歳代
・私の地区は毎年水害に悩まされています。川の整備にもっと取り組んでほしい。	男性	60 歳代
・柳川駅周辺の大がかりな水路工事より、従来の川下りコースの水路をもっときれいに整備すべきではないでしょうか。	女性	60 歳代
・柳川駅前迄水路の計画がありますが、水害の多い近年において、水があふれて駅が利用できなくなるのではと心配はあります。	女性	60 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【水路堀整備について】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水郷柳川が泣いています」。川下り観光ルートはよいと思います。しかしながら、ご承知の通り柳川市にはたくさんの小さな堀割があります。私ども昭和生まれの者は、どこの堀でも小魚が釣れたものです。ところが今の堀割は、ドブが溜まって、亀だけが生息しています。「堀干し」をするものがいなくなったからでしょう。異臭がしたり、亀の発生の原因にもなったりしています。どうかこの機会に、このような小さな堀割があるのか調査していただきたくお願い申し上げます。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下りコースが汚い。テレビで放送される川下りの美観に期待して来られる観光客をがっかりさせている。「水郷やながわ」をPR するためにも徹底してコースをきれいにすべきと思う。現在のままでは恥ずかしい。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・のり業者による排水のたれ流しによる堀の水の汚れ臭いがし困っています。流される水は海水である対策をしてほしい。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水辺の景観・堀割の水質アップが必要。町内にトイレ汲み取りの住宅が多い。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の憲法」を持っているほどの市、「堀割」を行政がいかに大切にしているかを示してほしい。堀割の汚れを感じる。堀割が機能しなくなったら柳川は終わり。水害が多発している。昨今、科学的根拠のある堀割の仕組みを今一度市民にアピールすべき。そのために市職員が熱い思いを持ってほしい。泳げるような堀割を一部からでもつくってほしい。いろいろな施策を表現されているが、ほとんどが具体化されていないように私は思う。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年に1度部落でやっていた川掃除、コロナ禍でここ2、3年していないので川にたくさんの水草があり、増えすぎて、どうしたものでしょうか。やはり1年に1回はしないと、ゴミも集まりにおいもある。市の方でも考えてほしい。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下りコースの水がドブ川みたいに汚い。夏はすごく臭い。長崎に旅行した時に、どこから来たか聞かれ「柳川です。」と答えると、「ああ、あのドブ川で川下りするところね。」って言われた。ショックです。細長い川もがいっぱいあり、水は汚れて、何とかならないか。柳川と言えば川下りぐらいです。お金をとって川下りさせるなら、川の水どうにかできないですか。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・川下りの堀割りにコモヨシがあってこそ情緒豊かな柳川市だと思います。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道をつくってほしい。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔より水郷柳川と言われた柳川でしたが、しばらく以前に家の近くで護岸工事が施工され、その後より、川底は10cmにも満たない状況。水の流れは北から南だったが、南から北へ風向きの方へ少し動く状態。川は草がはえ被さっており、ヘドロ状態。車のタイヤが埋まっており（タイヤの処分は自費で行う始末）本当に悲しいです。どうぞ自治体まかせではなくやるべきことはたくさんあると思いますが、川の流れ、川を美しくしていただきたいとお願いします。</li> </ul>	女性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【交通インフラについて】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについてかはわかりませんが、北原白秋生家の場所がわからず、柳城中学校の前の横断歩道があるところの看板で白秋生家だと思って私有地に入り道に迷われている方がいるので、その看板を撤去し、新たにわかりやすい看板をつくり、実際に曲がる場所から矢印の看板が見えるようにしてほしいです。（不審者なのか観光客なのか見分けがつかないこともあるので）。</li> </ul>	女性	10 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車が通りにくい場所があるので、幅を広げてほしい。</li> </ul>	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の整備をしてほしいと自分が小学生の頃から思っていたので、検討していただければと思います。</li> </ul>	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市役所の駐車場が他と比べると、少し狭い気がします（駐車スペースが）。小さい子どもやお年寄り（乗り降りが大変）とたくさんの方が来られると思うので、改善していただけると、駐車もしやすくなりますし、乗降もさせやすいのでとてもありがたいです。</li> </ul>	女性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりにも一時停止をしない車が多すぎる。夜になると若者がバイクでコンビニに溜まっていて迷惑。最近、柳川市で大麻を使って逮捕されている。不安で仕方ない。バイクも高校生らしき人は、ヘルメットをかぶらず、原付で2人乗りをしているのが、やたら目立つ。警察の見回りを強化してほしい。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沿岸道路を走行する騒音バイクの取締り。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水天宮周辺の石畳の上の白線を無くしてほしい。景観が損なわれているように感じる。悪質な路上駐車対策と聞いたことがあるが、悪質な人には何をしても無駄なので、警察に協力してもらったり、対象の人に意見を聞いて、妥協点を探ってもらったりしてほしい。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和町の 208 号線の拡張。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川みやまインターからの道を早くつくってほしい。道の駅もできるという噂があったので楽しみにしています。もっと車での柳川へのアクセスが充実すると、県内、県外からも観光客が増えると思う。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・よかもん館は、便利ではありますが駐車場が狭く停めにくい。</li> </ul>	女性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリークの護岸工事は全体的に力を入れてほしい。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと交通の便をよくする。6:30 から 8:00 の柳川駅発の電車を増やす。佐賀空港までの交通の便をよくする。</li> </ul>	男性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県から柳川市に移住しています。商店街の歩きにくさを感じ、せっかく素敵なお店があっても寄ろうという気が起きず、素通りしてしまっています。駐車場がないのは仕方ないことですが、ひな祭りのとき、さげもんを見たくても歩きにくいいため、なかなか出向きません。歩道の整備をしてほしいです。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問 29 にも記入しましたが、川のところに人が誤って落ちないようにガードレールのような柵をつけてほしいし、電灯すらありません。夜、家に帰ると、どこまでが川で、どこまでが道かわかりません。こういうのは人が落ちて、事故などが無い限り何もしてもらえないのでしょうか。危ないので、自分で柵をつくったりするのも、市の持ちものだからと言われました。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車、歩道の拡充。車道が狭いのに、自転車が逆走する危険性を、行政で対応してほしい。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通学する子どもたちが安全に行けるように道路整備してほしい。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川文化会館の駐車場が少ない。イベント時など混雑します。少し離れた所でもよいので第 2 第 3 駐車場が用意してあると大きなイベントも行いやすいと思います。</li> </ul>	女性	40 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【交通インフラについて】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題として、脱炭素化を推し進めてほしいと思います。公共施設に充電スポットを設置してほしい。災害時に避難場所に、V2Hを設置してほしい。電気自動車による、給電ができる。</li> </ul>	答えたくない	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明校区は、田畑が多いため、街灯が少ないと思います。冬の暗い夜道を子どもが帰宅するのは心配です。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おにぎえ祭りの際、交通規制のため車を使えず困ります（駐車場の出入りができない）。時間や規制範囲の工夫を希望します。歩道が狭く危ない道路が多い。秋のいなわら焼きや、不明の煙が多い。静かで美しく衛生面も優れたよいまちだと思います。様々な取組みで、よりよいまちづくりが可能だと考えます。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの便を増やしてもらいたい。公共交通が使いやすいとどこでも動きやすい。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前開発で車の渋滞がひどい。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日には、沖の端、駅、道の駅の循環バスがあるべき。又は、カーシェアリング導入を検討するのよよい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリークにガードレールの設置。街灯をつけてもらいたい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通のアクセスがあまりよくないと思います。最寄りの駅も遠いし、高齢になって車に乗れなくなったときを考えると不安です。コミュニティバスもありますが、順路なども検討すべきだと思います。若い世代の希望も大事だと思いますが、高齢者のひとり暮らしのことも考える必要があると思います。久留米のように民生委員の方の声かけ、何かあった時のための「命のバトン」（緊急連絡先など書いた筒をすぐわかるように冷蔵庫の中に入れておく）など作成して安心して生活していきたいです。市街から外れていると本当に何もありませんから、近くに。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの停留所の数（間隔）等増やしてほしい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスのルートの見直し（小型化、小回り、増便等）。高齢者が免許を返納しても困らないような運行を考えてほしい。柳川駅近くの整備（千葉県流山市、福津市などを参考にしてほしい）。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故が少しでも減るように、特に高齢者への交通ルールを市からも、何かの形で教えるようにしてほしい。危ないので。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内中心部の道路、歩道のやり直しは何回も同じ場所ですてありますが、本当に必要なのでしょうか。土木関係の予算は地域別に振り分けてあるのか、もっと平等に中心部以外にも目を向けてほしい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者にやさしいまちづくりをしてほしい。観光客だけでなく、住人も歩いてみたい道をつながるように整備することで、景観もよくなる。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川駅西口周辺の道路を整備して、人も車も通りやすくしてほしい。今の状況は観光地として適していないと思う。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市久保田町の「さるこうカー」という外出支援事業があります。バスのルートからはずれている、車の運転ができなくなった方などが利用できるので免許返納も進めやすいです。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学（小学校）の通学路の安全確保、表の通りに安全に通学できる環境をお願いします。裏通りは、人目がなく、不審者被害など不安が多い。小学校低学年のバス送迎（校区が広く小さい子どもが遠くまで、安全ではない道を通っている。運転をしても、小さい子どものことが心配になります）。市民にやさしいまちづくりを是非お願いします。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日、休日にタクシーを駅までと、駅から利用しようとしていたが、夕方 19 時頃でしたのに 15 分から 20 分くらい待った。観光の町、柳川で駅からタクシーが利用できないのには驚いた。待っている人で怒っている人もいました。まちづくりに公共交通機関は重要な資源だと思います。</li> </ul>	無回答	50 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【交通インフラについて】（つづき）		
・安全安心な道づくり。歩道の段差解消。マウンドアップ→フラットへ、タイル舗装→アスファルト舗装へ。転落防止の防護柵の設置。	男性	60 歳代
・中心地以外の道路整備。	男性	60 歳代
・町内の道路が狭い。外周より進入道路作りを。	男性	60 歳代
・道路の路肩が崩れ危ないところがたくさんある。観光地、沖端や駅前ばかりでなくもっと目を配ってほしい。区長の力量によってよくなっている集落もあれば、全然手つかずそのままの集落もある気がする。	男性	60 歳代
・交通網の見直しも必要で、有明沿岸道路とのアクセスをもっとよくすることも重要と考える。沿岸道路から柳川みやまインターへ延長させる柳川高速道路も必要で、これをやる（作る）ことで九州高速自動車道への直通ができ上がり、物流の流れを変えることができる。	男性	60 歳代
・道路を車中心ではなく、これから高齢者も安心して利用できる道路整備をしてほしい。高齢者が安全に自転車等利用できるよう。	男性	60 歳代
・道路拡幅と歩道整備、川下りコース沿いの遊歩道の延伸、電線の地中化、西鉄柳川駅周辺の区画整備の拡充。	男性	60 歳代
・川下りの客の送迎のため、各社の送迎のバスが沖の端市内の狭い道路を我がもの顔で通行します。離合できなくても先行します。送迎のための道を考えてください。スピードも抑えてください。	女性	60 歳代
・コミュニティバスの運行の検討。高齢化に伴う使いやすい状況になっていない。使える運行でないため、使用（利用）できず、高齢者が 90 歳に近い年齢でも運転している。バス利用がないと停留所を廃止している。上記等もあり、ますます利用できない。利用しやすい運行の意見集約がされているのか。行政区毎の要望も聞いてほしい。是非早急に考えていただき、返答を市報で提示願います。柳川市高齢化率アップ。柳川の目標（一つ目）を達成。	女性	60 歳代
・地元でするので愛着はありますが、道路にしても特に便利になったと思うことがありません。大牟田、佐賀への移動は沿岸道路で便利になりましたが柳川ー久留米への移動は全く変更なしです。道路だけをとっても変更なし。	女性	60 歳代
・西鉄に要望すべきとは思いますが、私は障害があります。長年願っていることがあります。矢加部駅の階段の改善を強く願っています。ここの利用者は、高齢者も多く、ハリウッド生も多く、コンクリートの階段は長く不便で怖いです。市民の意見、要望としてよろしく願います。	女性	60 歳代
・公共施設等デザイン性重視で機能が損なわれていると思う。例えば柳川駅は雨の日はエスカレーターに雨が降り込んで滑りやすくなっています。タクシー乗り場もわかりにくく、雨の日は傘が必要。タクシーの待機場所はガラガラで他の道路に待機し、代行も早い時間から待機され、送迎と併せて渋滞を招いている。バスも本数が減りタクシーと一本化できないでしょうか。タクシーが使用できないなら一般車両乗り入れも考えてほしいです。	女性	60 歳代
・駐車場がどこにあるのかもわかりにくいと感ずます。	女性	60 歳代
・道路の凸凹、水たまりがある所をなくしてください。	男性	70 歳以上
・柳川駅の活性化（駅構内、周辺をもっとにぎやかに）。駅周辺、バス等の公共機関のある三橋町方面を活用してほしい。	男性	70 歳以上
・散歩できるような遊歩道。安全に通学できる通学路。	男性	70 歳以上
・電柱をなくし地下に、景観のよい街並みを作る。	女性	70 歳以上
・自転車を利用していますが、道路を整備し、デコボコな道をなくして安全に利用できるようにしてほしい。	女性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【交通インフラについて】（つづき）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車に乗ってどこまでも行かれますが、今後免許を返納すればどこにも行かなくなるので、バスを中島の街へ通るようお願いします。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車用の道路は整備されてきているが、付近に生活する者たちの安全と便利な状況をお願いしたい。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業をしているが、道が狭くて自動車や機械が止まっているときは通れない。これからの農業は道路が広くなければいけない。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は自転車で買い物や病院などに行っていますが、自転車通路に雑草が茂っていて危ないです。また、通路の段差があり、ひやひやして通ります。車がないので病院へ行くとき（主人が足が不自由）タクシー代がかなりかかり、生活が苦しいです。このままでは、先々が不安です。買物に行くのもだんだん不安になっています（店が遠いため）。</li> </ul>	女性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しくできた街灯の背丈が低いので、草で覆われて、明かりが届かなくなることが気になります。通学路なのに。</li> </ul>	女性	無回答



柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【税金について】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民税などがどのような使われ方をしているのか。市報などで知らせてくれるとよいと思う。</li> </ul>	男性	20 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民税が高い。税金が何に使われているのかほとんどわからない。誰が見てもわかりやすく掲載しないといけない。</li> </ul>	男性	30 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・税金を納めている方からしたら、何に使われているのかわからない。有意義な利用をしてほしい。子育て重視もよいが、高齢者も頭に入れてほしいし、働いている世代にもやさしくしてほしい。魅力あるまちづくりを行ってほしい。柳川が何をしているのか、他の市町村の方はわからないと言っています。大河ドラマをよんで、とにかくがんばってください。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策などで給付金もありますが、苦しいのは子どもがいる家族だけではない。働いていても残業が減ったりして苦しい思いをしているところも多い。納得いかない。考えてください、子ども 1 人に 10 万円はおかしい。子どもが 10 万円使いますか。大人も大変です。</li> </ul>	女性	50 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【学校教育・子育てについて】		
・少子化対策での子育て世代への施策（第3子以上の手当や減税・学費の無料・医療費の無償化）。	男性	30歳代
・小・中学校の合併はよいと思う。子どもの通学自体は朝早く起きなければいけない等不便はあるが、やはり小規模の学校だと他者との関わり方（特に知らない子との接し方等）を学習できず、弊害が起きていると思う。ただ、蒲池、昭代は今と同じで、外部地域との交流がないまま9年間を過ごすのは変化させた方がよいと思う。それぞれ地域の希望かもしれないが、9年も同じメンバーで他との交流がないのはダメだと思います。	女性	30歳代
・柳川は、20年前から住んでいます。町の人も優しく住みやすいです。私は、子育て世代ですが、産後ケアがもっと充実していればよいと思いました。今、コロナで保育園、小学校が休校になったとき、見てくれる人がいません。今後もこのようなことが続くと仕事もなくなります。日本の動向に合わせるのではなく、柳川の住民の動向に合わせてほしいです。その他、病児保育2か所は少ないし利用しづらい。各保育園にあってもよいくらいです。もっと子どもに目を向けないと少子化はとまらないと思います。よろしく願います。	女性	30歳代
・少子高齢化で過疎化している所もあるので、出産祝金や保育園の0児歳児から3歳児さんも、無償化とはいわないが、保育料を減額してもっと子どもをたくさん産んでもお金の心配をしなくていいような柳川市にしてほしい。	女性	30歳代
・子どもの遊ぶ場所があまりなく、外で遊んでも大人から怒られることがある。都会のように誰でも使える児童館などがあれば、冷暖房のある部屋の開放（コミセン）などもう少し活用してもよいのではないのでしょうか。	女性	40歳代
・小学校の統合について、子どもたちのことをまず最優先に考えてください。何度も移動させたりする計画はどうかと思います。新校舎が完成後、一気に統合する方法を考えてください。できると思います。	男性	50歳代
・年々青年層が減り、高齢化が進んでいる。出生率低下の原因はさまざまあるが、子育てするにあたり、経済的ハードルが高いことが主な原因。大木町のように、さまざまな子育て支援策を実施し、成功している市町村もある。柳川市も、他の市町村から移転してでも住みたくするような子育て施策を実施してほしい。出生ポイント、住居手当、子ども手当、子ども2人以上からの市民税減税など。	男性	50歳代
・子育て世代にとって、公園の不足、遊具の不足、整備が整っていない（すべり台、ブランコ、シーソー等）。保護者間のコミュニケーション不足による孤立感があるようです。公園を増やし、楽しく子どもたちが遊び、親子のふれ合いができる環境整備を是非願います。子育て世帯は住みにくい。	女性	50歳代
・柳川市は小中学校の合併へ向けて進んでいるが、柳川市が住みやすい市にするならば学校の数を少なくするのはマイナスであり、人口流出に繋がります。子どもたちの身になって考えてほしい。子どもが遠くの学校に行くようになると送迎バスの利用となるため、学校で過ごす時間がバスの時間になり、学校の帰りの時間一律になり課外活動にも支障をきたし各学校の独自性がなくなります。また朝の送りの時間もバスに合わせなければいけなくなり不便。これでは若い夫婦が子どものために柳川を離れます。	男性	60歳代
・数年後に小学校が合併されるようですが、予定では中島小学校に通学ということになっています（バスが運行されると思いますが）。豊原地区にとっては中島小学校は不便です。大和中学校に登校ということにはならないのですか。市役所にもお願いしたのですが父兄が参加する催事等遠いし、なじみがないのでぜひ大和中学校の方で合併するということにしてほしいです。	女性	60歳代
・幼稚園から高校まで学校で清掃する心を育ててほしい。勉強ばかりで地域のことなど無関心な子どもが育っている。一番大事なことは無私と奉仕の心を小さい時から家庭や学校で躡けたら柳川を誇りに思う子どもが育ちます。一銭にもならぬことをする。人間を育てねばならない。勉強の知識、偏差値だけを見る教育（戦後）間違っている。その根本は、清掃のできる心を育てると人格ができます。自ら自分の町をきれいにする心を大人が教えねばなりません。	女性	70歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【移住・定住・企業誘致について】		
・空家等を利用した移住支援の充実。	女性	20 歳代
・柳川駅周辺の再開発、マンションの誘致、都市部通勤者（子育て世代）の移住誘致による人口増、税収増。	男性	30 歳代
・子どもたちが遊べる場所をつくってほしい。大型ショッピングモールの誘致等を行い、家族が一日遊べる町にしていくと観光も盛り上がると思います。アウトトレモールを大和干拓に誘致しては。	男性	30 歳代
・マックスバリュ（イオン）やスターバックスコーヒー等の飲食店を増やしてほしい（大型スーパー）。	男性	30 歳代
・もっと人気のある企業、お店を増やした方がよいと思う。スタバやショッピングセンターなど。	女性	30 歳代
・特に干拓の有効活用が一番だと思う。企業誘致を頑張してほしい。	男性	40 歳代
・税収面の確保を図るのであれば、過疎地域への企業誘致を行えば、土地の有効活用及び雇用の確保を図ることができるのではないかと思います。	男性	40 歳代
・柳川の観光に力を入れるのはよいと思うが、このままでは過疎化にストップをかけることはできない。企業誘致をして人流を活性化しなければならぬ。	男性	40 歳代
・雇用と企業誘致の促進。	男性	50 歳代
・市総合計画の 1 つ目の柳川への愛着や誇りを持つ取り組みは、十分にできていると思います。しかし、柳川に愛着を持ち、ここに住みたいと思っても、若い方々の仕事がありません。仕事がないので、せっかく柳川で生まれ、教育を受けても、若者の人材流出は止まらず、人口減も止まりません。そこで、観光産業に頼るのではなく、大企業の企業誘致をぜひ積極的に取り組んでいただきたい。	男性	50 歳代
・人口は減少し、柳川市は限界集落となる。雇用もないのに、職員は市外から雇用され、市内から子育てしやすい大木町などに移住していると聞きます。職員が柳川に愛着がなければ柳川に未来はない。	男性	50 歳代
・柳川市に企業を呼び込み、若者を地域に残せる取り組み。	男性	50 歳代
・人の定住化に注力すべきだと思います。	男性	50 歳代
・1. 柳川市は住みやすいと友人に話すが、転入するのに条件、祝金、補助金が他の市や町に比べて少なすぎる、との話があった。他市と比較してみてください。転入条件の改善を急ぎ行うべきである。市の人口増を目指し柳川市の活性化に繋げることができると考えます。2. 地場産業の活性化支援はもとよりですが、大手企業の誘致、呼び込み。鳥栖市のアサヒ誘致の例もあるように市をあげて窓口を作ること必要。	男性	60 歳代
・子どもが 3 人いるのですが、3 人とも仕事で家を出ています（千葉、福岡、横浜）。地元で仕事が少ないので若者の流出が多いのかも。大きな家を建てたのですが、寂しいものです。	男性	60 歳代
・大きな会社を柳川市に迎えて、そこにたくさんの人たちを雇用し、大きな町づくりをめざしてほしいです。	女性	60 歳代
・近所の若い人たちの中に柳川で仕事している人はいません。大川、大牟田の方へ行っています。柳川に何か大きい会社ができればと思っています。	女性	60 歳代
・企業誘致は、大事なことだと思います。若い人たちが就職できるのが一番大切だと思います。	女性	60 歳代
・市内で空家の数が増えているので、市の方で管理できる体制を取って、安い金額で借り入れ、又は購入できる様にして、県外からの誘致の促進に努める。	男性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【移住・定住・企業誘致について】（つづき）		
・地場の企業誘致。雇用拡大。	男性	70 歳以上
・技術を持った大・中・小の企業の誘致を、市民から選ばれた市長、市議会議員トップの方々にがんばって行動してもらいたい。柳川市を元気づけてほしいです。	女性	70 歳以上
・商、工業誘致し、子育て世代などの市外流出を防ぐなど。	女性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【ごみ減量・リサイクルについて】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量への取組みについて意見いたします。とても良い取組みだと感じ、できる限りプラゴミで出せるものはそうしているのですが、月に2度の収集では少なく、保管場所に困るようになってきました。毎週土曜は紙もプラも出せるようにしていただけると、ますますごみの減量につながるのではないのでしょうか。何卒ご検討いただきたく意見いたしました。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳川市は居住してみて、エコ（リサイクル）事業への対策が弱いと思う。例えば、ペットゴミ、プラゴミを廃棄する場所、機会が少ない。きちんと分別している個人は、平日就業のため廃棄する機会がなく、休日に処理しようとしても、受け付けてくれる場所がない。または、時間が少ない。土日祝日でも、平日と同じように廃棄できる場所の整備を行ってほしい。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量について、天ぷら油の廃油を「燃やすしかないごみ」で出しているが、コミュニティセンターなどで、回収できるようにしてほしい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを減少させるために、細かくリサイクルする場所をつくる。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量に関して「生ゴミ」の処理機を一家に一個提供することで大幅な減量ができると思います。生ゴミから肥料を作り希望者に還元することで意識付けになるのでは。</li> </ul>	女性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの減量について。プラスチックのゴミが出せるようになったので、生ゴミ（燃やすしかないゴミ）の量がとても少なくなった。</li> </ul>	女性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【歴史・文化・芸術について】		
・現状の柳川市の生活には満足していますので、今まで通り柳川市の歴史・文化を広めつつ、住みやすい環境であればよいと思います。	男性	40 歳代
・文化、スポーツ等を活発にするために、2 人以上の部屋で市から補助金を出す。	男性	50 歳代
・柳川の歴史もとても大切です。	男性	50 歳代
・川下りコースの中に歴史文化施設の紹介を取り込めばどうか。併せて休憩施設整備（トイレ等）。	男性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【農漁業・商工業について】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光、行政の改善等も必要だと思いますが、第一次産業（農業、漁業）を、もっとやりがいがあり、魅力あるものにしていかないと、後継者も育たない。担い手が高齢者ばかりで未来はないと思う。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の高齢化により、あとを続けていける人材を確保できるよう考えてほしい。若い人たちにつなげていってもらえたらと思う。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業をする人への対策。イネ、ムギを取った後の焼却。トラクターを使った後の道路上の土。バイクが特に危ない。機械を使う時間が朝早く、夜遅くまで。歩道など草が伸び放題。</li> </ul>	男性	60 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水のない蒲池地区の農地へ。ハウス農業への変更。</li> </ul>	男性	70 歳以上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭菜園をつくっていますが、たぬきの被害で困っています。もし、たぬきを獣物取りでつかまえたとき、何か市役所に対応してもらえるでしょうか。</li> </ul>	女性	70 歳以上

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【広報誌 PR について】		
・川下りは SNS 等で拡散されています。	男性	10 歳代
・若年層がよく使う SNS 等を活用し、柳川の良さを発信していくことが必要だと思います。インスタ映えや若者が注目する場所を増やしていくと観光でも若年層が今まで以上に増えると思います。	女性	20 歳代
・子どもとのイベント等を企画してほしい。インスタ等でイベント、情報をもっと告知してもらいたいことを希望します。	女性	30 歳代
・私のように何も考えずこの市に生まれ、この市に住んでいる人たちがいると思いますが、私たちが「柳川はよいところだよ。住みやすいよ」と宣伝することが大切だと思います。まわりの市より保育料が安い、給食費が安い、医療費が安いなどの魅力を伝えていくためには、住民のまず認識が大切かと思います。ホームページ、市報などに、周りの市と比べてわかりやすく説明してほしい。	女性	30 歳代
・せっかく楽しそうなイベントが企画されているのに、アピール力がなく、集客が少ないので、もったいないと思う。	女性	40 歳代
・市報は月 1 回で充分です。2 回もいりません。	女性	40 歳代
・アサヒビールの工場が佐賀県鳥栖市を選んだと発表しました。今の柳川の状況を確認してみると、以前は柳川とテレビでも出ていましたが、今の状況を見ると水郷柳川は全く情けないです。柳川市のスタッフは何しているのかと思う。民間人と公務員を考えてみると仕事をしていないと思う（柳川市のスタッフ）。柳川市の職員は情けない。もう少し柳川市に金銭を（税金を入れてでも）。アピール不足ではないかと思う。今の状況だと柳川市内に対して税金も払いたくないです。他の地域にふるさと納税したいです。柳川市の職員はなさないです。柳川市長は何やっているのかと思う。	男性	50 歳代
・柳川からは有名無名の著名人が輩出されています。または、その関係者が。戦国の方を推されるのはわかりますが、もっと世界的な人と係わる人がいらっしやるから、そちらの方を推されてはどうでしょうか。一地方でとどまるか、世界へ名を売るか、宣伝の方法次第です。	男性	50 歳代
・NHK 大河ドラマの誘致はもう古い。そのようなことにお金を使ってほしくない。（他の人も立花に興味を持っていない）。	女性	50 歳代
・観光を 유튜브 などで紹介する。	女性	50 歳代
・柳川に来て 1 年。土日の朝の花火の音でイベントが行われていることは理解しているのですが、何がどこで行われているのかわからないので、ホームページにイベント情報をアップしてほしい。	女性	50 歳代
・若くても高齢者でも住みやすく、通勤通学しやすい。病気の時、いざという時、サポートしあえるなど、まちづくりした上でしっかりアピールすることも大事。他の市町村のまちづくりとしてやっていることで参考にできるものがあると思います。	女性	50 歳代
・市報 2 回/月の廃止。前のように月 1 回でいい。三橋町と合併して月 2 回になったが、どうしてか。月 1 回で充分。	男性	60 歳代
・大河ドラマは、実現が厳しい。それより朝ドラに柳川が舞台となるような運動を今のうちから仕掛ける。	男性	60 歳代
・回覧板の月 2 回は多い（皆さん、そう思っています）。税金の無駄使いなのでは。	男性	60 歳代
・観光スポットを整備して観光ルートの例などを柳川のホームページで紹介する方がよいと思う。	女性	60 歳代
・川下りは SNS 等で拡散されています。	男性	70 歳以上



柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
<b>【防災について】</b>		
・大雨時の内水氾濫による冠水対策。地球温暖化による急激な異常気象の災害対策（決壊・氾濫）。	男性	30 歳代
・土地の沈下の対策、補修を公費でしてほしい。	男性	50 歳代
・犯罪が起こりそうな場所に注意を向ける。街灯がないところには街灯を設置するなどの対策を行う。また、災害が起こりそうな場所にも注意を向け、浸水しそうなおとところには対策をする。	男性	50 歳代
・水害がいつも同じ地域で発生するので、生活できなくなり、対策をお願いしているが、みやま市のようにできていない。考えてほしいです。	男性	50 歳代
・水害対策のための公共工事。	男性	70 歳以上
・水害対策はもう少し力を入れてください。	女性	70 歳以上
・台風や水害のとき「避難をしてください」と呼びかけてきますが、自宅の二階はあっても、どこへ避難をしてよいのかわかりません。避難所として指定があればよいと思います。	女性	70 歳以上
・花火も大切ですが、台風や津波に対する市民の安全を守ることが大切なのは。又、仮設住宅をどこに建てるか等を今考え、市民と具体策の検討をされていますか。市民にとって何が大切か順番を間違いないようにするためには、新しい考えが必要ではないですか。	女性	70 歳以上
・大雨が降ったときの対策（堀やクレークが水であふれる）。	無回答	無回答

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【医療福祉について】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・祖父の介護を家族で行っていました。要支援の状態だったときに地域包括支援センターのケアマネジャーと家族の意見が合わず、すごく嫌な思いをしました。介護で悩むことは多いので、できれば市の方にも相談できる窓口を作っていただけると嬉しいです。また、現在そのような窓口があるのであれば周知していただければと思います。</li> </ul>	女性	40 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・父を高齢者施設に入れていますが、月に 2 回程度病院に連れていかなければならないので、市から病院へ連れて行ってもらえる支援があればよいと思います。又、必要な物（紙おむつ、洗剤、トイレトペーパー等）の買い物をしてくれる支援者がいれば助かります。</li> </ul>	男性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援を充実してほしい。年金生活で、移動するのもタクシーでは負担が大きい。タクシーと連携して格安で利用しやすくしてほしい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直、高齢者が増えていくばかりなので、子育てもだが、介護関連にも力を入れてほしい。安心して老後を過ごせるまちでもあってほしい。</li> </ul>	女性	50 歳代
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの医療について、指示のある病院に電話しても電話に出なかったり、先生がいないと言う。どうなっている。</li> </ul>	女性	60 歳代

柳川市のまちづくりについての自由記述（問 30）

主な記述内容	性別	年齢別
【その他について】		
・家族が多いところには、何もしないのですか。	男性	10 歳代
・コンビニやスーパーも遠い。	男性	50 歳代
・日々の行政業務、ご苦労様です。がんばってください。	男性	50 歳代
・かれこれ 10 年ぐらい前、市民課へマイナンバーカードを取得しに行ったとき、課としてはあまりおすすめしませんと言われた。「これは国の政策ではないのですか」と逆に問いかけたが断られた。面倒そうな感じだった。諦めて帰った。後日取得はしたが。	男性	60 歳代
・ボランティアをしたいが、自分の生活で精いっぱい、ボランティア活動されている方がうらやましい。感心する。	女性	60 歳代
・NHK 大河、闇千代やめろ。全くもったいない。	男性	70 歳以上
・生きていくのが精一杯。	男性	70 歳以上
・柳川市のまちづくりについて問われても何から手をつけていくのがよいのか、そもそもまちづくりというものは一体何なのかわからないので、意見も何もわかりません。	男性	70 歳以上
・駅の前から川下りができるようになると聞きましたが、観光で来る人も駅から三柱神社までくらいは歩いて柳川を感じたいだろうと思いますよ。	女性	70 歳以上
・観光客の人から水が汚い、臭いと言われた。行政区、民生委員の方はボランティアですか。個人情報の話のたねですか、腹が立つ。	女性	70 歳以上
・このようなアンケートは私たち高齢者に出すのではなく、今の若い人たちに出すべきではないでしょうか。高齢者と今の若い人たちの考えは全然違いますので。	女性	70 歳以上
・これから先も若い皆さんに柳川市を住みよくがんばっていただきたいと思います。	女性	70 歳以上
・柳川ひなまつりの期間中に私が思ったことなのですが、西鉄柳川駅の踏切の所で警察官が 2 人で電柱の影に隠れて他県車を捕まえていました。せっかく柳川にきてもらったのに残念でした。お客様にとって良い思い出になりません。	女性	70 歳以上

## V 調査票

# 柳川市 市民アンケート調査 ご協力のお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

柳川市では、平成29年6月に市のまちづくりの基本的な指針となる「第2次柳川市総合計画（平成29年度～令和6年度）」を策定いたしました。

第2次柳川市総合計画は将来像を「水と人とまちが輝く柳川」とし、4つの目標をたてております。1つ目は1人でも多くの市民が柳川に愛着や誇りを持てるような取り組みを行う「柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり」、2つ目は若い世代が子育てや暮らしやすさを実感しながら、住み続ける「若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり」、3つ目は市民の満足度を上げることで市外に住む人が惹きつけられる「水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり」、4つ目が地域資源を活かして柳川の稼ぐ力を育てる「柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり」です。

このアンケートは、4つの目標を達成し、将来像を実現させるために実施している事業の進捗度を検証し、今後のまちづくりに活用するために実施するものです。

この調査では、令和4年6月1日現在で、本市在住の18歳以上の方の中から無作為に2,000人を選ばせていただきました。調査でご記入いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、調査目的以外に使用することはございません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年6月

柳川市長 金子 健次

### 【ご記入に当たってのお願い】

#### ◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・令和4年6月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的にご記入ください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を（ ）内に指定していますので、ご注意ください。
- ・アンケートを答えるのには、5分程度かかります。

#### ◇調査票の回収について

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、7月13日(水)までに郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。(切手は不要です)

#### ◇調査についてのご質問などは、下記までお問い合わせください。

柳川市役所 総務部 企画課 企画係

電話 0944-77-8423

## 1 あなた自身のことについて

### 問1 あなたの性別は

- |        |           |
|--------|-----------|
| 1. 男性  | 2. 女性     |
| 3. その他 | 4. 答えたくない |

### 問2 あなたの年齢は

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代  | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳以上 |         |

### 問3 住んでいる校区をお選びください。

- |         |        |        |           |
|---------|--------|--------|-----------|
| 1. 柳河   | 2. 城内  | 3. 東宮永 | 4. 昭代第一   |
| 5. 昭代第二 | 6. 蒲池  | 7. 矢留  | 8. 両開     |
| 9. 皿垣   | 10. 有明 | 11. 中島 | 12. 六合    |
| 13. 大和  | 14. 豊原 | 15. 藤吉 | 16. 矢ヶ部   |
| 17. ニッ河 | 18. 垂見 | 19. 中山 | 20. わからない |

## 2 文化・景観について

### 問4 柳川市は文化芸術活動が盛んに行われていると思いますか。(○は1つだけ)

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかと言えばそう思う   |
| 3. 分からない  | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない |                   |

### 問5 観光客などに対しておもてなしをしてよかったと感じますか。(○は1つだけ)

- |           |                |            |
|-----------|----------------|------------|
| 1. 大いに感じる | 2. 多少感じる       | 3. あまり感じない |
| 4. 全く感じない | 5. おもてなしの機会がない |            |

### 問6 この1年以内に川下りをしたことがありますか。(○は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

### 問7 水辺の景観や掘割が保全されていると感じますか。(○は1つだけ)

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかと言えばそう思う   |
| 3. 分からない  | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない |                   |

### 3 柳川ブランド認定品について

問8 商品の地域性や安全性等を評価し、認定される「柳川ブランド認定品」を知っていますか。  
(○は1つだけ)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. よく知っている | 2. 知っている  |
| 3. あまり知らない | 4. 全く知らない |

### 4 市の広報活動について

問9 柳川市からの行政情報は、どのような手段で得ていますか。(○はいくつでも)

- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 市報などの広報誌                      | 2. ホームページ       |
| 3. SNS (LINE、Facebook、Twitter 等) | 4. 市公式アプリ       |
| 5. テレビ (d ボタンを含む)・ラジオ            | 6. 電話・窓口での問い合わせ |
| 7. その他 ( )                       | 8. いずれも利用していない  |

問10 特にどのSNSで市からの情報を受け取りたいですか。(○は1つだけ)

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1. LINE    | 2. Facebook  |
| 3. Twitter | 4. Instagram |
| 5. その他 ( ) |              |

### 5 公共交通について

問11 外出する際、路線バス・電車など公共交通を利用しようと思うことはありますか。  
(○は1つだけ)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. よく思う    | 2. たまに思う  |
| 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |

問12 柳川市が運行しているコミュニティバスを知っていますか。(○は1つだけ)

- |                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 1. 路線・ダイヤなどを含めよく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、よく知らない   | 4. 知らない      |

## 6 暮らしについて

問 13 地域活動や地域ボランティアに参加していますか。(○は1つだけ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

問 14 柳川市は子育てしやすい環境であると思いますか。(○は1つだけ)

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかと言えばそう思う   |
| 3. 分からない  | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない |                   |

問 15 柳川市は人権が守られていると思いますか。(○は1つだけ)

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかと言えばそう思う   |
| 3. 分からない  | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない |                   |

問 16 市内の道路を快適に通行できると思いますか。(○は1つだけ)

- |           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. そう思う   | 2. どちらかと言えばそう思う   |
| 3. 分からない  | 4. どちらかと言えばそう思わない |
| 5. そう思わない |                   |

問 17 柳川市に愛着や誇りを感じますか。(○は1つだけ)

- |            |           |          |
|------------|-----------|----------|
| 1. 大いに感じる  | 2. 多少感じる  | 3. 分からない |
| 4. あまり感じない | 5. 全く感じない |          |

## 7 ごみの減量について

問 18 ごみの減量やリサイクルに関心はありますか。(○は1つだけ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

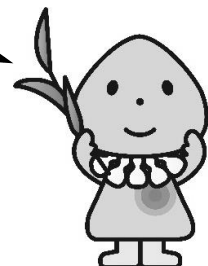
問 19 現在ごみの減量に関して取り組んでいることはありますか。(○はいくつでも)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 水切りネットを使用している               |
| 2. 生ごみ処理機を使用している               |
| 3. 買い物の際にマイバックを使用している          |
| 4. 紙袋を紙ごみ用の袋として使用している          |
| 5. 飲料用マイボトルを使用している             |
| 6. 古くなった服を古着屋やリサイクル専門店で持ち込んでいる |
| 7. 特に取り組みを行っていない               |
| 8. その他 ( )                     |

問 20 ごみ減量の工夫として次のようなものがありますが、取り組んでもよいと思うものはありますか。(○はいくつでも)

- |                    |
|--------------------|
| 1. 水切りネットの使用       |
| 2. 生ごみ処理機の使用       |
| 3. 買い物の際にマイバックを使用  |
| 4. 紙袋を紙ごみ用の袋として使用  |
| 5. 飲料用マイボトルの使用     |
| 6. 古着屋やリサイクル専門店の利用 |
| 7. フードバンクの利用       |
| 8. 特にない            |

残り3ページ!  
あと少しです。





## 8 デジタル化について

問 21 インターネットを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している

2. 利用していない

問 22 行政手続きで、インターネットを利用してオンラインで完結するサービスを利用してみたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 思う

2. 思わない

問 23 問 22 の回答理由 (自由記述)

問 24 ICT<sup>※1</sup> を有効に活用するために市で以下の講座・講習会を実施する場合、興味のある内容がありますか。(○はいくつでも)

1. オフィスソフト (エクセル、ワード等) の活用

2. SNS (LINE、Facebook 等) の活用

3. スマートフォン・タブレット

4. パソコン・インターネット

5. ビデオ通話 (Zoom、Skype<sup>※2</sup> 等)

6. ネットショッピング

7. プログラミング

8. ホームページ作成

9. その他 ( )

10. 興味がない

※1 ICT: 「Information and Communication Technology」の頭文字を取ったもので、日本語にすると「情報通信技術」となります。パソコンだけでなくスマートフォンやインターネットなど、様々な形式のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称です。よく知られる言葉に「IT」がありますが、ICTはITにコミュニケーションの要素を含めたものです。

※2 Zoom、Skype: 双方ともパソコンやスマートフォン、タブレットなどを通して複数人でのビデオ通話を可能にするサービス。テレワークなどにも利用されています。

問 25 ICTを利用してどのようなサービスを実現してほしいですか。(自由記述)

※技術的な問題等により、まだ実現が困難な場合もあります。

記述例:

- ・道路の破損、漏水、被災等の状況をアプリ等で、市に通報することができるようになること。
- ・クレジットカードや電子マネーで公共料金の支払いができるようになること。
- ・保護者が、幼稚園、保育所、小中学校にいる子供の様子をインターネット上で視認できるようになること。

## 9 マイナンバーカードについて

問 26 マイナンバーカードは、以下のような用途で利用することができます。利用したことがあるものはどれですか。(○はいくつでも)

1. コンビニでの証明書の取得
2. 新型コロナウイルスワクチン接種のモバイル証明書
3. マイナポイントの申込
4. e-Tax (国税電子申告・納税システム)
5. 本人確認書類としての利用
6. その他 ( )
7. いずれも利用していない
8. マイナンバーカードを持っていない

問 27 マイナンバーカードの活用として、どのようなものを望みますか。(○はいくつでも)

1. 各種行政手続きがオンラインでできるようになる
2. 市役所窓口での手続きが簡素化される
3. 自分のマイナンバーを含む個人情報がどのように活用されるか把握できる
4. 一人ひとりに合った行政手続きの情報が受け取れるようになる
5. 健康保険証や運転免許証の公的な証明書が一つになる
6. 行政と民間事業者が連携した新たなサービスが提供される
7. その他 ( )
8. 特に望むものはない

## 10 過疎地域への指定について

問 28 旧柳川市及び旧大和町の地域が過疎に指定されましたが、今後、どのような取組を推進していくべきと思われますか。(○は1つだけ)

1. 柳川の歴史・文化に愛着を持つような施策
2. 子育て世代を中心にサポートする施策
3. 犯罪や災害のない安全安心なまちづくり
4. 雇用や起業の場を創造し活力のあるまちづくり

問 29 問 28 で選択した取組で、具体的にどのような施策を行っていくことが、効果があると思いますか。簡潔にお書き下さい。(自由記述)

記述例：

- ・水都やながわを活用した情報発信、住宅取得の補助金、水害対策のための公共工事、企業誘致のための工業団地整備など

問 30 柳川市のまちづくりについて、ご意見等があればご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入された調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)で7月13日(水)までに郵便ポストに投函してください。